

報告第 29 号

公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公益財団法人大田区文化振興協会の下記の書類を提出する。

令和 7 年 6 月 18 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 6 年度事業報告書
- 2 令和 6 年度決算書
- 3 令和 7 年度事業計画書
- 4 令和 7 年度予算書

令和6年度 (2024年度)

事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

1	令和6年度事業報告の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
2	事業一覧	・ ・ ・ ・ ・ 2～25
	(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号関係】	
	(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号関係】	
	(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第4条第3号関係】	
	(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号関係】	
	(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第4条第5号関係】	
	(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号関係】	
3	経費内訳	・ ・ ・ ・ ・ 25
4	理事会及び評議員会に関する事項	・ ・ ・ ・ ・ 26～28
	(1) 役員等に関する事項	
	(2) 役員会等に関する事項	
5	附属明細書	・ ・ ・ ・ ・ 28

1 令和 6 年度事業報告の概要

令和 6 年度は、区民プラザの特定天井改修その他工事が完了し、7 月から利用を再開しました。休館中は天井の耐震工事以外にも、大ホールの座席や舞台機構設備、空調設備等、老朽化した設備の改修や更新工事を行うとともに、施設利用者の利便性を高めるため、受付を地下 1 階から 1 階に移設しました。施設の利用再開に伴い、下丸子 JAZZ 倶楽部、下丸子らくご倶楽部等、長年親しまれてきた定期公演のプラザでの再開を喜ぶ声も多く寄せられました。

区民プラザ休館中に利用者が増えた区民ホール・アプリコでは、令和元年度から実施してきた区民協働オペラプロジェクト「Future for OPERA in Ota,Tokyo」が最終年度を迎え、公募で集まった区民がプロの演奏家と一緒にステージに立ち、3 年間の集大成としてオペレッタ「こうもり」を全幕上演しました。施設の設備面では、大ホールに導入した 3 万ルーメンの高輝度プロジェクターの演出効果を分かりやすくアピールするために、高輝度プロジェクター利用案内動画を制作しました。今後も、より多くの方に利用していただけるよう広報活動を強化していきます。

大田文化の森では、令和 6 年 5 月からホール棟の特定天井改修その他工事に着手し、天井の耐震工事に合わせ、ホール舞台設備改修工事、空調設備改修工事、外壁改修工事等、区が行う工事の実施に協力し、安全で快適な利用しやすい施設の実現に取り組みました。また、非常用自家発電機計器部品等交換工事等を実施し、文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備を進めました。

龍子記念館では、現代アート作家と龍子の絵画を展示するコラボレーション企画展を実施するなど、見やすく、親しみやすいテーマを設定した魅力ある展示企画を開催しました。また、熊谷恒子記念館は、施設の延命化工事による休館が 9 月で終了し、10 月から施設での作品展示及びコラボレーション展示、庭園公開等を再開しました。このように、記念館ではより多くの区民に大田区の貴重な文化財産に接していただきました。

OTA アート・プロジェクトでは、馬込文士村の文化資源を活用した地域密着型の事業企画を実施することで地域の魅力を発信し、文化の掘り起こしを行いました。さらに、区の文化事業である「洗足池 春宵の響」、「平和都市宣言記念事業 平和のつどい」に協力し、大田区の豊かな地域文化の形成と活性化を推進しました。

さらに、協会が実施する事業を効果的に PR するため、情報誌の作成や各種 SNS を含めたメディアを活用した情報発信を行う他、多様化する区民ニーズを収集するために、文化芸術に関するアンケート調査を実施しました。

引き続き、「文化振興を進めることで、人の存在価値を高めるとともに人生を豊かにし、個人と社会のつながりを強め交流を促進し、地域の活性化・魅力化を図ること」をミッションに掲げ、区との連携のもと協会一丸となって文化振興に取り組んでいきます。

2 事業一覧

(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号】

大田区民プラザが7月から利用を再開し、下丸子 JAZZ 倶楽部・下丸子らくご倶楽部等の定期公演もプラザで再開した他、大ホール等では、館の特色を活かした日本の伝統文化を発信する事業を実施しました。プラザの再開を待ち望んでいた区民が多く来場し、全体的に高い集客率となりました。

大田区民ホール・アプリコでは、令和元年度から実施してきた区民協働オペラプロジェクトが最終年度となり、公募で集まった区民合唱メンバーが、プロの演奏家と共にステージに立ち、オペラ全幕公演を実施しました。2日間とも拍手喝采のもと、大盛況のうちに終わることができました。

OTA アート・プロジェクトでは、馬込文士村の文化資源を活用した地域密着型の事業企画「馬込文士村演劇祭 2024」を実施し、演劇をとおした地域の魅力を発信・文化の掘り起こしを推進しました。また、美術の分野では、「地域社会を育むアート」と題し、まちづくりにアートの創造性を取り入れることの意味や可能性を話し合うトークイベントを開催しました。

さらに、区の文化事業である「洗足池 春宵の響」、「平和都市宣言記念事業 平和のつどい」に協力し、大田区の豊かな地域文化の形成と活性化を進めました。

展示・普及事業においても、区民の誰もが身近に文化芸術に触れることができるよう、無料や低廉な料金で楽しめる展示等を行いました。また、若手アーティストの発掘や、アーティストを区内の学校や福祉施設へ派遣して施設内でコンサートやワークショップを行う等、学校や地域へのアウトリーチ事業を通じて区内で本物の文化芸術に触れる機会を提供しました。

区からの補助金を抑制するため、各種助成金の獲得も進めました。また、公益事業への寄附金募集事業を拡大し、広く協会の公益事業を PR しました。

文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業の延べ数
来場者延べ人数 39,784 人
事業数 76
(内訳) 音楽 32、伝統芸能 3、演芸 11、演劇 5、美術 11、その他 14

大田区民プラザ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
下丸子 JAZZ 倶楽部「片倉真由子スペシャル・クインテット」	7月18日	小ホール	音楽	B	139人	156人	112.2%

下丸子 JAZZ 倶楽部「近藤淳 & BIG BAND TAN」	11 月 21 日	小ホール	音楽	B	139 人	175 人	125.8%
下丸子 JAZZ 倶楽部「最強ラテンデュオ伊波淑+伊賀拓郎」	12 月 12 日	小ホール	音楽	B	167 人	149 人	89.2%
下丸子 JAZZ 倶楽部「Three Drummers Session at 下丸子 JAZZ 倶楽部」	2 月 20 日	小ホール	音楽	B	165 人	158 人	95.7%
下丸子らくご倶楽部 彦いち・白酒・志ら乃・松元ヒロ	7 月 26 日	小ホール	演芸	A	184 人	186 人	101.0%
下丸子らくご倶楽部 彦いち・白酒・馬るこ・橘家文蔵	8 月 23 日	小ホール	演芸	A	184 人	186 人	101.0%
下丸子らくご倶楽部 白酒・志ら乃・馬るこ・モロ師岡	9 月 20 日	小ホール	演芸	A	184 人	186 人	101.0%
下丸子らくご倶楽部 志ら乃・馬るこ・立川談笑	10 月 25 日	小ホール	演芸	A	184 人	174 人	94.5%
下丸子らくご倶楽部 彦いち・白酒・柳家花緑	11 月 22 日	小ホール	演芸	A	184 人	186 人	101.0%
下丸子らくご倶楽部 白酒・志ら乃・馬るこ・三遊亭兼好	1 月 24 日	小ホール	演芸	A	184 人	213 人	115.7%
下丸子らくご倶楽部 彦いち・白酒・志ら乃・ロケット団	2 月 28 日	小ホール	演芸	A	184 人	218 人	118.4%
下丸子らくご倶楽部 彦いち・白酒・志ら乃・馬るこ	3 月 28 日	小ホール	演芸	A	184 人	216 人	117.3%
万作・萬斎 狂言の会「鐘の音」・「小傘」（ワークショップ開催 18 人参加）	7 月 7 日	大ホール	伝統芸能	B	478 人	463 人	96.8%
世界は音楽でつながっている① ラテンな 1 日（親子で楽しむラテン音楽）ラテンパーカッション楽器体験	8 月 3 日	小ホール	音楽	B	40 人	28 人	70.0%
世界は音楽でつながっている② ラテンな 1 日（こどもも大人もみんなで楽しむラテン音楽）コンサート	8 月 3 日	小ホール	音楽	B	80 人	99 人	123.7%
世界は音楽でつながっている③ ラテンな 1 日（大人だけで楽しむラテン音楽）	8 月 3 日	小ホール	音楽	B	170 人	172 人	101.1%
下丸子 JAZZ 倶楽部 Happy Birthday CONCERT「オルケスタ・デ・ラ・ルス 祝結成 40 周年 ¡Mas Caliente!」	9 月 28 日	大ホール	音楽	B	400 人	452 人	113.0%

第 90 回 新春ブラザ寄席 立川 志らく、柳家花緑、柳家喬太 郎、立川談笑	1 月 5 日	大ホール	演芸	A	484 人	487 人	100.6%
第 90 回 新春ブラザ寄席 柳家 さん喬、柳亭市馬、柳家三三、 春風亭一之輔	1 月 6 日	大ホール	演芸	A	484 人	491 人	101.4%
光と闇のステージ to R mansion「にんぎょひめ」 (2 回公演)	2 月 16 日	大ホール	演劇	B	①315 人 ②315 人	①279 人 ②238 人	①88.5% ②75.5%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
初めての日本画講座（秋）「日本 画で彩る無病息災」【全 5 回】	11 月～12 月	会議室	美術	B	20 人	22 人	110.0%
おおた和の祭典 2025 和つく和つくな学び舎	3 月 15 日 ～16 日	全館	伝統 芸能	B	373 人	106 人	28.4%

大田区民ホール・アプリコ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
アプリコお昼のピアノコンサー ト 2024 Vol.74 中村梨乃	7 月 3 日	大ホール	音楽	A	382 人	267 人	69.8%
アプリコお昼のピアノコンサー ト 2024 Vol.75 安野美咲	10 月 16 日	大ホール	音楽	A	380 人	297 人	78.1%
アプリコお昼のピアノコンサー ト 2024 Vol.76 津野絢音	3 月 5 日	大ホール	音楽	A	380 人	276 人	72.6%
アプリコうたのナイトコンサー ト Vol.4 吉田早奈恵	6 月 12 日	大ホール	音楽	A	387 人	251 人	64.8%
アプリコうたのナイトコンサー ト Vol.5 河向來実	11 月 28 日	大ホール	音楽	A	355 人	299 人	84.2%
アプリコうたのナイトコンサー ト Vol.6 田中雅史	1 月 31 日	大ホール	音楽	A	355 人	194 人	54.6%
下丸子 JAZZ 倶楽部「近藤和彦 LEGIT」	4 月 18 日	小ホール	音楽	B	121 人	146 人	120.6%
下丸子 JAZZ 倶楽部「CRYSTAL JAZZ LATINO スペシャルゲス ト赤木りえ」	5 月 16 日	小ホール	音楽	B	121 人	143 人	118.1%

(共同主催事業) 東京混声合唱団 コン・コン・コンサート 2024	5月12日	大ホール	音楽	A	700人	585人	83.5%
(共同主催事業) 絆シリーズ第4弾 イザイとドビュッシー	5月30日	大ホール	音楽	A	500人	408人	81.6%
(共同主催事業) LE VELVETS コンサートツアー2024 「Because of you」	6月15日	大ホール	音楽	X	1,398人	1,357人	97.0%
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2024 アプリコオペラ オペレッタ 《こうもり》全幕 日本語上演	8月31日	大ホール	音楽	B	1,050人	1,027人	97.8%
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2024 アプリコオペラ オペレッタ 《こうもり》全幕 日本語上演	9月1日	大ホール	音楽	B	1,050人	784人	74.6%
絵本 de クラシック in アプリコ プレーメンの音楽隊	9月14日	大ホール	音楽	A	765人	780人	101.9%
フレッシュ名曲キャンペーン ファゴットと不思議な世界	9月18日	小ホール	音楽	A	97人	124人	127.8%
フレッシュ名曲コンサート 偉大なる楽聖! あなたの推しは? ! モーツァルト VS ベートーヴェン	11月9日	大ホール	音楽	A	966人	972人	100.6%
アプリコ・クリスマス・フェスティバル 2024	12月14日	大ホール	舞踊	B	1,054人	1,101人	104.4%
(共同主催事業) 人間国宝・歌舞伎俳優 坂東玉三郎〜お話と素踊り〜	3月7日	大ホール	伝統芸能	X	995人	1,395人	140.2%
大田区 JHS ウインドオーケストラ 春風コンサート	3月9日	大ホール	音楽	B	500人	472人	94.4%

②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
第37回大田区在住作家美術展	10月29日 ～11月5日	展示室	美術	B	4,000人	2,832人	70.8%
アプリコ アート・ギャラリー 第1期「水の景」	6月27日 ～9月24日	地下 1階	美術	B	—	—	—
アプリコ アート・ギャラリー	9月26日～ 12月25日	地下 1階	美術	B	—	—	—

第2期「Still Life 密やかなエネルギー」							
アプリコ アート・ギャラリー 第3期「Portrait 視線の先」	12月27日 ～2月22日	地下 1階	美術	B	—	—	—
アプリコ アート・ギャラリー 第4期「Landscape 異国の街並み」	2月25日～ 7月27日	地下 1階	美術	B	—	—	—

③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	参加者数	参加率
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2024 声を響かせ、オペラ合唱に挑む！Part.2	4月～9月	大ホール 他	音楽	B	40人	32人	80.0%
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2024 ジュニアコンサートプランナー ワークショップ《広報宣伝編》	6月～10月	小ホール 他	音楽	B	20人	20人	100.0%
こども映画教室@シネクラブ@ おおた 2024	7月21日	小ホール 展示室	映画	B	70人	27人	38.5%
大田区文化振興協会フレンドシ ップアーティスト 2025 年度出 演者オーディション（ピアノ・ 声楽）（公開オーディション 46 人参加）	9月～11月	大ホール	音楽	A	7人	7人	100.0%
大田区 JHS ウインドオーケスト ラ 合同練習	11月～3月	大森第十 中学校	音楽	B	50人	31人	62.0%

大田文化の森

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
下丸子らくご倶楽部（文化の森 出張編）彦いち・馬るこ・柳家 三三	4月26日	ホール	演芸	A	212人	175人	82.5%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
初めての日本画講座（春）「五 彩の墨絵」【全5回】	5月～6月	集会室	美術	B	20人	19人	95.0%

その他

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
馬込文士村演劇祭 2024 (OTA アート・プロジェクト) 馬込文士村演劇祭 2024～ものがたりの世界を楽しもう～ (3 回公演)	10 月 5 日 ～6 日	山王ヒルズホール	演劇	B	315 人	①142 人 ②128 人 ③137 人	①135.2% ②121.9% ③100.0%
蒲田映画館企画「いつも映画館のことばかり考えている人のために。Vol.2」	11 月 3 日	テアトル蒲田他	映画	B	180 人	123 人	68.3%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数	来場者数	入場率
大田区学校出張講座 (ラテンジャズ)	7 月 2 日	矢口西小	音楽	B	10 校	340 人	—
大田区学校出張講座 (落語)	7 月 10 日	松仙小	演芸	B		121 人	—
大田区学校出張講座 (ラテンジャズ)	7 月 12 日	入新井第四小	音楽	B		380 人	—
大田区学校出張講座 (狂言)	9 月 10 日	矢口小	伝統芸能	B		79 人	—
大田区学校出張講座 (落語)	10 月 4 日	新宿小	演芸	B		94 人	—
大田区学校出張講座 (狂言)	11 月 8 日	道塚小	伝統芸能	B		176 人	—
大田区学校出張講座 (狂言)	11 月 26 日	南六郷小	伝統芸能	B		123 人	—
大田区学校出張講座 (ヒップホップダンス)	11 月 27 日	羽田中	舞踊	B		198 人	—
大田区学校出張講座 (落語)	12 月 3 日	赤松小	演芸	B		323 人	—
大田区学校出張講座 (木管五重奏)	12 月 12 日	東蒲小	音楽	B		225 人	—
福祉施設訪問事業 (音楽)	12 月 18 日	ゴールデン鶴亀ホーム	音楽	B	2 施設	80 人	—
福祉施設訪問事業 (音楽)	12 月 24 日	池上長寿園	音楽	B		40 人	—
福祉施設訪問事業 (美術)	12 月 4 日	さわやかワークセンター	美術	B	—	10 人	—
福祉施設訪問事業 (美術)	12 月 12 日	新井宿福祉園	美術	B	—	8 人	—
アート・プログラム ファンタスティック・マタンゴ 光とあそぶオブジェを作る	3 月 8 日 ～9 日	アプリコ展示室	美術	B	40 人	36 人	90.0%
トークイベント 地域社会を育むアート (OTA アート・プロジェクト)	3 月 13 日	アプリコ展示室	美術	B	40 人	60 人	150.0%

(大田区連携事業) 「洗足池 春宵の響」	5月16日	洗足池	音楽	B	—	1,800人	—
(地域連携事業) 「おいしい道 2024～10th Anniversary」	11月1日 ～3日 ※2日は雨天中止	さかさ川通り	その他	B	—	16,000人	—

【グループについて】

«自主財源で行う事業»

A グループ：大田区の文化芸術振興に寄与し、一定の経費補助が必要な事業

C グループ：大田区の潜在的なニーズに対応し、一定の経費補助が必要な事業

X グループ：人気、娯楽性があり、収入確保を目的に実施する事業

«補助金で行う事業»

B グループ：大田区の文化芸術振興に寄与し、経費補助が必要な事業

(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号】

①文化芸術活動支援事業

大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援しました。

事業名	実施時期	会場	団体	来場者数
【後援】楽しく体験・演奏のできる和ごと小鼓ふれあいワークショップとコンサート(第4弾)	6月23日 ～7月14日	高橋舞台	和ごと株式会社	参加者 62人 来場者 32人
【共催】コーラスフェスティバル 2024	7月6日	アプリコ大ホール	大田区合唱連盟	1,166人
【共催】TIFF ティーンズ映画教室 2024	8月2日 ～11日	プラザ会議室	一般社団法人こども映画教室	18人
【後援】民謡民舞大田区連合大会	8月12日	プラザ大ホール	公益財団法人日本民謡協会大田区連合委員会	200人
【共催】第31回 輪の會	9月16日	プラザ大ホール	大田区邦楽連盟	159人
【後援】馬込文士村ガイドツアー～馬込文士村演劇祭 2024「ものがたりの世界を楽しもう」連携企画～馬込文士村演劇祭 2024をより楽しむために(3回)	10月5日 ～6日	大森駅周辺	馬込文士村ガイドの会	15人
【協賛】下丸子ガイドマップ&下丸子フォトコンテスト 2024	10月1日 ～12月17日	プラザ展示室	下丸子商店会	100人
【共催】第34回大田区絵画学習グループ展	10月17日 ～21日	プラザ展示室	大田区絵画学習グループ	649人
【共催】第14回 大田区太鼓連盟 TAIKO の祭典	10月27日	アプリコ大ホール	大田区太鼓連盟	818人

【共催】大田区アマチュアオーケストラの祭典 2024	11 月 2 日	アプリコ 大ホール	大田区アマチュアオーケ ストラの祭典実行委員会	1,492 人
【共催】大田区日本舞踊連盟 第 40 回 舞踊会	11 月 10 日	プラザ 大ホール	大田区日本舞踊連盟	492 人
【協賛】大田区 OPEN アトリエ	11 月 23 日 ～24 日	大田区内	大田区 OPEN アトリエ 実行委員会	1,209 人
【共催】第 58 回 東方展	1 月 31 日 ～2 月 4 日	プラザ 展示室	東方美術協会	371 人
【共催】大田区華道茶道文化協会華道展	3 月 15 日 ～16 日	プラザ 小ホール	大田区華道茶道文化協会	333 人
【共催】第 74 回大田区書道連盟会員書展	3 月 15 日 ～17 日	アプリコ 展示室	大田区書道連盟	457 人

②公演サポーター事業

公演準備やお客様のご案内等、楽しみながら公演に従事いただくことを目的とした公演サポーターを公募により通年で募集し活動を行いました。

- ◆3 月 31 日現在の登録者数 21 人
- ◆参加事業数 48 事業、チラシ封入作業 13 回
- ◆参加人数 延べ 242 人

③大田文化の森活動支援事業

大田文化の森は、区民の主体的な文化活動を支援し、交流の輪を広げることを目的に設置されました。区民自らが中心となって事業運営を行う任意団体として、大田文化の森運営協議会が各種の企画事業等を実施し活発に活動しました。協会は、運営協議会の支援を通じて、地域の区民の文化芸術活動を支えました。

- ◆助成額 19,870,000 円
- ◆支出額 16,974,553 円

④大田区平和都市宣言記念事業「平和のつどい」

大田区との共催で実施しました。6 年度は、「平和記念式典」（第一部）と「平和祈念花火」（第二部）の開催となりました。

- ◆前年度繰越金（令和 6 年 3 月 31 日時点残高） 12,432,980 円
- ◆令和 6 年度収入（寄附金募集なし、大田区負担金等） 300,544 円
- ◆令和 6 年度支出（花火製作費等） 12,351,304 円
- ◆次回繰越金 382,220 円

（３）文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第４条第３号】

区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の収蔵作品・収蔵資料等の調査研究と適切な修復を行い、文化資源の良好な保管・展示の充実のための環境整備を進めました。また、収蔵作品等のアーカイブ化を進め、効果的に活用しました。

各記念館の展示においては、見やすく、親しみがもてるようなテーマを設定する等、魅力ある展示企画を実施することで、より多くの区民に大田区の貴重な文化財産に接していただきました。また、他の美術館等との交流を深めて、収蔵作品を有効に活用しました。

龍子記念館では、著名な現代アート作家の作品を展示するコラボレーション企画展を 12 月から 3 月まで開催し、多様な芸術作品による来館者の年齢層の拡充を図りました。8 月から 12 月にかけて館内空調機設備の入替工事を行い臨時休館しましたが、コラボレーション企画展には 5,254 人が来館し、前年を超える年間の来館者数を記録しました。また、コラボレーション企画展の入館料は多くの来館者が見込まれたため、「大田区立龍子記念館条例」第 3 条第 2 項に基づき入館料を通常より高価な 1,000 円に設定し、昨年度の年間の入館料と比較して 3.6 倍の収入増を達成しました。さらに、コラボレーション企画展の図録の発行やデジタル化したスケッチ資料の資料目録の作成等を行いました。

龍子記念館の地域との連携事業としては、記念館コンサートや講演会、研究会、対話型鑑賞等を実施し、日本画への興味と理解の向上を図り、美術館としての地域への貢献に取り組みました。特に臨時休館期間中には、多摩川、大森東、馬込図書館において連続講演を行い地域に向けての情報発信を強化しました。あわせて、作品貸出においては富山県水墨美術館、岩手県立美術館の「川端龍子展」の開催に協力し、川端龍子と龍子記念館の知名度を全国的に高めていくよう取り組みました。

熊谷恒子記念館では、施設の延命化工事による休館が 9 月で終了し、10 月から再開しました。再開後のかなの美展では、『土佐日記』等の熊谷恒子の代表作品を展示しました。会期中に大原瑩子氏の現代アートとの地域連携展示や期間限定の庭園公開を実施し、より多くの区民の認知度向上に取組ました。また、アウトリーチ事業として出張展覧会を休館中の 5 月に池上会館で開催しました。

各記念館では展示会や関連事業等の SNS による発信とともに、各種ワークショップ、展覧会の会期中のギャラリートーク・講演会等を開催し、多くの区民に楽しんでいただく取組を実施しました。また、区民に日本画や、かな書等への興味と各記念館に対する理解を深めていただくよう、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の学芸員による連続講座を実施するとともに、調査・研究の成果を記念館ノートとして発行しました。

なお、令和 6 年 3 月に龍子記念館および龍子公園内の旧川端龍子邸、画室が国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。東京都教育委員会が主催する東京文化財ウィークに参加し建造物を公開した他、コラボレーション企画展においては、展覧会の一環で現代

アート作品を旧川端龍子邸に展示する等の取り組みを実施しました。今後も、建物の有形文化財としての価値を広く周知するための取組を進めていきます。

龍子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
名作展「大画面の奔流 川端龍子の『会場芸術』再考」	3月20日～6月9日 ※計画数は4月1日から	龍子記念館	2,500人	4,228人	169.1%
名作展「いつか夢見た桃源郷 川端龍子の戦後の作品から」	6月22日～8月12日	龍子記念館	2,000人	1,463人	73.1%
川端龍子+高橋龍太郎コレクション コラボレーション企画展	12月7日～3月2日	龍子記念館	5,000人	5,254人	105.0%
名作展「川端龍子の描き出した世界 生誕140年を迎えて」	3月29日～6月22日 ※計画数は3月31日まで	龍子記念館	100人	142人	142.0%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
ギャラリートーク（一般対象）	月1回	龍子記念館	400人	393人	98.2%
ギャラリートーク（小・中学生対象）	8月	龍子記念館	50人	50人	100.0%
ワークショップ（小学生対象）	8月・3月	龍子記念館	30人	28人	93.3%
記念館講座	3月22日	大田文化の森	70人	82人	117.1%
記念館ノート発行	3月	—	—	—	—
地域連携・美術館コンサート	5月25日	龍子記念館	50人	56人	112.0%
地域連携・講演会	7月・1月	大田文化の森	120人	116人	96.6%
地域連携・アート研究会	5月～10月（5回）	ギャラリー南製作所	50人	40人	80.0%
地域連携・事業協力員レベルアップ講座	9月～10月（3回）	龍子記念館	50人	78人	156.0%
臨時休館に伴う連続講演	9月～10月（3回）	多摩川図書館 大森東図書館 馬込図書館	70人	66人	94.2%
小中学校での出張授業	通年	調布大塚小 大森三中ほか		3回	—
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	—	—	閲覧数 13,278	—

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
作品貸出（富山県水墨美術館・資料含む106点）	4月	—	—	—	—
作品貸出（根津美術館・1点）	4月	—	—	—	—

作品貸出（山種美術館・2点）	5月	-	-	-	-
作品貸出（岩手県立美術館・資料含む106点）	6月	-	-	-	-
作品貸出（京都府立堂本印象美術館・1点）	10月	-	-	-	-
作品貸出（茨城県天心記念五浦美術館・1点）	11月	-	-	-	-
作品貸出（山種美術館・1点）	12月	-	-	-	-

④入館者数及び入館料等の徴収事務

◆入館者数

年度	大人	小人	高齢者 (65歳以上)	幼児 (6歳未満)	招待者等	入館者合計	公園案内 合計
6年度	4,062人	71人	4,215人	59人	3,976人	12,383人	5,045人
5年度	3,193人	107人	4,340人	78人	3,631人	11,349人	3,881人

◆入館料等の徴収事務

	令和5年度末日	令和6年度末日	前年度比
ア 入館料	764,050円	2,758,786円	361.0%
イ 図録販売等	1,682,360円	1,775,700円	105.5%
ウ 合計（ア＋イ）	2,446,410円	4,534,486円	185.3%

熊谷恒子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
出張展覧会 熊谷恒子かなの美展 「熊谷恒子が表現する 華麗なる源氏物語の世界」	5月18日 ～5月26日	池上会館	450人	706人	156.8%
かなの美展 「再開記念 『土佐日記』からはじまる恒子とかな」	10月12日 ～12月8日	熊谷恒子記念館	450人	804人	178.6%
かなの美展 「熊谷恒子がたどる近代短歌 正岡子規や長塚節を通じて」	12月21日 ～4月6日	熊谷恒子記念館	500人	829人	165.8%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
ギャラリートーク	出張展覧会：各土日 かなの美展：月1回	池上会館 熊谷恒子記念館	160人	155人	96.8%
ワークショップ（小・中学生、親子対象）	9月14日～15日	大田文化の森	30人	34人	113.3%
地域連携・コラボレーション展示	10月12日～12月8日	熊谷恒子記念館	450人	804人	178.6%
記念館講座	2月15日	大田文化の森	50人	33人	66.0%

記念館ノート発行	3 月	－	－	－	－
展示作品等の YouTube での発信	通年	－	－	閲覧数 474	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
庭園公開	11 月 1 日～4 日	熊谷恒子記念館	100 人	205 人	205.0%

④入館者数及び入館料等の徴収事務

◆入館者数

年度	大人	小人	高齢者 (65 歳以上)	幼児 (6 歳未満)	招待者等	入館者合計
6 年度	467 人	14 人	969 人	18 人	165 人	1,633 人
5 年度	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

※熊谷恒子記念館は、令和 5 年度及び令和 6 年度上半期は施設の延命化工事のため臨時休館、令和 6 年 10 月から再開。

◆入館料等の徴収事務

	令和 5 年度末日	令和 6 年度末日	前年度比
ア 入館料	0 円	47,400 円	－
イ 図録販売等	35,870 円	150,650 円	419.9%
ウ 合計（ア＋イ）	35,870 円	198,050 円	552.1%

※熊谷恒子記念館は、令和 5 年度及び令和 6 年度上半期は施設の延命化工事のため臨時休館、令和 6 年 10 月から再開。

山王草堂記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
徳富蘇峰に関する展示	通年	山王草堂記念館	7,000 人	9,953 人	142.0%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
馬込文士の足跡をたずねて（散策会）	5 月 12 日	山王草堂記念館他	20 人	19 人	95.0%
馬込文士の足跡をたずねて（散策会）	3 月 29 日	山王草堂記念館他	20 人	15 人	75.0%
ギャラリートーク	月 1 回	山王草堂記念館	120 人	150 人	125.0%
記念館講座	12 月 14 日	大田文化の森	50 人	64 人	128.0%
記念館ノート発行	3 月	－	－	－	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
展示パネル更新	随時	山王草堂記念館	－	－	－

④入館者数

年度	大人	小人	入館者合計
6年度	9,191人	762人	9,953人
5年度	8,000人	809人	8,809人

尾崎士郎記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
尾崎士郎に関する展示	通年	尾崎士郎記念館	－	－	－

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
ギャラリートーク	月1回	尾崎士郎記念館	120人	150人	125.0%
記念館講座	1月18日	大田文化の森	50人	33人	66.0%
記念館ノート発行	3月	－	－	－	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	入場率
展示パネル更新	随時	尾崎士郎記念館	－	－	－

④入館者数

※尾崎士郎記念館は、建物外から鑑賞していただく形式のため、入館者数は集計していません。

（４）文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】

区民への効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌「Art menu」を作成し、DMや区内施設等で配布しました。また、当協会の役割として期待されている「様々な文化・芸術団体とのネットワーク構築」や「文化・芸術に関する情報収集・発信」を強化するため、区内の文化・芸術情報を集めた情報紙「ART bee HIVE」を作成し、新聞折込にて区内全域に配布しました。さらに、幅広い層への情報発信として、区内のケーブルTV、公式ホームページ、メールマガジン、YouTube、X（旧Twitter）、Instagram、LINE、Facebook等のSNSを含めた様々なインターネットメディアを活用した情報発信を行いました。令和3年度に情報紙のPR強化のため制作した公式PRキャラクター

「リズビー」は、令和５年度に商標権登録を行い、新たな層へアプローチするツールとして活用し、広報の強化を推進しました。また、多様化する区民ニーズを収集するために、文化芸術に関するアンケート調査を実施しました。

事業名	内容	取組回数
大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」の発行	協会の主催・共催事業の情報、施設情報を掲載。区内公共施設・駅で配布の他、チケット購入者等へDM配布。 ●vol.166（６・７月号）12,100部 ●vol.167（８・９月号）12,750部 ●vol.168（１０・１１月号）13,300部 ●vol.169（１２・１月号）12,200部 ●vol.170（２・３月号）12,400部 ●vol.171（４・５月号）10,300部	６回 ※偶数月発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の発行	区内の文化・芸術に携わる文化人や施設、イベント情報を掲載。新聞５紙に情報紙を折り込み、区内全域に配布。 ●夏号 19号（100,000部）制作発行・新聞折込 ●秋号 20号（100,000部）制作発行・新聞折込 ●秋号 21号（100,000部）制作発行・新聞折込 ●秋号 22号（100,000部）制作発行・新聞折込	４回 ※季刊発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』区民記者の委嘱	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の企画や取材等、情報紙制作の協力を目的として公募。年度ごとに委嘱し、活動。	９名 説明会・編集会議：１１回 取材レポート：各自１回 コラム執筆：５本
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』公式PRキャラクターの活用	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の広報ツールとして、公式PRキャラクターを活用。 ●協会公式番組『ART bee HIVE TV』ナビゲーター出演：２回	SNS（リズビー-X）投稿：66回
協会公式番組『ART bee HIVE TV』の放映	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』紙面と連動した情報番組をiTSCOM及びJ:COMにて放映。 回数：年４回（１回１０分、月４回放映） ※東急池上線・多摩川線の車内PR動画での放映も実施 ●第15回 ４月放送 ●第16回 ７月放送 ●第17回 10月放送 ●第18回 1月放送	４回
ホームページでの情報提供	協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内、イベントカレンダーによる貸館情報を掲載。 ●公演事業に関すること（発売情報、募集情報、活動報告等） ●記念館の事業に関すること（展示情報・休館のお知らせ等）	随時

	●広報に関すること（情報紙発行のお知らせ、動画コンテンツのお知らせ等） ●施設に関すること（抽せん会のお知らせ、施設紹介の修正、休館のお知らせ等）	
SNS の活用	協会公式 X（旧 Twitter）、LINE、Facebook、メールマガジンでは、協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内を掲載。協会公式 YouTube、Instagram では、事業の模様や紹介を掲載。 ●X（協会）フォロワー数：1,240 人（168 人増） ●X（情報紙）フォロワー数：113 人（12 人増） ●YouTube チャンネル登録者数：2,250 人（360 人増） ●Instagram フォロワー数：1,267 人（426 人増） ●LINE 友達数：411 人（76 人増） ●Facebook フォロワー数：387 人（61 人増）	随時 （ ）は前年度からの増加数
区広報課への情報提供	協会の主催・共催事業の情報、広報誌の案内を情報提供。 ●公演事業に関すること（発売・募集・動画配信のお知らせ等） ●記念館の事業に関すること（展示情報）	19 回
大田区の文化芸術に関するアンケート調査の実施	多様化する区民ニーズを収集するために、令和 7 年 3 月大田区の文化芸術に関するアンケート調査を実施。	回答数 172 件 （うち紙面 106、ウェブ 66）

（５）文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第 4 条第 5 号】

①管理運営の取組

文化拠点施設には、大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森のホール・展示室・集会室等の機能を持った施設があります。

大田区民プラザは、令和 5 年 3 月から令和 6 年 6 月まで特定天井改修その他工事のため休館し、令和 6 年 7 月に再開しました。また、大田文化の森ホールは、令和 6 年 5 月から令和 7 年 6 月まで（予定）特定天井改修その他工事のため休館となりました。

なお、多目的室や情報館等がある集会棟は引き続き開館しています。いずれの工事についても、安全・安心と快適性を増した施設となるための工事が着実に進捗するよう、区に協力しました。

各施設では、地域の文化振興につながるよう、区と連携して良質な文化の提供と区民の自主的な文化活動を支援しました。地域の中で文化活動に携わる人や団体を結び、輪を広げ、集客を図り、賑わいを創出しました。より多くの区民に利用いただけるよう、以下の点に留意しながら管理運営を行いました。

◆施設や設備を良好に維持管理し、清潔な状態を保ち、安全で快適な環境づくりを行いました。特定天井改修その他工事に合わせて、施設の老朽化した設備等の改修工事を実施しました。

- ◆施設利用者に、多様な文化情報の提供や施設の利用案内をすることで、コーディネート機能を発揮していきました。
- ◆施設利用者の協力を得ながら、引き続き感染対策に努めました。
- ◆ハード面・ソフト面の安全対策を強化するとともに、特別出張所や自治会・町会等と連携し指定管理者としての役割を果たしていきました。
- ◆施設の管理運営にかかる経費を不断に見直し、効率的な施設運営を行いました。

②施設ごとの具体的な取組

大田区民プラザでは、令和5年3月から特定天井改修その他工事のため休館していましたが、令和6年7月から利用を再開しました。天井の耐震工事に合わせ、大ホールの座席や舞台機構設備、空調設備等老朽化した設備の改修や更新工事を行うとともに、利便性を高めるため受付を地下1階から1階に移転しました。利用再開に向け、ホームページの施設案内を利用者により分かりやすい内容に改訂したほか、再開記念として大ホールのスタインウェイピアノを演奏できるイベントを実施するなど、施設や設備の特徴を生かしたPRを行いました。

大田区民ホール・アプリコでは、大田区民プラザ休館中の6月まで、区民プラザ施設を利用していた区民・団体等の利用が昨年に引き続き多数ありました。例年8月に大田区と共催で実施している大田区平和都市宣言記念事業「平和のつどい」は、6年度は、「平和記念式典」（第一部）と「平和祈念花火」（第二部）の開催となり、大田区民ホール・アプリコでは第一部の記念式典を実施しました。また、18歳未満を対象とした「スタインウェイピアノを弾こう」を夏休み中の8月に実施し、令和7年2月には地域文化振興事業として「アプリコ松竹キネマイイベント」を実施しました。なお、大ホールの高性能高輝度プロジェクターの利用促進に向け広報動画を制作しました。

大田文化の森では、令和6年5月からホール棟の特定天井改修その他工事に着手し、天井の耐震工事に合わせ、ホール舞台設備改修工事、空調設備改修工事、外壁改修工事等、区が実施する工事の実施に協力し、安全で快適な利用しやすい環境整備を進めました。集会棟では、非常用自家発電機計器部品等交換工事等や集会棟ITV（防犯カメラ）更新工事を実施し、文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備を進めました。施設の特色を活用した取組として、工芸室の陶芸窯を活用して令和6年8月と令和7年3月に小学生と保護者を対象に、親子で楽しめる「陶芸体験」を実施しました。講師に美大生を招き、芸術・美術を学ぶ学生の外部との関わりを持つきっかけや、日頃の活動の成果を体現できる場を提供しました。情報館の運営においても、様々な年齢層の方々にご利用いただけるよう多様な自主企画講座を提供しました。

③施設使用料の徴収事務

◆大田区民プラザ

	令和 5 年度末日	令和 6 年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	17,102,695 円	64,898,665 円	379.5%
イ 使用料取消等返還金	1,290,940 円	3,593,090 円	278.3%
ウ 実質使用料収入（ア－イ）	15,811,755 円	61,305,575 円	387.7%
エ 他施設の使用料	0 円	3,464,130 円	—

※大田区民プラザは、令和 5 年度は特定天井改修その他工事のため休館、令和 6 年 7 月から再開。

◆大田区民ホール・アプリコ

	令和 5 年度末日	令和 6 年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	129,220,250 円	139,731,090 円	108.1%
イ 使用料取消等返還金	10,360,225 円	9,041,300 円	87.3%
ウ 実質使用料収入（ア－イ）	118,860,025 円	130,689,790 円	110.0%
エ 他施設の使用料	1,917,120 円	2,922,190 円	152.4%

◆大田文化の森

	令和 5 年度末日	令和 6 年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	40,287,045 円	29,791,570 円	73.9%
イ 使用料取消等返還金	2,864,660 円	1,681,920 円	58.7%
ウ 実質使用料収入（ア－イ）	37,422,385 円	28,109,650 円	75.1%
エ 駐車場の使用料	4,100,300 円	3,264,000 円	79.6%
オ シャワーの使用料	37,000 円	34,700 円	93.8%
カ マルチメディア使用料	88,900 円	103,100 円	116.0%
キ 他施設の使用料	2,649,545 円	3,477,150 円	131.2%

※大田文化の森は、令和 6 年 5 月から特定天井改修その他工事のためホールのみ休館。

施設名	所在地	主な施設
大田区民プラザ	大田区下丸子 3-1-3	大ホール（509 席） 小ホール（198 m ² ） 展示室（372.9 m ² ） 他、リハーサル室、音楽スタジオ、会議室、和室、美術室などあり
大田区民ホール・アブリコ	大田区蒲田 5-37-3	大ホール（1,477 席） 小ホール（170 m ² ） 展示室（338 m ² ） スタジオ A（95 m ² ） スタジオ B（40 m ² ）
大田文化の森	大田区中央 2-10-1	ホール（259 席） 多目的室（313 m ² ） 展示コーナー（125 m ² ） 他、音楽スタジオ、創作工房、和室、集会室、情報館などあり

④施設利用状況

◆大田区民プラザ 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※大田区民プラザは、令和5年度は特定天井改修その他工事のため休館、令和6年7月から再開。

区 分	年 度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
室 場 名		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
大ホール	6年度	207	173	208	177	207	145	622	495	62,552	—
		83.6 %		85.1 %		70.0 %		79.6 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
小ホール	6年度	211	147	214	179	212	112	637	438	17,862	—
		69.7 %		83.6 %		52.8 %		68.8 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
展 示 室	6年度	214	145	216	160	215	138	645	443	14,498	—
		67.8 %		74.1 %		64.2 %		68.7 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
リハーサル室	6年度	250	202	257	202	258	105	765	509	8,311	—
		80.8 %		78.6 %		40.7 %		66.5 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
美 術 室	6年度	258	160	258	185	259	5	775	350	2,416	—
		62.0 %		71.7 %		1.9 %		45.2 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第1会議室	6年度	258	176	259	197	259	132	776	505	5,948	—
		68.2 %		76.1 %		51.0 %		65.1 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第2会議室	6年度	258	149	257	183	259	91	774	423	4,456	—
		57.8 %		71.2 %		35.1 %		54.7 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第3会議室	6年度	254	96	254	121	255	44	763	261	1,754	—
		37.8 %		47.6 %		17.3 %		34.2 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第4会議室	6年度	251	197	254	195	254	101	759	493	3,837	—
		78.5 %		76.8 %		39.8 %		65.0 %			
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			

区 分	年 度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
室 場 名		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
第 1 和室	6 年度	253	196	255	175	249	96	757	467	2,044	—
		77.5 %		68.6 %		38.6 %		61.7 %			
	5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第 2 和室	6 年度	255	174	256	176	256	69	767	419	1,886	—
		68.2 %		68.8 %		27.0 %		54.6 %			
	5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
茶 室	6 年度	253	64	255	112	256	18	764	194	479	—
		25.3 %		43.9 %		7.0 %		25.4 %			
	5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
第 1 音楽 スタジオ	6 年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,265	539	9,257	—
								42.6 %			
	5 年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						0	0	0	
								0.0 %			
第 2 音楽 スタジオ	6 年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,263	747	3,670	—
								59.1 %			
	5 年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						0	0	0	
								0.0 %			
体 育 室	6 年度	146	144	216	186	222	208	584	538	7,602	—
		98.6 %		86.1 %		93.7 %		92.1 %			
	5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %			
オート テニス	6 年度	1 回 3 0 分単位で月・水曜は午前 6 区分、金曜は全日 2 3 区分								2,044	—
	5 年度	1 回 3 0 分単位で月・水曜は午前 6 区分、金曜は全日 2 3 区分								0	
トレーニング ルーム	6 年度									10,510	—
	5 年度									0	
卓 球	6 年度	1 回 1 時間単位で月・水曜は午前 2 区分、金曜は全日 1 1 区分								1,155	—
	5 年度	1 回 1 時間単位で月・水曜は午前 2 区分、金曜は全日 1 1 区分								0	

合 計	6年度	160,281	—
	5年度	0	

◆大田区民ホール・アプリコ 令和6年4月1日～令和7年3月31日

区 分	年 度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
室 場 名		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
大ホール	6年度	312	256	312	271	311	195	935	722	212,995	110.3%
		82.1 %		86.9 %		62.7 %		77.2 %			
	5年度	325	264	326	282	324	209	975	755	193,127	
		81.2 %		86.5 %		64.5 %		77.4 %			
小ホール	6年度	321	244	321	286	319	235	961	765	32,118	102.4%
		76.0 %		89.1 %		73.7 %		79.6 %			
	5年度	331	232	331	267	329	220	991	719	31,377	
		70.1 %		80.7 %		66.9 %		72.6 %			
展 示 室	6年度	322	228	322	262	320	201	964	691	32,951	74.3%
		70.8 %		81.4 %		62.8 %		71.7 %			
	5年度	331	251	331	276	329	227	991	754	44,357	
		75.8 %		83.4 %		69.0 %		76.1 %			
A スタジオ	6年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,621	1,094	20,235	85.4%
								67.5 %			
	5年度	"						1,643	1,201	23,682	
								73.1 %			
B スタジオ	6年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,618	1,240	11,187	105.7%
								76.6 %			
	5年度	"						1,644	1,245	10,583	
								75.7 %			

合 計	6年度	309,486	102.1%
	5年度	303,126	

◆大田文化の森 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※大田文化の森は、令和6年5月から特定天井改修その他工事のためホールのみ休館。

●ホール・集会室等

区 分	年 度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
室 場 名		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
ホ－ル	6年度	21	16	21	17	22	14	64	47	2,995	7.8%
		76.2%		81.0%		63.6%		73.4%			
	5年度	297	202	313	239	319	162	929	603	38,600	
68.0%		76.4%		50.8%		64.9%					
展示コ－ナー	6年度	331	144	332	146	335	127	998	417	11,203	105.0%
		43.5%		44.0%		37.9%		41.8%			
	5年度	339	150	341	154	339	143	1,019	447	10,665	
44.2%		45.2%		42.2%		43.9%					
多目的室	6年度	325	235	333	285	331	157	989	677	35,447	111.1%
		72.3%		85.6%		47.4%		68.5%			
	5年度	335	225	340	296	339	169	1,014	690	31,896	
67.2%		87.1%		49.9%		68.0%					
第1集会室	6年度	336	260	338	313	336	184	1,010	757	7,380	111.5%
		77.4%		92.6%		54.8%		75.0%			
	5年度	340	279	339	306	341	132	1,020	717	6,621	
82.1%		90.3%		38.7%		70.3%					
第2集会室	6年度	332	284	335	265	330	97	997	646	9,960	104.1%
		85.5%		79.1%		29.4%		64.8%			
	5年度	342	281	339	277	342	111	1,023	669	9,567	
82.2%		81.7%		32.5%		65.4%					
第3集会室	6年度	335	260	334	254	335	70	1,004	584	8,896	124.9%
		77.6%		76.0%		20.9%		58.2%			
	5年度	341	280	336	262	341	99	1,018	641	7,122	
82.1%		78.0%		29.0%		63.0%					
第4集会室	6年度	335	237	336	262	335	76	1,006	575	8,555	119.4%
		70.7%		78.0%		22.7%		57.2%			
	5年度	341	263	339	260	342	96	1,022	619	7,165	
77.1%		76.7%		28.1%		60.6%					
控 室	6年度	329	97	327	98	334	35	990	230	672	109.4%
		29.5%		30.0%		10.5%		23.2%			
	5年度	331	107	326	96	338	45	995	248	614	
32.3%		29.4%		13.3%		24.9%					
和 室	6年度	336	317	336	259	335	110	1,007	686	8,150	101.7%
		94.3%		77.1%		32.8%		68.1%			
	5年度	342	315	342	249	342	112	1,026	676	8,016	
92.1%		72.8%		32.7%		65.9%					
調理室	6年度	333	204	330	203	333	48	996	455	4,366	129.4%
		61.3%		61.5%		14.4%		45.7%			
	5年度	340	168	342	208	340	29	1,022	405	3,374	
49.4%		60.8%		8.5%		39.6%					
美術室	6年度	332	132	337	269	333	25	1,002	426	8,967	96.3%
		39.8%		79.8%		7.5%		42.5%			
	5年度	337	180	343	305	342	40	1,022	525	9,307	
53.4%		88.9%		11.7%		51.4%					
工芸室	6年度	332	119	330	168	323	21	985	308	2,188	93.3%
		35.8%		50.9%		6.5%		31.3%			
	5年度	331	147	332	179	331	20	994	346	2,346	
44.4%		53.9%		6.0%		34.8%					

区 分	年 度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
室 場 名		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
第 1 音楽スタジオ	6年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,665	1,327	7,980	94.1%
	5年度	"						1,697	1,344		
第 2 音楽スタジオ	6年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,661	1,030	7,227	93.6%
	5年度	"						1,692	1,073		
第 3 音楽スタジオ	6年度	1 回 2 時間単位で 1 日 5 区分利用						1,682	1,221	6,383	98.4%
	5年度	"						1,714	1,272		
第 1 スポーツ スタジオ	6年度	335	309	333	267	336	247	1,004	823	10,787	92.8%
	5年度	342	316	344	279	343	225	1,029	820		
第 2 スポーツ スタジオ	6年度	1 回 1 時間単位で 1 日 1 3 区分利用						4,275	2,469	4,938	106.7%
	5年度	"						4,340	2,314		
運営協議会主催事業 全館使用事業	6年度	大田文化の森夏祭り、はっぱ祭り								3,746	60.9%
	5年度	大田文化の森夏祭り、はっぱ祭り								6,150	
大田区による事業 全館等使用事業	6年度	野菜と花の品評会、Oh！盛祭等								5,022	281.5%
	5年度	野菜と花の品評会、Oh！盛祭等								1,784	

合 計	6年度	154,862	85.0%
	5年度	182,163	

●情報館

区分	年度	登録者数		貸出者数	貸出冊数			
		新規	累計	年計	図書	雑誌	A V	合計
図書コーナー	6年度	1,332	8,355	123,806	282,896	10,839	17,081	310,816
	5年度	1,340	8,651	128,044	294,914	11,679	17,223	323,816
	前年同月比	99.4%	96.6%	96.7%	95.9%	92.8%	99.2%	96.0%

区分	年度	利 用 者 数			
		体験コーナー	インターネットコーナー	創作活動コーナー	年計
マルチメディア	6年度	2,409	6,329	158	8,896
	5年度	2,566	6,336	138	9,040
	前年同月比	93.9%	99.9%	114.5%	98.4%

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

①利用者の利便性向上に資する付加サービス事業

施設利用者が主催する公演のチケットを受託し、窓口で販売しました。

また、大田文化の森情報館においてコピー機やプリンターを設置し、利用者が使用できるようサービスを提供しました（有料）。

②大田区から受託するスポーツ施設等の管理運営に関する事業

大田区民プラザの体育室及びトレーニングルームは特定天井改修その他工事により休止していましたが、7月から利用を再開しました。大田文化の森のスポーツスタジオとともに、引き続き区民が安心して利用できるよう、感染拡大防止対策や定期点検を着実にを行い、適切な管理運営に努めました。

3 定款第4条第1号～6号の事業の経費内訳

項目	定款	金額
(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業	第4条第1号	164,527,612
(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業	第4条第2号	19,248,078
(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業	第4条第3号	81,217,910
龍子記念館	－	57,493,949
熊谷恒子記念館	－	10,814,693
山王草堂記念館	－	7,936,617
尾崎士郎記念館	－	4,972,651
(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業	第4条第4号	16,804,884
(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業	第4条第5号	504,145,497
大田区民プラザ	－	178,657,944
大田区民ホール・アプリコ	－	125,542,343
大田文化の森	－	199,945,210
(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4条第6号	21,224,394
(7) 上記1号から6号を達成するために必要な人件費	－	280,240,812

4 理事会及び評議員会に関する事項

(1) 役員等に関する事項

①役員及び評議員名簿（2025.3.31 時点）

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	津 村 正 純	監 事	中 井 恭 子	評 議 員	田 村 英 樹
理 事	鈴 木 英 明	監 事	杉 村 由 美	評 議 員	樋 口 幸 雄
理 事	鍋 谷 孝			評 議 員	伊 藤 由 太 郎
理 事	奥 田 和 子			評 議 員	小 山 君 子
理 事	井 上 隆 義			評 議 員	山 口 実
理 事	鴨 志 田 隆			評 議 員	有 我 孝 之
理 事	白 鳥 信 也				

(2) 役員会等に関する事項

①理事会

回数	開催年月日	議事事項
第 1 回	令和 6 年 5 月 13 日 出席理事 7 人 出席監事 2 人	1 令和 5 年度事業報告 2 令和 5 年度決算 3 評議員選定委員会委員の選任（評議員選出分） 4 評議員選定委員会委員の選任（事務局員選出分） 5 令和 6 年度第 1 回評議員会の開催 6 報告事項 文化芸術振興課、美術・文学担当及び記念館主催 事業一覧（追加分）
第 2 回	令和 6 年 5 月 28 日 出席理事 6 人 出席監事 2 人	1 評議員就任候補者の推薦（新任） 2 理事就任候補者の推薦（新任） 3 理事就任候補者の推薦（再任） 4 理事就任候補者の推薦（再任） 5 監事就任候補者の推薦（再任） 6 職員就業規則の改定 7 期限付き労働契約職員就業規則の改定 8 （公財）大田区文化振興協会中期事業計画 9 令和 6 年度第 2 回評議員会の開催 10 報告事項 理事長、常務理事の職務執行状況報告
第 3 回	令和 6 年 6 月 18 日 書面表決理事 7 人	1 評議員就任候補者の推薦 2 評議員選定委員会委員の選任（監事選出分）

	書面表決監事 2人	
第4回	令和6年11月8日 出席理事 7人 出席監事 2人	1 令和6年3月定時評議員会の開催 2 報告事項 中期事業計画の令和5年度評価報告及び令和元年度から5年度の総括評価報告 令和6年度上半期事業報告 指定管理者候補者の決定 理事長、常務理事の職務執行状況報告 大田文化の森特定天井改修その他工事 他3件
第5回	令和6年11月29日 書面表決理事 7人 書面表決監事 2人	1 職員給与規則の改定 2 期限付き労働契約職員就業規則の改定
第6回	令和7年3月27日 出席理事 5人 出席監事 2人	1 令和7年度事業計画 2 令和7年度予算 3 事務局組織規則の改定 4 事案決定規則の改定 5 職員就業規則の改定 6 期限付き労働契約職員就業規則の改定 7 職員給与規則の改定 8 財務規則の改定 9 評議員就任候補者の推薦 10 理事就任候補者の推薦 11 監事就任候補者の推薦 12 事務局長の選任 13 役員賠償責任保険の契約 14 報告事項 基本財産の運用 理事長・常務理事の職務執行状況報告 特定天井改修その他工事 他3件

②評議員会

回数	開催年月日	議事事項
第1回	令和6年5月28日 出席評議員 6人 同席理事 3人	1 令和5年度事業報告 2 令和5年度決算 3 理事の選任（新任）

	同席監事 2人	4 理事の選任（再任） 5 理事の選任（再任） 6 監事の選任（再任） 7 (公財)大田区文化振興協会中期事業計画 8 報告事項 職員就業規則の改定 期限付き労働契約職員就業規則の改定
第2回	令和6年11月8日 出席評議員 6人 同席理事 3人 同席監事 2人	1 報告事項 中期事業計画令和5年度評価報告及び令和元年度から5年度の総括評価報告 令和6年度上半期事業報告 他5件
第3回	令和7年3月27日 出席評議員 6人 同席理事 3人 同席監事 2人	1 令和7年度事業計画 2 令和7年度予算 3 理事の選任 4 監事の選任 5 報告事項 基本財産の運用 事務局組織規則の改定 事案決定規則の改定 職員就業規則の改定 期限付き労働契約職員就業規則の改定 職員給与規則の改定 財務規則の改定 事務局長の選任 役員賠償責任保険の契約 特定天井改修その他工事 他3件

5 附属明細書

(1) 附属明細書に関する事項

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

令和6年度 (2024年度)

決 算 書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	1
正味財産増減計算書	・ ・ ・ ・ ・	2・3
正味財産増減計算書内訳表	・ ・ ・ ・ ・	4・5
財務諸表に対する注記	・ ・ ・ ・ ・	6・7
附属明細書	・ ・ ・ ・ ・	8
財産目録	・ ・ ・ ・ ・	9・10
監査報告書	・ ・ ・ ・ ・	11

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	195,702,847	160,107,837	35,595,010
売掛金	45,700	127,200	△ 81,500
未収金	4,472,734	5,230,667	△ 757,933
貸倒引当金	△ 45,000	△ 53,000	8,000
前払金	209,000	0	209,000
貯蔵品	454,966	464,039	△ 9,073
流動資産合計	200,840,247	165,876,743	34,963,504
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	329,762,150	329,762,150	0
定期預金積立資産	237,850	237,850	0
基本財産合計	330,000,000	330,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	15,618,512	12,838,016	2,780,496
花火事業資産	382,220	12,432,980	△ 12,050,760
特定資産合計	16,000,732	25,270,996	△ 9,270,264
(3) その他固定資産			
什器備品(美術品等)	15,298,819	15,269,046	29,773
自主事業運営積立金	50,000,000	50,000,000	0
リース資産	1,278,189	2,130,315	△ 852,126
前払利息	278,500	278,500	0
その他固定資産合計	66,855,508	67,677,861	△ 822,353
固定資産合計	412,856,240	422,948,857	△ 10,092,617
資産合計	613,696,487	588,825,600	24,870,887
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	168,243,570	142,188,986	26,054,584
前受金	1,229,300	761,300	468,000
預り金	11,359,953	9,300,766	2,059,187
未払法人税等	96,100	117,600	△ 21,500
賞与引当金	15,054,488	13,361,125	1,693,363
リース債務	876,442	859,050	17,392
流動負債合計	196,859,853	166,588,827	30,271,026
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,618,512	12,838,016	2,780,496
リース債務	444,812	1,321,254	△ 876,442
固定負債合計	16,063,324	14,159,270	1,904,054
負債合計	212,923,177	180,748,097	32,175,080
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	200,382,220	212,432,980	△ 12,050,760
指定正味財産合計	200,382,220	212,432,980	△ 12,050,760
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(382,220)	(12,432,980)	(△ 12,050,760)
2. 一般正味財産	200,391,090	195,644,523	4,746,567
(うち基本財産への充当額)	(130,000,000)	(130,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	400,773,310	408,077,503	△ 7,304,193
負債及び正味財産合計	613,696,487	588,825,600	24,870,887

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,846,516	1,971,756	874,760
基本財産受取利息	2,846,516	1,971,756	874,760
②特定資産運用益	3,593	242	3,351
特定資産受取利息	3,209	97	3,112
特定資産受取利息振替額	384	145	239
③事業収益	48,595,325	42,209,730	6,385,595
主催事業収益等	48,595,325	42,209,730	6,385,595
④受取補助金等	1,116,867,297	885,678,094	231,189,203
受取管理受託収入	849,257,500	638,326,600	210,930,900
受取事業補助金収入	267,609,797	247,351,494	20,258,303
⑤受取寄付金	12,050,760	543,379	11,507,381
受取寄付金等振替額	12,050,760	543,379	11,507,381
⑥雑収益	4,016,044	2,937,816	1,078,228
受取利息	191,348	6,390	184,958
雑収益	3,824,696	2,931,426	893,270
経常収益計	1,184,379,535	933,341,017	251,038,518
(2) 経常費用			
①事業費	1,169,008,481	928,828,098	240,180,383
役員報酬	2,790,000	2,857,500	△ 67,500
給料	175,307,443	150,780,673	24,526,770
賞与	30,042,461	27,853,323	2,189,138
退職給付費用	3,140,496	2,971,090	169,406
法定福利費	44,204,534	40,438,484	3,766,050
福利厚生費	2,928,855	2,696,420	232,435
通勤交通費	6,060,061	5,111,048	949,013
旅費交通費	712,474	579,785	132,689
会議費	491,854	579,236	△ 87,382
通信運搬費	10,924,781	10,047,663	877,118
減価償却費	972,577	1,018,155	△ 45,578
役務費	1,426,081	1,379,592	46,489
消耗什器備品費	4,090,460	4,106,558	△ 16,098
消耗品費	28,416,373	22,488,840	5,927,533
修繕費	32,385,705	30,609,271	1,776,434
印刷製本費	16,332,715	12,293,861	4,038,854
光熱水料費	63,277,055	31,452,053	31,825,002
広告宣伝費	1,755,600	1,764,900	△ 9,300
賃借料	16,103,267	13,811,651	2,291,616
保険料	1,754,691	1,383,978	370,713
諸謝金	5,747,255	4,548,980	1,198,275
租税公課	17,977,500	15,414,200	2,563,300
支払負担金	226,000	215,500	10,500
支払助成金	19,074,553	21,326,799	△ 2,252,246
支払利息	35,910	53,076	△ 17,166
事業委託費	95,783,787	70,032,958	25,750,829
管理委託費	441,599,727	309,778,299	131,821,428
委託費	45,110,923	47,589,698	△ 2,478,775
手数料	3,574,961	3,521,857	53,104
雑費	61,600	58,500	3,100

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
貸倒引当金繰入額	45,000	53,000	△ 8,000
賞与引当金繰入額	15,054,488	13,361,125	1,693,363
大田区返納金	81,599,294	78,650,025	2,949,269
②管理費	10,581,387	7,727,658	2,853,729
役員報酬	1,550,000	1,552,500	△ 2,500
給料	2,628,720	0	2,628,720
賞与	557,080	0	557,080
法定福利費	1,205,176	1,298,122	△ 92,946
福利厚生費	26,200	0	26,200
通勤交通費	92,066	36,574	55,492
旅費交通費	99,296	125,777	△ 26,481
会議費	9,600	7,784	1,816
通信運搬費	60,370	43,776	16,594
消耗品費	36,047	40,938	△ 4,891
印刷製本費	23,360	0	23,360
光熱水料費	5,082	27,397	△ 22,315
賃借料	39,160	39,160	0
保険料	116,500	116,500	0
諸謝金	132,000	0	132,000
研修費	532,300	468,940	63,360
租税公課	600	2,600	△ 2,000
委託費	2,823,902	2,216,500	607,402
手数料	22,470	21,760	710
雑費	11,000	41,800	△ 30,800
大田区返納金	610,458	1,687,530	△ 1,077,072
経常費用計	1,179,589,868	936,555,756	243,034,112
当期経常増減額	4,789,667	△ 3,214,739	8,004,406
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	53,000	28,000	25,000
経常外収益計	53,000	28,000	25,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	53,000	28,000	25,000
税引前当期一般正味財産増減額	4,842,667	△ 3,186,739	8,029,406
法人税等	96,100	117,600	△ 21,500
当期一般正味財産増減額	4,746,567	△ 3,304,339	8,050,906
一般正味財産期首残高	195,644,523	198,948,862	△ 3,304,339
一般正味財産期末残高	200,391,090	195,644,523	4,746,567
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 特定資産運用益	384	145	239
特定資産受取利息	384	145	239
(2) 受取寄付金	0	5,743,086	△ 5,743,086
受取寄付金	0	5,743,086	△ 5,743,086
(3) 一般正味財産への振替額	△ 12,051,144	△ 543,524	△ 11,507,620
一般正味財産への振替額	△ 12,051,144	△ 543,524	△ 11,507,620
当期指定正味財産増減額	△ 12,050,760	5,199,707	△ 17,250,467
指定正味財産期首残高	212,432,980	207,233,273	5,199,707
指定正味財産期末残高	200,382,220	212,432,980	△ 12,050,760
Ⅲ 正味財産期末残高	400,773,310	408,077,503	△ 7,304,193

正味財産増減計算書内訳書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	収1	他1	小計			
	地域文化芸術の振興	利用者の利便性向上 に資する事業	区から受託するスポーツ施設等の管理運営				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	2,846,516	0	2,846,516
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,846,516	0	2,846,516
特定資産運用益	3,593	0	0	0	0	0	3,593
特定資産受取利息	3,209	0	0	0	0	0	3,209
特定資産受取利息振替額	384	0	0	0	0	0	384
事業収益	48,595,325	0	0	0	0	0	48,595,325
主催事業収益等	48,595,325	0	0	0	0	0	48,595,325
受取補助金等	1,083,007,297	0	27,131,000	27,131,000	6,729,000	0	1,116,867,297
受取管理受託収入	822,126,500	0	27,131,000	27,131,000	0	0	849,257,500
受取事業補助金収入	260,880,797	0	0	0	6,729,000	0	267,609,797
受取寄付金	12,050,760	0	0	0	0	0	12,050,760
受取寄付金等振替額	12,050,760	0	0	0	0	0	12,050,760
雑収益	3,402,984	613,060	0	613,060	0	0	4,016,044
受取利息	191,348	0	0	0	0	0	191,348
雑収益	3,211,636	613,060	0	613,060	0	0	3,824,696
経常収益計	1,147,059,959	613,060	27,131,000	27,744,060	9,575,516	0	1,184,379,535
(2) 経常費用							
事業費	1,141,350,542	319,791	27,338,148	27,657,939	0	0	1,169,008,481
役員報酬	2,790,000	0	0	0	0	0	2,790,000
給料	172,040,798	80,025	3,186,620	3,266,645	0	0	175,307,443
賞与	29,639,045	0	403,416	403,416	0	0	30,042,461
退職給付費用	3,140,496	0	0	0	0	0	3,140,496
法定福利費	43,472,152	0	732,382	732,382	0	0	44,204,534
福利厚生費	2,890,500	0	38,355	38,355	0	0	2,928,855
通勤交通費	5,912,678	0	147,383	147,383	0	0	6,060,061
旅費交通費	707,101	0	5,373	5,373	0	0	712,474
会議費	491,854	0	0	0	0	0	491,854
通信運搬費	10,807,865	416	116,500	116,916	0	0	10,924,781
減価償却費	972,577	0	0	0	0	0	972,577
役務費	1,422,736	0	3,345	3,345	0	0	1,426,081
消耗什器備品費	3,921,096	0	169,364	169,364	0	0	4,090,460
消耗品費	27,412,003	121,217	883,153	1,004,370	0	0	28,416,373
修繕費	31,496,854	0	888,851	888,851	0	0	32,385,705
印刷製本費	16,284,754	0	47,961	47,961	0	0	16,332,715
光熱水料費	59,959,266	0	3,317,789	3,317,789	0	0	63,277,055
広告宣伝費	1,755,600	0	0	0	0	0	1,755,600
賃借料	15,754,176	13,332	335,759	349,091	0	0	16,103,267
保険料	1,707,755	0	46,936	46,936	0	0	1,754,691
諸謝金	5,747,255	0	0	0	0	0	5,747,255
租税公課	17,321,483	37,329	618,688	656,017	0	0	17,977,500
支払負担金	220,720	0	5,280	5,280	0	0	226,000
支払助成金	19,074,553	0	0	0	0	0	19,074,553
支払利息	35,910	0	0	0	0	0	35,910
事業委託費	95,783,787	0	0	0	0	0	95,783,787
管理委託費	427,161,409	61,082	14,377,236	14,438,318	0	0	441,599,727
委託費	45,037,619	0	73,304	73,304	0	0	45,110,923
手数料	3,549,273	6,390	19,298	25,688	0	0	3,574,961
雑費	60,461	0	1,139	1,139	0	0	61,600
貸倒引当金繰入額	45,000	0	0	0	0	0	45,000
賞与引当金繰入額	14,847,340	0	207,148	207,148	0	0	15,054,488
大田区返納金	79,886,426	0	1,712,868	1,712,868	0	0	81,599,294
管理費	0	0	0	0	10,581,387	0	10,581,387
役員報酬	0	0	0	0	1,550,000	0	1,550,000
給料	0	0	0	0	2,628,720	0	2,628,720
賞与	0	0	0	0	557,080	0	557,080
法定福利費	0	0	0	0	1,205,176	0	1,205,176
福利厚生費	0	0	0	0	26,200	0	26,200
通勤交通費	0	0	0	0	92,066	0	92,066
旅費交通費	0	0	0	0	99,296	0	99,296
会議費	0	0	0	0	9,600	0	9,600
通信運搬費	0	0	0	0	60,370	0	60,370
消耗品費	0	0	0	0	36,047	0	36,047
印刷製本費	0	0	0	0	23,360	0	23,360
光熱水料費	0	0	0	0	5,082	0	5,082
賃借料	0	0	0	0	39,160	0	39,160
保険料	0	0	0	0	116,500	0	116,500
諸謝金	0	0	0	0	132,000	0	132,000
研修費	0	0	0	0	532,300	0	532,300
租税公課	0	0	0	0	600	0	600
委託費	0	0	0	0	2,823,902	0	2,823,902
手数料	0	0	0	0	22,470	0	22,470
雑費	0	0	0	0	11,000	0	11,000

正味財産増減計算書内訳書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	収1	他1	小計			
	地域文化芸術の振興	利用者の利便性向上 に資する事業	区から受託するスポーツ施設等の管理運営				
大田区返納金	0	0	0	0	610,458	0	610,458
経常費用計	1,141,350,542	319,791	27,338,148	27,657,939	10,581,387	0	1,179,589,868
当期経常増減額	5,709,417	293,269	△ 207,148	86,121	△ 1,005,871	0	4,789,667
2. 経常外増減の部							
（1）経常外収益							
貸倒引当金戻入額	53,000	0	0	0	0	0	53,000
経常外収益計	53,000	0	0	0	0	0	53,000
（2）経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	53,000	0	0	0	0	0	53,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	5,762,417	293,269	△ 207,148	86,121	△ 1,005,871	0	4,842,667
他会計振替額	145,187	△ 145,187	0	△ 145,187	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,907,604	148,082	△ 207,148	△ 59,066	△ 1,005,871	0	4,842,667
法人税等	0	96,100	0	96,100	0	0	96,100
当期一般正味財産増減額	5,907,604	51,982	△ 207,148	△ 155,166	△ 1,005,871	0	4,746,567
一般正味財産期首残高	183,820,202	2,914,942	△ 1,707,812	1,207,130	10,617,191	0	195,644,523
一般正味財産期末残高	189,727,806	2,966,924	△ 1,914,960	1,051,964	9,611,320	0	200,391,090
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
特定資産運用益	384	0	0	0	0	0	384
特定資産受取利息	384	0	0	0	0	0	384
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 12,051,144	0	0	0	0	0	△ 12,051,144
一般正味財産への振替額	△ 12,051,144	0	0	0	0	0	△ 12,051,144
当期指定正味財産増減額	△ 12,050,760	0	0	0	0	0	△ 12,050,760
指定正味財産期首残高	212,432,980	0	0	0	0	0	212,432,980
指定正味財産期末残高	200,382,220	0	0	0	0	0	200,382,220
Ⅲ 正味財産期末残高	390,110,026	2,966,924	△ 1,914,960	1,051,964	9,611,320	0	400,773,310

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)によっている。ただし公益法人会計基準注解(注1(2))取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいものについては、償却原価法を適用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法で行い、評価方法は総平均法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

什器備品 定率法を採用している。

②リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産については、リース期間を耐用年数として残存価額をゼロとする定額法にしている。

(4) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

職員の退職金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

②貸倒引当金

売掛金並びに未収金については期末残高の10/1000の貸倒引当金を計上している。

③賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、給与規程に基づく支給見込み額のうち当会計事業年度に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	329,762,150	0	0	329,762,150
定期預金	237,850	0	0	237,850
小 計	330,000,000	0	0	330,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,838,016	3,140,496	360,000	15,618,512
花火事業資産	12,432,980	384	12,051,144	382,220
小 計	25,270,996	3,140,880	12,411,144	16,000,732
合 計	355,270,996	3,140,880	12,411,144	346,000,732

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
投資有価証券	329,762,150	(199,762,150)	(130,000,000)	(0)
定期預金	237,850	(237,850)	(0)	(0)
小 計	330,000,000	(200,000,000)	(130,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	15,618,512	(0)	(0)	(15,618,512)
花火事業資産	382,220	(382,220)	(0)	(0)
小 計	16,000,732	(382,220)	(0)	(15,618,512)
合 計	346,000,732	(200,382,220)	(130,000,000)	(15,618,512)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(減価償却資産のみ記載)

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	4,260,630	2,982,441	1,278,189
什器備品	976,665	697,846	278,819
合 計	5,237,295	3,680,287	1,557,008

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	
中国電力社債第398回	50,000,000	49,213,000	△ 787,000	基本財産投資有価証券
共同発行市場公募地方債第174回	14,863,650	14,688,750	△ 174,900	基本財産投資有価証券
共同発行市場公募地方債第175回	34,898,500	34,309,800	△ 588,700	基本財産投資有価証券
国際協力機構債券第55回	30,000,000	28,206,600	△ 1,793,400	基本財産投資有価証券
住宅金融支援機構債券第350回	100,000,000	80,930,000	△ 19,070,000	基本財産投資有価証券
第108回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	88,640,000	△ 11,360,000	基本財産投資有価証券
合 計	329,762,150	295,988,150	△ 33,774,000	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
事業補助金等						
大田区補助金	大田区	0	250,312,000	250,312,000	0	-
花火打上事業負担金	大田区	0	300,160	300,160	0	-
助成金	一般財団法人地域創造	0	10,000,000	10,000,000	0	-
助成金	公益財団法人東京都歴史文化財団	0	3,847,637	3,847,637	0	-
助成金	独立行政法人日本芸術文化振興会	0	3,000,000	3,000,000	0	-
協賛金	明治安田生命保険相互会社	0	100,000	100,000	0	-
助成金	公益財団法人朝日新聞文化財団	0	50,000	50,000	0	-
合 計		0	267,609,797	267,609,797	0	-

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	12,051,144
合 計	12,051,144

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細 財務諸表の注記に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,838,016	3,140,496	360,000	0	15,618,512
貸倒引当金	53,000	45,000	0	53,000	45,000
賞与引当金	13,361,125	15,054,488	13,361,125	0	15,054,488

令和7年3月31日現在

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金	手元保管	運転資金として	3,292,944
普通預金	本部・大田区民プラザ みずほ銀行蒲田支店	運転資金として	139,323,484
	龍子記念館 みずほ銀行蒲田支店	//	101,650
	区民ホール・アプリコ みずほ銀行蒲田支店	//	1,038,524
	大田文化の森 みずほ銀行蒲田支店	//	148,347
	大田文化の森 城南信用金庫大田文化の森支店	//	88,685
	本部・大田区民プラザ 城南信用金庫矢口支店	//	10,612
	本部・大田区民プラザ さわやか信用金庫下丸子支店	//	2,181,972
	本部・大田区民プラザ 三井住友銀行下丸子支店	//	17,065,911
	区民ホール・アプリコ ゆうちょ銀行アロマスクエア郵便局	//	2,344,858
	大田文化の森 ゆうちょ銀行大田中央一郵便局	//	105,860
定期預金	本部 城南信用金庫矢口支店	//	20,000,000
	本部 さわやか信用金庫下丸子支店	//	10,000,000
売掛金	本部	クレジットカードチケット販売代金	45,700
未収金	本部	事業チケット販売収入 産業振興協会チケット割引利用券 文化の森運営協議会精算金 事業助成金 労働保険料精算金 その他	1,099,125 22,000 2,895,447 0 150,738 305,424
貸倒引当金	本部	期末売掛金及び未収金に設定	△ 45,000
前払金	大田文化の森	ホール備品指揮者台	209,000
貯蔵品	本部 @1,296.2円×351冊	下丸子JAZZ倶楽部300回記念誌	454,966
流動資産合計			200,840,247
(固定資産) 基本財産	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社本店 中国電力社債第398回 共同発行市場公募地方債第174回 共同発行市場公募地方債第175回 国際協力機構債券第55回 大和証券蒲田支店 住宅金融支援機構債券第350回 みずほ証券株式会社本店 第108回地方公共団体金融機構債券 三井住友銀行株式会社下丸子支店 定期預金積立資産	運用益を法人会計財源として 使用している	50,000,000 14,863,650 34,898,500 30,000,000 100,000,000 100,000,000 237,850

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

単位:(円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産			
退職給付引当資産	みずほ銀行蒲田支店 定期預金	職員に対する退職金の支払に 備えたもの	15,618,512
花火事業資産	三井住友銀行下丸子支店 定期預金	花火打上事業実施目的で保有 する資金として管理している	382,220
その他固定資産			
什器備品(美術品等)	大田区民プラザ 美術品・彫刻「鶴の舞」 美術品・絵画「エッフェル塔の見える街」 美術品・絵画「彫刻と花」 美術品・絵画「春光」 美術品・絵画「花火水光」 サーモグラフィー受付セット ソニーデジタルビデオカメラ デジタル一眼カメラ	公益目的保有財産であり、公益 目的事業に使用している	7,000,000 1,000,000 3,000,000 120,000 3,900,000 79,135 54,467 145,217
自主事業運営積立金	みずほ銀行蒲田支店 定期預金 東京都職員信用組合 定期預金	公益目的事業の積立資産	30,000,000 20,000,000
リース資産	本部	公益目的保有財産の人事・給与 システム	1,278,189
前払利息	本部	基本財産(第398回中国電力社債) 購入時の前払利息	278,500
固定資産合計			412,856,240
資産合計			613,696,487
(流動負債)			
未払金	本部・大田区民プラザ 熊谷恒子記念館 龍子記念館 龍子公園 山王草堂記念館 尾崎士郎 区民ホール・アプリコ 大田文化の森	大田区返納金等 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費	119,925,545 1,495,120 12,937,054 3,128,658 978,637 538,009 12,663,850 16,576,697
前受金	本部	令和7年度主催事業収入	1,229,300
預り金	本部	源泉所得税等 受託チケット預り代金 大田区収納事務による預り金	396,303 4,910,400 6,053,250
未払法人税等	本部	未払法人税等	96,100
賞与引当金	本部	令和7年度夏季賞与充当額	15,054,488
リース債務	本部	人事・給与システム (返済期間1年以内)	876,442
流動負債合計			196,859,853
(固定負債)			
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に 備えたもの	15,618,512
リース債務		人事・給与システム (返済期間1年超)	444,812
固定負債合計			16,063,324
負債合計			212,923,177
正味財産			400,773,310
負債及び正味財産合計			613,696,487

監 査 報 告

令和7年5月9日

公益財団法人 大田区文化振興協会
理事長 津村 正純 様

公益財団法人大田区文化振興協会

監 事 中井 恭子

監 事 小泉 貴一

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じた説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書（事業報告及びその附属明細書）は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和7年度 (2025年度)

事業計画書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

1	計画の策定にあたって	．．．．．1
2	基本理念	．．．．．2
3	事業一覧	．．．．．2～13
	(1) 文化芸術振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業（第4条第1号関係）	
	(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業（第4条第2号関係）	
	(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業（第4条第3号関係）	
	(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業（第4条第4号関係）	
	(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業（第4条第5号関係）	
	(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第4条第6号関係）	
4	経費内訳	．．．．．13

1 計画の策定にあたって

公益財団法人大田区文化振興協会（以下「協会」といいます。）は、昭和 62 年 7 月、区民の連帯と協調の輪を広げ、地域文化活動の振興に努めることを通じて、活力と思いやりのある文化福祉都市・大田区の実現に寄与することを目的とする財団法人として設立されました。平成 18 年 4 月からは、大田区の指定管理者として大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森、龍子記念館、熊谷恒子記念館の文化拠点施設を管理運営しています。平成 22 年 4 月には公益財団法人へ移行し、地域文化振興に取り組む公益目的の団体として、大田区と密接に連携し、文化芸術事業の提供並びに区民の自主的な文化活動の支援などを行っています。平成 29 年 5 月には、協会創立 30 周年を機にコーポレートアイデンティティ（CI）の確立を図るため、「えがく かなでる ひびく」のキャッチフレーズとシンボルマークを定めました。協会が「扇」の『要』となり、人々が文化芸術を通して未来に夢を描き、希望を奏で、多くの人々の心に響き続けられるよう、事業を創造していく決意を新たにしました。

令和 6 年度を初年度とする中期事業計画においては、これまでの協会の取組実績を踏まえるとともに、令和 5 年 4 月の鈴木晶雅区長の誕生による新たな大田区基本構想の策定、大田区が SDGs 未来都市及び自治体 SDGs モデル事業に W 選定されたことなど大田区をめぐる環境の変化に即した内容としました。さらなる文化事業の充実や施設管理の強化を目指して、文化芸術分野において区民の皆様にご喜んでいただける新たな施策・事業を計画に盛り込みました。策定にあたっては、新たに職員によるワーキングチームを立ち上げ、計画に反映させる仕組みも構築しました。

中期事業計画 2 年目となる令和 7 年度事業計画においては、従来から実施してきた多彩な鑑賞機会の提供はもとより、区民の事業への参加や関係機関・団体との連携・協働、アウトリーチの取組など、区民の主体性を尊重しながら、様々な事業を引き続き計画しています。

施設管理においては、大田区が新たに整備をした絵画等保管拠点である、馬込アートギャラリーの管理運営を令和 7 年度から新たに開始します。また、大田文化の森ホール棟の特定天井改修その他工事が終了し、本年 7 月から再開となります。ハード面、ソフト面の両面において当協会のノウハウを活かし、円滑かつ確実に業務を遂行してまいります。

協会は、今後も「文化振興を進めることで、人の存在価値を高めるとともに人生を豊かにし、個人と社会のつながりを強め交流を促進し、地域の活性化・魅力化を図ること」をミッションに掲げ、区との連携のもと協会職員一丸となって文化振興に取り組んでまいります。

2 基本理念

当協会は、大田区における文化振興を図り、もって地域活性化と魅力のある文化のまちづくりに寄与するため、区と連携して事業の推進に全力で取り組みます。

定款に定める事業（第4条関係）

- （1）文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- （2）文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- （3）文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- （4）文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- （5）文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- （6）その他この法人の目的を達するために必要な事業

3 事業一覧

（1）文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号】

大田区民プラザでは、32年目を迎える定期公演である、下丸子 JAZZ 倶楽部・下丸子らくご倶楽部について、飲食も楽しみながらお楽しみいただける「倶楽部」としての空間を演出します。また、館の特色を活かした日本の伝統文化を発信することで、大田区の伝統文化の継承にも寄与する他、館がこれまで以上に文化拠点施設の役割を担うために、街とつながる事業企画を実施します。

大田区民ホール・アプリコでは、これまで若手育成事業として実施してきたピアノ・うたのコンサートの企画内容を一新し、平日の午後にゆったりと音楽を楽しめるシリーズとして開催します。また「KAMATA JAZZ/KAMATA JAZZ LAB」を開始し、蒲田から新しいジャズを発信します。

大田文化の森では、ホール棟のリニューアル記念事業として、こどもも大人も楽しめる伝統芸能公演を実施します。また、大田区民プラザ工事休館中に実施した落語が好評だったことから、新たな定期公演「大森らくご倶楽部」を開始します。

OTA アート・プロジェクトは、馬込文士村の文化資源を活用した地域密着型の事業企画を、大田文化の森を拠点に実施します。地域の魅力を発信し、文化の掘り起こしを目指します。美術の分野では、大田区におけるアート事業の可能性について令和7年度もトークイベントを開催し、考える機会をつくれます。

さらに、区の文化事業である「洗足池 春宵の響」、「平和都市宣言記念事業」に協力し、大田区の豊かな地域文化の形成と活性化を図ります。

展示・普及事業においても、区民の誰もが身近に文化芸術に触れることができるよう、無料や低料金で楽しめる展示、アートワークショップを行います。また、若手アーティストの発掘に取り組む他、アーティストを区内の学校や福祉施設へ派遣して施設内でコンサートやワークショップを行う等、学校や地域へのアウトリーチ事業を通じて区内で本物の文化芸術に触れる機会を提供します。

また、区からの補助金を抑制するため、引き続き各種助成金の獲得に努めます。

OTA アート・プロジェクトとは？

大田区文化振興協会が、“アートでまちづくり”をテーマに大田区に点在する様々な文化芸術に関わるヒト・モノ・コトを文化資源として紹介し、未来に向けて新たに共創していく創造プロジェクトです。

大田区民プラザ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
下丸子 JAZZ 倶楽部	年 6 回	小ホール	音楽	942 人
下丸子らくご倶楽部	年 9 回	小ホール他	演芸	1,580 人
世界は音楽でつながっている アフリカに触れる 1 日～ジャンベ（アフリカの太鼓）ワークショップ	8 月 9 日	小ホール	音楽	40 人
世界は音楽でつながっている アフリカに触れる 1 日～アフリカダンス ワークショップ	8 月 9 日	小ホール	音楽	40 人
世界は音楽でつながっている アフリカに触れる 1 日～子どもも大人もはじめてのアフリカライブ	8 月 9 日	小ホール	音楽	100 人
下丸子 JAZZ 倶楽部 Happy Birthday CONCERT	9 月 27 日	大ホール	音楽	425 人
人形浄瑠璃 文楽（2 回公演）	11 月 14 日	大ホール	伝統文化	754 人
第 91 回新春プラザ寄席①	1 月 5 日	大ホール	演芸	484 人
第 91 回新春プラザ寄席②	1 月 6 日	大ホール	演芸	484 人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》小鼓・日本舞踊	通年	第 1 音楽スタジオ・小ホール	伝統芸能	40 人
ピアノと砂のファンタジー「星の王子さま」公演関連ワークショップ「サンドアート」	8 月 7 日	小ホール	美術	40 人
初めての日本画講座（秋）	10 月～11 月	会議室	美術	20 人
フレッシュ名曲コンサート キャンペーン 読響×アブリコ 望郷の「新世界」	11 月 4 日	大ホール	音楽	300 人
文楽入門講座	11 月 14 日	小ホール	伝統芸能	30 人
アート・サロン	調整中	調整中	その他	300 人

大田区民ホール・アプリコ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
本と音楽の素敵な出逢い ザ・家康・クラシック～江戸は おもしろい！邦楽と西洋音楽の魅力に迫る！！～	7月23日	大ホール	音楽	637人
（共同主催事業）和太鼓 東京打撃団 30周年記念公演	7月26日	大ホール	音楽	630人
（共同主催事業）しまじろうコンサート「しまじろうの ミュージックアドベンチャー」（5回公演）	8月23日 8月24日	大ホール	音楽	6,309人
ピアノと砂のファンタジー「星の王子さま」	10月4日	大ホール	音楽	715人
KAMATA JAZZ LAB	10月10日 11月13日 12月19日	小ホール	音楽	339人
（共同主催事業）東京混声合唱団 アフタヌーン・コンサ ート at アプリコ	10月17日	大ホール	音楽	610人
結成 10 周年記念ツアー 東京六人組	11月24日	大ホール	音楽	637人
アプリコ・クリスマス・フェスティバル 2025	12月13日	大ホール	音楽	975人
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコうたのアフタヌ ーンコンサート	1月16日 3月18日	大ホール	音楽	975人
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコお昼のピアノコ ンサート	1月19日 2月13日 3月24日	大ホール	音楽	1,170人
KAMATA JAZZ 菊地成孔クインテット、Banksia Trio	1月24日	大ホール	音楽	900人
フレッシュ名曲コンサート 読響×アプリコ 望郷の「新 世界」	1月31日	大ホール	音楽	967人
（共同主催事業）八神純子 コンサート（仮称）	2月7日	大ホール	音楽	912人
アプリコはじめのいっぽ♪コンサート 2026 ようこそ♪ 矢部達哉のミュージックルームへ Vol. 1	2月28日	大ホール	音楽	637人
大田区 JHS ウインドオーケストラ 春風コンサート	3月8日	大ホール	音楽	500人
（共同主催事業）歌舞伎公演（仮称）（2回公演）	3月13日	大ホール	伝統芸能	1,698人

②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
アプリコ・アートギャラリー	年4回	地下1階	美術	—
第38回大田区在住作家美術展	10月30日～11月6日	展示室	美術	4,000人

③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
夏休みアート・プログラム（美術）	8月	展示室	美術	40人

OTA オペラプロジェクト こどもオペラ体験ワークショップ	8月2日	大ホール	音楽	60人
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》和太鼓	9月～10月	Aスタジオ	伝統芸能	32人
大田区文化振興協会フレンドシップアーティスト2026年度出演者オーディション	9月～11月	大ホール	音楽	7人
大田区 JHS ウインドオーケストラ 合同練習	11月～3月	区内中学校	音楽	45人

大田文化の森

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
大森らくご倶楽部	年2回	ホール	演芸	391人
お囃の森 講談と薩摩琵琶できく怪談～小泉八雲の世界～（2回公演）	7月6日	ホール	伝統芸能	325人
OTA アート・プロジェクト 馬込文士村演劇祭 2025	12月20日 12月21日	ホール他	演劇他	338人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
初めての日本画講座（春）	5月～6月	集会室	美術	20人

その他

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
世界は音楽でつながっている アフリカに触れる1日 お寺で楽しむアフリカ音楽	6月22日	池上養源寺	音楽	168人
世界は音楽でつながっている アフリカに触れる1日 打楽器奏者・岩原大輔さんとつくる「音楽の図鑑」ワークショップ	7月13日	くりらぼ 多摩川	音楽	20人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
大田区学校出張講座	通年	区内小中学校	音楽/演劇	10校
福祉施設訪問事業（音楽）	調整中	区内福祉施設	音楽	2施設
福祉施設訪問事業（美術）	調整中	区内福祉施設	美術	2施設
地域連携事業	調整中	調整中	調整中	2事業
OTA アート・プロジェクト トークイベント	調整中	調整中	美術	60人

（２）文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第４条第２号】

①文化芸術活動支援事業

大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。

②公演サポーター事業

公演準備やお客様のご案内等、楽しみながら公演に従事いただくことを目的とした公演サポーターを公募により通年で募集し活動を行います。

③大田文化の森活動支援事業

大田文化の森は、区民の主体的な文化活動を支援し、交流の輪を広げることを目的に設置されました。区民自らが中心となって事業運営を行う任意団体として、大田文化の森運営協議会が各種の企画事業等を実施し活発に活動しています。協会は、運営協議会の支援を通じて、地域の区民の文化芸術活動を支えています。

④大田区平和都市宣言記念事業

大田区が主催する「平和記念式典」と「平和祈念花火」に協力します。

⑤洗足池 春宵の響

大田区が実施する事業に協力します。

（３）文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第４条第３号】

区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の収蔵作品・収蔵資料等の調査研究と適切な修復を行い、文化資源の良好な保管・展示の充実のための環境整備を進めます。また、収蔵作品等のアーカイブ化を進め、それらを効果的に活用していきます。

各記念館の展示においては、見やすく、親しみがもてるようなテーマを設定する等、魅力ある展示企画を実施することで、より多くの区民に大田区の貴重な文化財産に接していただきます。また、他の美術館等との交流を深め、収蔵作品を有効に活用していきます。

龍子記念館では、川端龍子の生誕 140 年を記念した特別展「川合玉堂と川端龍子（仮称）」を 10 月～11 月に開催し、近代日本美術の魅力を紹介することで、龍子記念館の周知を図るとともに、川端龍子の再評価を促していきます。また、地域と連携して、美術館コンサートやジャズライブ、関連講演会、研究会、ワークショップ等を実施することにより、日本美術への関心を高め、理解を深める機会を提供し、幅広い層の来館者に向けて知名度向上を図っていきます。

熊谷恒子記念館では、年 3 回かなの美展を開催し、令和 8 年 2 月から 3 月頃まで伝統工芸士・町田久美子とのコラボレーション展示する他、期間限定で庭園公開等を併催し、より多くの区民に鑑賞いただきます。また、馬込アートギャラリーに常設展示コーナーを新設し、回遊性を図ります。

各記念館では展示会や関連事業等の SNS による発信とともに、各種ワークショップ、展覧会の会期中のギャラリートーク・講演会等を開催し、多くの区民に楽しんでいただく

取組を実施します。また、区民に日本画や、かな書等への興味と各記念館に対する理解を深めていただけるよう、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の学芸員による連続講座を実施するとともに、調査・研究の成果を記念館ノートとして発行します。

なお、令和6年3月に龍子記念館および龍子公園内の旧川端龍子邸、画室が国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。区に文化財となった建造物の有効な活用方法について提案しながら、文化財の保存活用計画の策定を進めていきます。また、龍子記念館の所蔵作品や資料のデジタル化を継続的に行い、資料目録として体系化を進めます。

馬込アートギャラリーは、令和7年度から新たに管理運営する施設になります。施設の維持管理、保守メンテナンスのハード面、寄贈絵画等の保管、展示などのソフト面、両面において当協会のノウハウを活かし、円滑かつ確実に業務を遂行することで区民の文化芸術の向上及び心豊かな生活の実現に向けて取り組みます。

区民寄贈絵画等の展示では、区民が身近に絵画等を感じていただけるような鑑賞環境をつくとともに、こども達が楽しめるワークショップ等も実施することで、アートに触れ、学び、楽しむ施設として文化芸術の振興に取り組みます。あわせて、バリアフリー化が困難な熊谷恒子記念館の作品等を多くの方にご覧いただけるように常設展示するとともに、熊谷恒子の活動を紹介していきます。

龍子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
名作展「川端龍子の描き出した世界 生誕 140 年を迎えて」	3月29日～6月22日 ※計画数は4月1日から	龍子記念館	3,000人
名作展「時局と画家 川端龍子の 1930～40 年代」	7月12日～9月21日	龍子記念館	2,000人
東京文化財ウィーク 2025 公開事業 龍子公園の特別公開	10月25日、26日 11月1日、2日、3日	龍子記念館	1,000人
川端龍子生誕 140 年特別展「川合玉堂と川端龍子（仮称）」	10月11日～11月9日	龍子記念館	3,000人
名作展「タイトル未定」	12月6日～3月8日（予定）	龍子記念館	2,000人
他館とのコレクション交換展	3月20日～5月6日（予定） ※計画数は3月31日まで	龍子記念館	500人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク（一般対象）	月1回	龍子記念館	360人
ギャラリートーク（小・中学生対象）	8月	龍子記念館	50人
ワークショップ（小学生対象）	8月・3月	龍子記念館	30人

記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	70人
記念館ノート発行	3月	－	－
地域連携・美術館コンサート／ジャズライブ	5月・8月	龍子記念館	80人
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	－	10,000閲覧
地域連携・講演会（通常展・特別展）	7月・10月	大田文化の森	120人
地域連携・アート研究会	5月～10月（5回）	ギャラリー南製作所	40人

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
作品貸出（石川県立美術館・1点）	7月	－	－
作品貸出（島根県立美術館・資料含む106点）	7月	－	－
作品貸出（碧南市立藤井達吉現代美術館・資料含む106点）	10月	－	－

熊谷恒子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
かなの美展「西行の『山家集』 熊谷恒子の親しんだ書（仮称）」	4月19日～7月6日	熊谷恒子記念館	450人
かなの美展「手本をもとに 熊谷恒子と『徒然草』（仮称）」	7月19日～12月7日	熊谷恒子記念館	500人
かなの美展「開館35年 晩年の秀作と愛用品（仮称）」	12月20日～4月12日 （予定）	熊谷恒子記念館	450人
地域連携・コラボレーション展示	2月17日～3月27日 （予定）	熊谷恒子記念館	250人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク	月1回	熊谷恒子記念館	240人
ワークショップ（小・中学生、親子対象）	9月13日・14日	大田文化の森	30人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	－	－
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	－	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
庭園公開	4月6日・4月25日～4月27日・5月3日～5月6日・ 9月20日～9月21日	熊谷恒子記念館	150人

馬込アートギャラリー

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
区民寄贈絵画展示①	調整中	馬込アートギャラリー	500 人
区民寄贈絵画展示②	調整中	馬込アートギャラリー	450 人
区民寄贈絵画展示③	調整中	馬込アートギャラリー	450 人
熊谷恒子作品等展示①	調整中	馬込アートギャラリー	500 人
熊谷恒子作品等展示②	調整中	馬込アートギャラリー	450 人
熊谷恒子作品等展示③	調整中	馬込アートギャラリー	450 人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
アートワークショップ①	調整中	馬込アートギャラリー	調整中
アートワークショップ②	調整中	馬込アートギャラリー	調整中
対話型鑑賞ワークショップ①	調整中	馬込アートギャラリー	調整中
対話型鑑賞ワークショップ②	調整中	馬込アートギャラリー	調整中

山王草堂記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
徳富蘇峰に関する展示	通年	山王草堂記念館	7,000 人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
馬込文士の足跡をたずねて散策会「大森山王の政財界人～徳富蘇峰と渋沢栄一を中心に～」	5 月 11 日	山王草堂記念館他	30 人
ギャラリートーク	月 1 回	山王草堂記念館	120 人
記念館講座	12 月～3 月のうち 1 回	大田文化の森	50 人
記念館ノート発行	3 月	－	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	山王草堂記念館	－

尾崎士郎記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
尾崎士郎に関する展示	通年	尾崎士郎記念館	－

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
馬込文士の足跡をたずねて散策会「終戦後の馬込文士村～尾崎士郎と坂口安吾を中心に～」(仮)	3月28日	山王草堂記念館他	30人
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	120人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	－	－

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	尾崎士郎記念館	－

(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】

区民への効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌 Art Menu を作成し、DMや区内施設等で配布します。また、当協会の役割として期待されている

「様々な団体とのネットワーク構築」や「文化団体の情報収集・発信」を強化するため、区内の文化・芸術情報を集めた情報紙 ART bee HIVE を作成し、新聞折込にて区内全域に配布します。さらに、幅広い層への情報発信として、区内のケーブルTV、公式ホームページ、メールマガジン、YouTube、X(旧Twitter)、Instagram、LINE、Facebook等のSNSを含めた様々なメディアを活用して情報発信を行います。令和3年度に情報紙のPR強化のため制作した公式PRキャラクター「リズビー」は、令和5年度に商標権を登録しました。いずれは協会全体の公式キャラクターとして活躍の場を広げることを目指し、キャラクターを活用した多様な広報活動を行うことで、協会の認知度向上に努めていきます。

事業名	内容
大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」	協会の主催・共催事業の情報、施設情報を掲載。区内公共施設・駅で配布の他、チケット購入者等へDM送付。回数：年6回偶数月発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』	区内の文化・芸術に携わる文化人や施設、イベント情報を掲載。新聞5紙に折り込み、区内全域に配布。回数：年4回季刊発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』区民記者	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の企画や取材等、情報紙制作への協力を目的として、公募により年度単位で活動を委嘱。

ART bee HIVE PR キャラクター“リスビー”	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』のPR キャラクターの認知度向上を目的としたキャンペーン事業を実施。
ホームページ	協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内、イベントカレンダーによる貸館情報を掲載。
SNS	協会公式 X、LINE、Facebook、Instagram、YouTube を運営中。文字情報だけでなく、画像や動画を活用した主催・共催事業の宣伝のほか、施設情報、広報誌の発行案内などを配信。
区広報課への情報提供	区報、区設掲示板、まなびの森、シティプロモーションサイト「UniqueOta」を中心に施設、協会の主催・共催事業、広報誌に関する情報を提供。

（５）文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第４条第５号】

①管理運営の取組

文化拠点施設には、大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森にホール・展示室・集会室等の機能を持った施設があります。

大田文化の森ホールは、令和６年５月から令和７年６月まで特定天井改修その他工事のため休館となっています。なお、多目的室や情報館等がある集会棟は引き続き開館しています。安全・安心と快適性を増した施設となるための工事が着実に進捗するよう、区に協力していきます。

各施設では、地域の文化振興につながるよう、区と連携して良質な文化の提供と区民の自主的な文化活動を支援します。地域の中で文化活動に携わる人や団体を結び、輪を広げ、集客を図り、賑わいを創出します。より多くの区民に利用いただけるよう、以下の点に留意しながら管理運営を行っていきます。

◆施設や設備を良好に維持管理し、清潔な状態を保ち、安全で快適な環境づくりを行います。特定天井改修その他工事に合わせて、施設の老朽化した設備等の改修工事を実施します。

◆施設利用者に、多様な文化情報の提供や施設の利用案内をすることで、コーディネート機能を発揮していきます。

◆ハード面・ソフト面の安全対策を強化するとともに、特別出張所や自治会等と連携し、区の防災対策を推進する上で期待されている指定管理者としての役割を果たしていきます。

◆施設の管理運営にかかる経費を不断に見直し、効率的な施設運営を行います。

②施設ごとの具体的な取組

大田区民プラザは、特定天井改修その他工事において大ホールの舞台照明設備が最新機器に刷新されました。さらに、最高峰のピアノである「スタインウェイピアノ」を活かし、区民の演奏機会の創出や、舞台の裏側を案内する自主事業を展開し、文化に触れる機

会の創出や、新たなニーズの発掘による施設のPRを進めます。また、令和7年度に区が実施予定の体育室空調設置工事に際しては、工事期間中の利用者への影響を抑えつつ、安全で快適な環境整備のために協力します。

大田区民ホール・アプリコでは、特定天井改修その他工事に合わせて設置した高輝度プロジェクターのさらなる利用促進のため、区内の風景動画や楽器演奏の映像等によるPR用の動画を新たに作成しました。令和7年度は、施設見学等でも高度な性能を積極的にPRし、さらにアプリコ受付横の案内モニターでも常時放映することで、高輝度プロジェクターの利用回数とともに施設の稼働率向上を図ります。また、開催要望の多い事業である、世界中の音楽家やピアノ愛好家から高い評価を受けているピアノを利用した「スタインウェイピアノを弾こう」や、普段見学することができない舞台裏を体験できる「バックステージツアー」を実施します。

大田文化の森では、令和6年5月からホール棟の特定天井改修その他工事のためホール棟を休館していましたが、令和7年7月から利用を再開します。天井の耐震工事に合わせ、ホール舞台設備改修工事、空調設備改修工事、外壁改修工事等、安全で利用しやすい施設にするとともにWi-Fi等通信環境も整備します。利用再開に向け利用案内をより分かりやすい内容にする等、施設PRにも努めながら準備を進めます。集会棟では、エレベータ更新工事、全熱交換機更新工事、LED化更新工事等、区が実施する工事の実施に協力し、文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備を進めます。また、区民から好評である陶芸教室を継続して実施することや避難訓練コンサートを開催し、施設の活性化を図ります。情報館の運営においても、様々な年齢層の方々にご利用いただけるよう多様な自主企画講座を提供していきます。

施設名	所在地	主な施設
大田区民プラザ	大田区下丸子 3-1-3	大ホール（509 席） 小ホール（198 ㎡） 展示室（372.9 ㎡） 他、リハーサル室、音楽スタジオ、会議室、和室、美術室等あり
大田区民ホール・アプリコ	大田区蒲田 5-37-3	大ホール（1,477 席） 小ホール（210 ㎡） 展示室（420 ㎡） スタジオ A（110.7 ㎡） スタジオ B（57.7 ㎡）
大田文化の森	大田区中央 2-10-1	ホール（259 席） 多目的室（313 ㎡） 展示コーナー（125 ㎡） 他、音楽スタジオ、創作工房、和室、集会室、情報館等あり

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

①利用者の利便性向上に資する付加サービス事業

施設利用者が主催する公演のチケットを受託し、窓口で販売します。

また、大田文化の森情報館においてコピー機やプリンターを設置し、利用者へのサービス（有料）を提供します。

②大田区から受託するスポーツ施設等の管理運営に関する事業

大田区民プラザの体育室及びトレーニングルーム、大田文化の森のスポーツスタジオは、引き続き区民が安心して利用できるよう、定期点検を着実にを行い、適切な管理運営に努めます。

4 経費内訳

項目	定款	金額
(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業	第4条第1号	143,038,000
(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業	第4条第2号	22,864,000
(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業	第4条第3号	159,267,000
龍子記念館	－	72,678,000
熊谷恒子記念館	－	12,218,000
馬込アートギャラリー	－	60,350,000
山王草堂記念館	－	8,615,000
尾崎士郎記念館	－	5,406,000
(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業	第4条第4号	17,718,000
(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業	第4条第5号	620,243,000
大田区民プラザ	－	239,758,000
大田区民ホール・アプリコ	－	129,620,000
大田文化の森	－	250,865,000
(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4条第6号	27,047,000
(7) 上記1号から6号を達成するために必要な人件費	－	317,639,000

令和7年度 (2025年度)

予 算 書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

令和7年度予算書(正味財産増減計算ベース)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,846,500	1,884,500	962,000
② 事業収益	45,709,000	52,910,000	△ 7,201,000
③ 受取補助金等	1,260,271,000	1,135,769,500	124,501,500
④ 受取寄付金	5,743,000	0	5,743,000
⑤ 雑収益	2,206,000	3,061,000	△ 855,000
経常収益計	1,316,775,500	1,193,625,000	123,150,500
(2) 経常費用			
事業費	1,307,816,000	1,192,903,500	114,912,500
管理費	8,351,000	8,596,000	△ 245,000
経常費用計	1,316,167,000	1,201,499,500	114,667,500
当期経常増減額	608,500	△ 7,874,500	8,483,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	608,500	△ 7,874,500	8,483,000
一般正味財産期首残高	162,857,215	170,731,715	△ 7,874,500
一般正味財産期末残高	163,465,715	162,857,215	608,500
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,743,000	0	5,743,000
一般正味財産への振替額	△ 5,743,000	0	△ 5,743,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	363,465,715	362,857,215	608,500

令和7年度予算書(正味財産増減計算ベース)内訳書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 地域文化芸術の振興	小計	収1 利用者の利便性向上に資 する事業	他1 区から受託するスポーツ 施設等の管理運営	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	2,846,500		2,846,500
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	2,846,500		2,846,500
② 事業収益	45,709,000	45,709,000	0	0	0	0		45,709,000
主催事業収入等	45,709,000	45,709,000	0	0	0	0		45,709,000
③ 受取補助金等	1,221,803,000	1,221,803,000	0	31,962,000	31,962,000	6,506,000		1,260,271,000
管理受託収入	1,003,483,000	1,003,483,000	0	31,962,000	31,962,000	0		1,035,445,000
事業補助収入	218,320,000	218,320,000	0	0	0	6,506,000		224,826,000
④ 受取寄付金	5,743,000	5,743,000	0	0	0	0		5,743,000
寄付金収入	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金振替額	5,743,000	5,743,000	0	0	0	0		5,743,000
⑤ 雑収益	1,553,000	1,553,000	653,000	0	653,000	0		2,206,000
雑収入	1,551,000	1,551,000	653,000	0	653,000	0		2,204,000
受取利息収入	2,000	2,000	0	0	0	0		2,000
経常収益計	1,274,808,000	1,274,808,000	653,000	31,962,000	32,615,000	9,352,500		1,316,775,500
(2) 経常費用								
事業費	1,275,390,000	1,275,390,000	464,000	31,962,000	32,426,000			1,307,816,000
役員報酬	3,330,000	3,330,000	0	0	0			3,330,000
給料手当	195,937,000	195,937,000	156,000	3,539,000	3,695,000			199,632,000
賞与	44,854,000	44,854,000	0	606,000	606,000			45,460,000
退職給付費用	3,983,000	3,983,000	0	0	0			3,983,000
法定福利費	52,155,000	52,155,000	0	853,000	853,000			53,008,000
福利厚生費	3,350,000	3,350,000	0	44,000	44,000			3,394,000
通勤交通費	7,480,000	7,480,000	0	177,000	177,000			7,657,000
旅費交通費	1,171,000	1,171,000	0	4,000	4,000			1,175,000
会議費	458,000	458,000	0	0	0			458,000
通信運搬費	14,517,000	14,517,000	3,000	176,000	179,000			14,696,000
役務費	2,364,000	2,364,000	0	19,000	19,000			2,383,000
消耗什器備品費	6,532,000	6,532,000	0	41,000	41,000			6,573,000
消耗品費	29,628,000	29,628,000	109,000	753,000	862,000			30,490,000
修繕費	39,748,000	39,748,000	0	604,000	604,000			40,352,000
印刷製本費	20,010,000	20,010,000	0	42,000	42,000			20,052,000
光熱水料費	145,881,000	145,881,000	0	6,811,000	6,811,000			152,692,000
広告宣伝費	2,526,000	2,526,000	0	0	0			2,526,000
事業委託費	68,342,000	68,342,000	0	0	0			68,342,000
管理委託費	505,740,000	505,740,000	127,000	17,629,000	17,756,000			523,496,000
委託費	46,002,000	46,002,000	0	110,000	110,000			46,112,000
雑費	95,000	95,000	0	0	0			95,000
手数料	5,554,000	5,554,000	0	27,000	27,000			5,581,000
賃借料	21,199,000	21,199,000	14,000	453,000	467,000			21,666,000
保険料	2,044,000	2,044,000	0	60,000	60,000			2,104,000
諸謝金	6,734,000	6,734,000	0	0	0			6,734,000
租税公課	22,941,000	22,941,000	55,000	13,000	68,000			23,009,000
支払負担金	245,000	245,000	0	1,000	1,000			246,000
支払助成金	22,570,000	22,570,000	0	0	0			22,570,000
管理費						8,351,000		8,351,000
役員報酬						2,110,000		2,110,000

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 地域文化芸術の振興	小計	収1 利用者の利便性向上に資 する事業	他1 区から受託するスポーツ 施設等の管理運営	小計			
法定福利費						1,513,000		1,513,000
通勤交通費						47,000		47,000
旅費交通費						163,000		163,000
会議費						18,000		18,000
通信運搬費						103,000		103,000
消耗品費						50,000		50,000
委託費						2,783,000		2,783,000
雑費						60,000		60,000
手数料						30,000		30,000
賃借料						40,000		40,000
保険料						167,000		167,000
諸謝金						132,000		132,000
租税公課						3,000		3,000
研修費						1,132,000		1,132,000
経常費用計	1,275,390,000	1,275,390,000	464,000	31,962,000	32,426,000	8,351,000		1,316,167,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 582,000	△ 582,000	189,000	0	189,000	1,001,500		608,500
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 582,000	△ 582,000	189,000	0	189,000	1,001,500		608,500
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 582,000	△ 582,000	189,000	0	189,000	1,001,500		608,500
一般正味財産期首残高	154,704,715	154,704,715	4,813,000	0	4,813,000	3,339,500		162,857,215
一般正味財産期末残高	154,122,715	154,122,715	5,002,000	0	5,002,000	4,341,000		163,465,715
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	5,743,000	5,743,000	0	0	0	0		5,743,000
一般正味財産への振替額	△ 5,743,000	△ 5,743,000	0	0	0	0		△ 5,743,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	0	0	0		200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	0	0		200,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	354,122,715	354,122,715	5,002,000	0	5,002,000	4,341,000		363,465,715

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

報告第 30 号

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公益財団法人大田区産業振興協会の下記の書類を提出する。

令和 7 年 6 月 18 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 6 年度事業報告書
- 2 令和 6 年度決算書
- 3 令和 7 年度事業計画書及び収支予算書

令和 6 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事 業 報 告 書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

令和6年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和6年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	9
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	23
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	26
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	31
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	34
令和6年度 産業プラザ施設利用状況＜別表A＞	34
施設利用収入状況＜別表B＞	35
理事会・評議員会	37
協会組織強化	39

令和 6 年 度 総 括

令和 6 年度は、世界的な経済情勢の不透明さが続く中、コロナ禍からの繰越需要に支えられ、緩やかな回復が見られました。しかし、災害の影響や国際情勢による物価・資源価格の変動など、依然として高い不確実性が存在し、区内産業においても、燃料・電気代の高止まりや原材料費の上昇といった厳しい状況が続いています。

こうした状況下、公益財団法人大田区産業振興協会は、蒲田 Pi0、羽田 Pi0 そしてデジタル Pi0 の 3 本柱の基に産業者への様々な支援を行ってきたところです。

蒲田 Pi0 では、勤労者共済窓口を産業プラザ 1 階の Pi0 フロントに移設し、勤労者共済会員の一層の利便性向上を図りました。また、社会課題の解決を目指す「Meet New Solution in OTA」では、浜松市とのコラボ企画に取り組み、次世代のモノづくりへの刺激や新たな気づきを得る機会を提供しました。区内商業・サービス事業者への取り組みでは、店主の経営力を高める取り組みや区外販路の開拓と合わせ、商業施策の更なる展開を図るため、区内の商店・飲食店等約 3,000 件の個別訪問を実施しました。

羽田 Pi0 では、好評の「超専門技術ミニ展示会」を 3 回開催し、毎回多くの来場者を得るとともに、ものづくりビジネスセンター大阪との連携イベントなど地域の垣根を越えて参加企業のビジネスチャンス拡大に寄与しました。

そして、デジタル Pi0 は、区内企業が登録し易い身近な SNS ツールを使ったプラットフォームへ再整備を行い、新たなかたちで OTA デジタル×Pi0 をスタートし、登録者数は 1,300 名を超えました。

令和 7 年度、公益財団法人大田区産業振興協会は設立 30 年を迎えます。世界情勢や社会状況の変化を的確に捉え、これまで築いた産業者との絆、豊富な経験、確かな実績に基づき、「将来を担う世代の創業促進」と「チャレンジする産業者の応援」に引き続き注力していきます。また、これらを実行する職員一人ひとりの能力とスキルを向上させることで、大田区のすべての「産業者の応援団」として、皆様の期待に応えてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

【重点取組事項】

- ・産業情報誌「テクノプラザ」は協会ホームページ上で特設ページを設置し、大田区企業の活性化を目指し、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や商い事業者を、パンフレット・ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【当初予算額 1,131,000 円（うち区補助）1,131,000 円】

【決 算 額 584,794 円（うち区補助） 584,794 円】

（ア） 事業案内冊子の配布

（a）事業案内 3,000 部

（b）支援メニューブック 1,300 部



【事業案内】

（イ） 大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

（ウ） 視察対応

産業プラザをはじめ産業振興の拠点となる産業支援施設の見学や区内中小企業のご紹介等国内外からの視察対応を行った。

② 大田ブランド発信事業

【当初予算額 0 円】

【決 算 額 0 円】

区内中小企業等のブランド力の維持向上に繋がる取組を発信した。

③ 産業情報誌の発行

【当初予算額 2,539,000 円（うち区補助）2,539,000 円】

【決 算 額 24,561 円（うち区補助） 24,561 円】

協会ホームページ内の「テクノプラザ Web 版」において、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。

「テクノプラザ」	協会ホームページの更新 10 回
----------	------------------



【テクノプラザ ホームページ】

④ 産業情報受発信事業

【当初予算額 9,802,000 円（うち区補助）9,502,000 円】

【決 算 額 8,017,883 円（うち区補助）7,482,883 円】

（ア） 区内中小企業の情報発信

- ・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、商い事業者、人材採用成功企業等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

（イ） 協会ホームページによる情報発信

- ・リニューアル実施（<https://www.pio-ota.jp/>）
 - ・年間アクセス件数：87,417 件
 - ・年間閲覧ページ数（PV）：229,026 件
- ※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は
サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」
「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム（mirai）」
「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。



【協会ホームページ】

（ウ） プレスリリース配信サービスの活用

- ・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12 回の発信を行った。

⑤ 調査・研究事業

【当初予算額 0 円】

【決 算 額 0 円】

産業関連情報誌及び区内中小企業から得た情報を調査・研究し、令和 7 年度の新規事業等に活用した。

〔重点取組事項〕

- ・大田区産業プラザ1階「PiO フロント」では、区内中小企業の経営基盤の強化や創業促進などのため、ビジネス相談（専門家派遣）、創業相談（創業相談窓口）及びデザイン相談（PiO デザイン工房）を実施。さらに、大田区産業の総合相談窓口として、館内の支援機関・団体をはじめ、各支援機関等との連携強化を図りつつ、専門的な相談窓口への橋渡しなど、相談者が必要な支援を受けるためのコーディネートを行った。
- ・専門相談員による「創業相談窓口」は相談回数が令和4年度から連続して800回を超え、継続的な相談支援や国の特定支援事業を案内するなど、今年度も引き続き区内での創業を促進した。
- ・創業者支援事業では、創業期における様々な課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組を行った。令和2年度から始まったベンチャーピッチ in 羽田では、創業希望や創業間もない企業・団体から17件の応募があり、うち8件のビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップし、パートナー企業19社に対してピッチを行った。会場では、質疑応答やパートナー企業からのアドバイスが活発に行われ、創業者の成長につながる機会を創出した。
- ・「工場表彰制度」事業は、12社を優工場に認定した。従来の認定特典（PR動画、パンフレット作成、「チャレンジ企業応援資金」経営診断免除）に加え、求人情報サイト「おしごとナビ大田区」への1年間無料掲載を新たな認定特典とした。

① 中小企業情報化支援

【当初予算額 5,784,000 円（うち区補助）3,105,000 円】

【決 算 額 4,284,384 円（うち区補助）2,374,784 円】

ホームページ PR ツール作成支援サービス（PiO デザイン工房）

区内中小企業のホームページをはじめ、ポスターやチラシなどの各種 PR ツールの作成を、デザインを専門とする専門員が支援することで自社製品やサービスの PR を促進した。

利用回数	延べ248回	新規利用者数	19社
------	--------	--------	-----

② ビジネスサポートサービス

【当初予算額 10,281,000 円（うち区補助）10,281,000 円】

【決 算 額 5,230,110 円（うち区補助）5,230,110 円】

（ア）ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様々な課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ428回	支援協力者登録数	102人
---------	--------	----------	------

(イ) Pi0 フロント

Pi0 フロントにおける相談等利用実績

内容	利用件数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	868 回
ビジネス相談（専門家派遣）	428 回
デザイン相談（Pi0 デザイン工房）	248 回
窓口相談	171 回
電話相談	259 回
館内案内	1, 227 回
その他利用（他事業打合せ、見学等）	265 回
合計	3, 466 回



【Pi0 フロント】

(ウ) 大田区デジタルプラットフォーム（OTA デジタル×Pi0）

内容	利用者数
メンバー登録者数	1, 349 人 (令和 7 年 3 月末日時点)
コンテンツ発信件数 (イベント、マガジンページ)	148 件

③ 繁盛店創出事業

【当初予算額 22, 742, 000 円（うち区補助）22, 742, 000 円】

【補正後予算 10, 587, 000 円（うち区補助）10, 587, 000 円】

【決 算 額 5, 018, 735 円（うち区補助）5, 018, 735 円】

(ア) 銘店への道事業

小売店、飲食店及びサービス業事業者が行う店舗改装や新規チャレンジなどの新たな価値を創出する取り組みについて、店舗設計や商店経営等の専門知識・経験を持つコーディネーターが支援した。加えて、その取り組みにかかる費用の一部を助成した。

申請件数	採択件数
25 件	13 件



【銘店への道事業案内】

(イ) デジタルを活用した情報発信

LINE 公式アカウント「商いPi0」による情報発信・案内を実施した。

配信回数	登録者数（令和 7 年 3 月時点）
47 回	340 アカウント



【LINE 公式アカウント商いPi0】

④ 創業者支援事業

【当初予算額 19,525,000 円（うち区補助）19,525,000 円】

【決算額 19,308,089 円（うち区補助）19,308,089 円】

（ア）創業相談窓口の設置

（a）創業相談窓口

区内での創業希望者または創業して間もない方を対象に、事業計画作成、資金調達及び販路拡大の方法など、専門相談員による創業時の様々な課題への助言等を行う相談業務を実施した。

相談件数	延べ 868 回
------	----------

（b）創業者交流会

実施日	テーマ等	参加者数
令和 7 年 1 月 27 日	「創業者交流会」 会場：大田区産業プラザ A・B 会議室 内容：①創業者ピッチ ②大田区産業振興協会支援事業紹介 ③交流会（名刺交換等）	15 人

（イ）ユナイト助成

助成件数 6 社（申込件数 6 社）	
企業名	事業テーマ
株式会社 TS Express	国際宅配便料金把握のためのシステム構築
株式会社グーテンベルク	ロボット分野での 3D プリンター用途開拓を行う 3D プリント部品で構成されたロボットアームの製作
株式会社 Nudesign	パラグライダー、バイクエンジン用バルブリフト量自動測定装置
株式会社 cosmobloom	膜面式デオービット装置の要素部品量産化および膜面収納法の検討
株式会社水龍堂	新型 ROV（水中ドローン）フレーム試作
株式会社 ICOMA	板金加工で製造される電動バイク「TATAMEL BIKE」の量産拡大化に向けた、組み立て検証、キット販売に向けた検証用試作



【事業案内チラシ】

(ウ) ベンチャーピッチ (ベンチャーピッチ in 羽田)

概要	
参加者募集	令和6年9月13日～9月28日
参加者選定会	令和6年10月7日 ※応募17件から8件を選定
全体コーチング	第1回 令和6年10月16日 第2回 令和6年10月30日 第3回 令和6年11月13日 第4回 令和6年11月27日
個別コーチング	令和6年10月～令和7年1月の4か月間、各5回程度実施
ピッチイベント 会場：PiO PARK	令和6年12月12日 ※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などのパートナー企業 に対してピッチを実施
【パートナー企業】（19社） ANA ホールディングス株式会社、エス・エー・エス株式会社、株式会社NTT ドコモ・ベン チャーズ、Open Network Lab（運営：株式会社デジタルガレージ）、株式会社きらぼし銀行、 在日ドイツ商工会議所、さわやか信用金庫、ジャフコ グループ株式会社、城南信用金庫、 住友商事マシネックス株式会社、台北コンピュータ協会（TCA）東京事務所、東急株式会社、 東洋製罐グループホールディングス株式会社、TOPPAN エッジ株式会社、株式会社ニコン、 日本航空株式会社（JAL）、株式会社 FUNDINNO、ベンチャーフレンドリープロジェクト、 株式会社リコー	
登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
HEAT	オンラインマンツーマンスポーツ指導マッチングプラットフォーム
ビジネスハーモニー 株式会社	働く女性の気分が上がる PC グッズを展開し、ガジェット版の Francfranc に
株式会社クリエイト Era	音漏れしない音響設備[ANTI SONIC]
株式会社丸菱製作所	工場の困った「イマ」を解決する、技術を出品する製造業のフリマ サイト ASNARO
株式会社 Planetary Wellness	孤独ゼロ社会を目指してー ペカン 1,000 年の恵みと共にー
PwR 株式会社	オンラインゲームのポータルとなる安心安全な SNS 「DoMaLoG」
Ring-ndx 株式会社	クレーム銀行による管理不全マンション再生プロジェクト
DH+DA	DH+DA

(エ) スタートアップ誘致

令和6年11月に沖縄で開催された1万人規模のIT・DXの展示会商談会「ResorTech EXPO in Okinawa (リゾテックエキスポ)」に出展。国内外スタートアップ企業を対象に、大田区への企業誘致につながる機会としてブースを設けてPRした。

展示会名	会期及び会場	商談件数
ResorTech EXPO 2024 in Okinawa (リゾテックエキスポ 2024)	令和6年11月14日～15日 沖縄アリーナ	197 件

⑤ 工場表彰制度（優工場）

【当初予算額 4,645,000 円（うち区補助）4,545,000 円】

【決 算 額 3,702,079 円（うち区補助）3,702,079 円】



【優工場ホームページ】

申込企業	12 社
認定工場	木田工業株式会社(総合部門賞) 堀越精機株式会社(人に優しい部門賞) 株式会社フルハートジャパン(まちに優しい部門賞) 有限会社伊藤工業製作所 大森精密工業株式会社 カネモク工業株式会社 株式会社小池製作所 有限会社里中精機 株式会社三陽機械製作所 東洋電熱株式会社 ハネダ株式会社 宮城精工株式会社  
	【実地調査】 【優工場パンフレット】
累 計	309 社 実数 195 社 (令和7年3月末現在)
実地調査	令和6年9月4日～6日
審 査 会	令和6年10月21日
表 彰	令和7年2月14日

・アンケート調査の実施

前年度(令和5年度)認定工場9社にアンケートを実施。従業員の士気が向上したなど、全ての企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

〔重点取組事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（12月）参加企業167社（発注企業54社、受注企業113社）で開催。当日のキャンセルに際しても、追加商談のセットや技術連携相談員によるヒアリングなどにより空白時間をなくすことで参加企業へのサービス向上に努め、501件の商談案件を提供した。
- ・「Meet New Solution in OTA」は、「脱炭素・エネルギー・環境」「航空・宇宙」「ロボティクス」「モビリティ」等のスタートアップ企業等が勢ぞろいし、各出展者の斬新なアイデアや取組みを熱くPRした。来場者は、スタートアップやVC関連企業、大手企業等が全国から訪れ、各ブースとも活気にあふれていた。「ベンチャーフレンドリー」や「大田区中小企業新製品・新技術コンクール」等の大田区企業のコーナーでも、普段は接点のない異業種の来場者が熱心に耳を傾けており、今までにないビジネスチャンスが期待できる場となった。また、浜松市とのコラボ企画として、浜松市企業12社による特設ブースの設置、両都市によるピッチイベントなどを行った。コラボ企画を通して、双方の出展企業は次世代のモノづくりへの刺激や、新たな気づきを得る絶好の機会となり、日本有数のものづくりのまちである両地域のさらなる交流によるビジネスチャンス拡大の可能性を感じることができた。
- ・海外取引相談では、PiO PARKにおける海外情報の提供機会として、昨年度に引き続き、グローバルビジネス勉強会を6回、海外取引セミナーを4回、新規でビジネス英会話サロンを6回実施した。このほか、令和7年3月に海外企業との取引拡大を希望する区内中小企業5社とともに、台湾の政府機関や企業など7か所を訪問し、ビジネスマッチングを実施した。さらに、海外見本市については、8月に台湾で開催されたファクトリーオートメーション（FA）をテーマにしたTAIROSにて、区内中小企業6社と共同出展した。また、11月にドイツで開催された医療機器用部品をテーマにしたCOMPAMEDには区内中小企業4社と共同出展した。各出展者とも来場者に対して積極的にプロモーションを行い、数多くの商談が生まれた。その他、窓口・訪問相談や国際取引あっせん等を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、国際的な企業間連携を深耕した。
- ・商業分野の事業では、大森駅直結の施設や大岡山駅前の広場等で「おおたイチ推しマルシェ」を開催し区内商店の新規顧客獲得、販路拡大を図ると同時に、来場者には区内商店の魅力の再発見を促した。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARKの運営を通じて、区内中小企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【当初予算額 32,828,000円（うち区補助）32,300,000円】

【決 算 額 30,269,963円（うち区補助）29,776,163円】

（ア）相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
103 件	受注	発注	技術連携相談員：1,214 件 シルバー人材委託：1,151 件
67,299 千円	27 件	654 件	

(イ) 発注開拓（工業）

技術連携相談員及び担当職員による区外の大手企業等への発注開拓

訪 問 先	67 件
活動成果	成約案件：17 件 成約金額：4,445 千円

(ウ) 受・発注商談会

ものづくり受発注商談会

実施日		
令和6年12月3日 第63回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
167 社	54 社・113 社	501 件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

(エ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、一般公開を実施。さらにデータベースの拡充を行った。なお、平成31年度からスタートした本事業は、令和6年度をもって終了した。

② 海外取引相談事業

【当初予算額 21,510,000 円（うち区補助）21,391,000 円】

【決 算 額 17,415,084 円（うち区補助）17,326,934 円】

(ア) 窓口・訪問相談

(a) 相談件数（合計 479 件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中 国	21 件	欧 州	115 件
台 湾	85 件	北 米	27 件
ASEAN	48 件	その他	183 件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数（合計 292 件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中 国	28 件	欧 州	108 件
台 湾	61 件	北 米	19 件
ASEAN	37 件	その他	39 件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
57 件	14 件	18,408 千円

(イ) 国際連携の推進

(a) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和6年4月5日	「ASEANの経済状況と商機」 講師：M&P アジア株式会社 執行役員 金尾 成信氏	27人
令和6年6月20日	「国際物流と貿易保険の利用」 講師：NX クリーエサービス株式会社 営業部 営業第二課長 熊谷 真介氏 りそな決済サービス株式会社 ファクタリング営業部長 塚本 陽一氏	21人
令和6年9月5日	「台湾市場について」 講師：大田区産業振興協会 羽田 PiO 推進部 課長代理 堀田 祐一 オグラ宝石精機工業株式会社 営業部 営業四課係長 尹 明珊氏	22人
令和6年11月8日	「海外展開事例」 講師：大田精工株式会社 取締役 営業部 部長 青山 成昭氏	16人
令和6年12月13日	「欧州市場について」 講師：一般財団法人日欧産業協力センター チームリーダー ファブリツィオ・ムーラ氏	19人
令和7年2月21日	「国際人材の要件/国際ビジネスのポイント」 講師：林テレンプ株式会社 顧問 木戸 利行 氏	14人

(b) 海外取引セミナー

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和6年8月29日	「アイルランドの最新経済状況と取引の魅力について」 講師：アイルランド政府産業開発庁 (IDA Ireland) 日本副代表 ロバート=ネスター氏 在日アイルランド商工会議所 (IJCC) 会頭 土屋 善弘氏	30人
令和6年11月6日	「外国人材の採用を考える」 講師：榎本総合管理事務所 申請取次行政書士 榎本 行雄氏 株式会社精研 営業部係長 中田 智宏氏、フェルミン氏	55人
令和7年2月28日	「オーストリアとのビジネス連携」 講師：在日オーストリア大使館商務部 上席商務官 伊原 順子氏 Flughafen Wien AG 空港都市開発責任者 Peter de Leeuw 氏	26人
令和7年3月19日	「ASEAN 市場の動向と貿易のトレンド」 講師：国際機関日本アセアンセンター 事業統括長代理 石田 靖氏 NX クリーエ株式会社 営業部 営業第二課長 熊谷 真介氏 りそな決済サービス株式会社 ファクタリング営業部部長 春日 孝博氏	37人

(c) ビジネス英会話サロン

実施日	テーマ	参加人数
令和7年1月15日	「英語で自己紹介をする」	47人
令和7年1月22日	「英語で自己紹介に対して質問をする」	41人
令和7年1月29日	「英語で会社概要を説明する」	42人
令和7年2月5日	「英語で会社概要に対して質問をする」	36人
令和7年2月12日	「英語で自社の製品・サービスを紹介する」	30人
令和7年2月19日	「模擬海外展示会に出展／来場して英語で話す」	30人

※講師：Anthony Blick氏が全6回を担当

(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	14件
海外企業信用調査	20件

(エ) 英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、海外見本市への出展や、海外企業・機関との打ち合わせの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業57社を掲載中。

<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



(オ) 海外市場開拓（商談会）

日時、訪問国・地域	参加企業数	訪問機関・企業数	成果
日時：令和7年2月25日～28日 訪問先：タイ	協会単独で出展	タイの日系企業 など6か所	各所にて 区内産業をPR
日時：令和7年3月3日～6日 訪問先：台湾	区内中小企業 5社	台湾研究機関・ 企業など7か所	商談件数11件 継続案件7件

(カ) 海外機関、企業からの来訪

件数	人数	主な視察者
23件	384人	ドイツ・テューリンゲン州訪日ミッション団、韓国工業経済貿易局、米国フィラデルフィア国際空港グループ、台湾金属センター訪日団、フランスビジネススクール(EDHEC)、在日オーストリア大使館商務部など

(キ) 知的財産の保護・活用

大手企業の開放特許の区内中小企業活用を促進する目的で、東京都知的財産総合センターと連携し、知財マッチングイベントを開催。

開催日	テーマ及び講師	参加者数(区内中小企業)
令和6年 10月17日	知的財産マッチング会 in 大田区 ～「環境×特許」で事業拡大！中小企業の新たな挑戦～ 【シーズ発表】3社（パナソニックホールディングス株式会社、日本大学、富士通株式会社） 【主催】東京都知的財産総合センター 【後援】（公財）大田区産業振興協会	14人 (7人)

(ク) シンクタンク機能の整備

シンクタンク機能の整備のため、東京都および神奈川県でシンクタンク機能を有する自治体に視察・ヒアリングを実施。

視察数	視察自治体名
5自治体	新宿区、世田谷区、港区、 荒川区、横須賀市

③ 大田区加工技術展示商談会

【当初予算額 15,728,000円（うち区補助）13,528,000円】

【決 算 額 15,718,987円（うち区補助）13,496,987円】

開催日	参加企業・団体	来場者	商談件数
令和6年 9月12日	103社・団体	1,403人	1,355件
概要	昨年に引き続き「One for all, All for one」の副題のもと、メインビジュアルをはじめとしたデザインの踏襲から、令和6年度は「企画展」と称し「開発関係」の出展者に焦点を当てた会場レイアウトにて実施。当日は天候にも恵まれ、開場時には長蛇の列も見受けられた。結果、昨年度に比して来場者数は大幅に増加した。		
	各来場者は多くのブースを訪問され、活発に商談をされている場面も見受けられた。また出展者同士の交流も盛んに行われており、「また来年も参加したい」と現場で多数お声も頂き、受付では次年度の出展希望に関する問い合わせも多数寄せられた。 ・特別講演 ① 日産自動車におけるカーボンニュートラルに向けたイノベーション 講師：日産自動車株式会社 パワートレイン・EV コンポーネント生産技術開発本部		



【会場風景】



【商談の様子】

	技術企画部戦略企画・技術統括グループ エキスパートリーダー 西村 公男（にしむらきみお）氏 講演時間：11:00～12:00 【参加者数：176 名】 ・特別講演 ② 宇宙ロケットの構造と製造について、これまでとこれから 講師：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） 研究開発部門第四研究ユニット 齊藤 俊哉（さいとう としや）氏 講演時間：14:00～15:00 【参加者数：203 名】
--	---

④ 国内見本市への出展支援

【当初予算額 16,714,000 円（うち区補助）12,897,000 円】

【決 算 額 15,143,761 円（うち区補助）12,032,761 円】

（ア）ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成 果
テクノフロンティア 2024	令和6年7月24日～26日 東京ビッグサイト	商談件数 1,069 件
概要	会場では、大きく目立つ大田区パビリオンを設け、出展者プレゼンや自治体連携等を積極的に進めた。さらに、出展企業と協会職員が力を合わせ一体感を持って展示会を盛り上げ、大田区パビリオンに多くの来場者を誘致することに成功した。 【主催者】一般社団法人日本能率協会 【大田区パビリオン参加企業】15 社	



【大田区パビリオン】



【出展企業と協会職員】

（イ）新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 9 社

展示会名	会期及び会場	出展企業
Offshore & Port Tech2024	令和6年4月10日～12日 東京ビッグサイト	株式会社水龍堂
第72回電設工業展JECAFAIR 2024	令和6年5月29日～31日 東京ビッグサイト	永楽電気株式会社
第6回建設・測量生産性向上展 (CSPI EXP02024)	令和6年5月22日～24日 幕張メッセ	ジオ・サーチ株式会社

TECHNO×FRONTIER2024	令和6年7月24日～26日 東京ビッグサイト	株式会社フルハートジャパン
国際物流総合展2024	令和6年9月10日～13日 東京ビッグサイト	株式会社ネブロック
東京くらしのフェスティバル 2024	令和6年11月7日～8日 東京都産業貿易センター 台東館	株式会社ハッシュ
第70回日本不整脈心電学会 学術大会	令和6年7月18日～20日 ホテル日航金沢	株式会社 Xenoma
第39回インターネブコンジャ パン	令和7年1月22日～24日 東京ビッグサイト	株式会社マテリアル
Good家電Expo2025	令和7年3月4日～7日 東京ビッグサイト	トキ・コーポレーション株式会社

⑤ 海外見本市への出展支援

【当初予算額 13,820,000 円（うち区補助）12,805,000 円】

【決 算 額 11,269,496 円（うち区補助） 9,963,496 円】



【ドイツ COMPAMED 出展】

共同出展

展示会名、会期及び会場	成 果	参加企業
台湾 TAIROS 展 令和6年8月21日～24日	商談件数 52 件 継続案件 20 件	区内中小企業 6社との共同出展
ドイツ COMPAMED 2024 令和6年11月11日～14日	商談件数 121 件 継続案件 34 件	区内中小企業 4社との共同出展 (うち新規出展3社)

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【当初予算額 22,797,000 円（うち区補助）20,641,000 円】

【決 算 額 21,864,743 円（うち区補助）19,659,243 円】

（ア） おおたイチ推しマルシェ

会 期	会 場	参加事業者数	購買人数
(1) 令和6年6月15日～16日 (2) 令和6年8月3日～4日 (3) 令和6年11月2日～3日 (4) 令和7年2月7日	(1) アトレ大森1階催事場 (2) アトレ大森1階催事場 (3) 大岡山駅前広場 (4) 大田区産業プラザ1階 大 展 示 ホール (Meet New Solution in OTA 内)	(1) 9店舗 (2) 9店舗 (3) 17店舗 (4) 3店舗	(1) 1,057 人 (2) 877 人 (3) 1,948 人 (4) 85 人
概 要	大田区の人通りの多い場所で区内商店による販売・PR イベントを開催し、新規顧客獲得と販路拡大を目指すとともに、来場者には大田区の商店の魅力の再発見と区内回遊を促す。		

集客拡大を図る工夫	(1) アトレ大森 1 階催事場	《告知一覧》 ・大田区商店街連合会『おーたふる』に掲載 ・産業プラザ 1 階 Pi0 フロント装飾 ・協会公式 SNS、HP ・大田区勤労者共済会報誌『ふれあい』6 月号に掲載。コラボ割引券を発行 ・出店者様の公式 SNS での宣伝 《ポスター配布、提出先》 ・産業プラザ内の掲示版 ・東急ストア内でポスター掲示 《その他集客活動》 ・はねびょん健康ポイントアプリの限定スタンプ配布
	(2) アトレ大森 1 階催事場	《告知一覧》 ・大田区商店街連合会『おーたふる』に掲載 ・産業プラザ 1 階 Pi0 フロントでチラシ・ポスター等掲示 ・協会公式 SNS、HP ・大田区勤労者共済会報誌『ふれあい』9 月号に掲載。コラボ割引券を発行 ・出店者様の公式 SNS での宣伝 《ポスター配布、提出先》 ・産業プラザ内の掲示版 ・東急ストア内でポスター掲示 《その他集客活動》 ・はねびょん健康ポイントアプリの限定スタンプ配布
	(3) 大岡山駅前広場	《告知一覧》 ・大田区商店街連合会『おーたふる』に掲載 ・協会公式 SNS、HP ・大田区勤労者共済会報誌『ふれあい』11 月号に掲載。コラボ割引券を発行 ・出店者様の公式 SNS での宣伝 ・はねびょん健康ポイントアプリで告知 ・大田区報掲載 ・東京科学大学の学園祭「工大祭」のパンフレット、HP、アプリ掲載 《チラシ配布、提出先》 ・読売新聞 12,000 部チラシ折込 ・現地で 1,000 部チラシ配り 《その他集客活動》 ・はねびょん健康ポイントアプリの限定スタンプ配布 (3 日のみ) ・工大祭とのコラボスタンプラリー実施。スタンプを 4 つすべて集めた方に対しはねびょんぬいぐるみやポップコーン等の景品をプレゼント ・マルシェでの購入者に対し、入浴剤調合体験を実施

(4) 大田区産業プラザ 1 階 大 展 示 ホール (Meet New Solution in OTA 内)	《告知一覧》 ・ 大田区産業振興協会ホームページ ・ Meet New Solution in OTA ホームページ
--	--



【おおたイチ推しマルシェ案内チラシ】



【会場風景】

(イ) Meet New Solution in OTA

会 期	参加事業者数	来場者数
令和 7 年 2 月 7 日	100 社 (団体)	957 名
創出された出会いの件数	2,670 件 (うち新規取引など出展目的達成に繋がる可能性が高い案件 425 件)	
概 要	社会課題を解決する新しいソリューションを世の中に生み出す全国のスタートアップ企業などが東京大田区に集結することで、区内製造業を含めたさまざまな「出会い」が日本産業の発展へつながる場とすることを目的に開催。 【企画・イベント】 ・ 特別ディスカッション「町工場と新時代のものづくり」 ・ トークイベント「大田区と浜松市のスタートアップを支える者たちの熱い想い」 ・ 大田区町工場×東京理科大「Craftman Story プロジェクト」 ・ 大田区×浜松市ピッチイベント ・ 次世代技術 展示・体験コーナー ・ 出展者交流会  【会場風景】  【特別ディスカッション】  【次世代技術 展示・体験】	

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【当初予算額 7,159,000 円（うち区補助） 7,099,000 円】

【補正後予算 19,314,000 円（うち区補助） 19,254,000 円】

【決 算 額 15,902,759 円（うち区補助） 15,093,434 円】



（ア）相談業務（商業）

専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商
い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ 578 件
------	----------



【商い PiO ホームページ】

（イ）フード展示商談会

実施日・会場	内 容
実施日：令和 6 年 10 月 24 日 会 場：大田区産業プラザ 4 階「コンベンシ ョンホール」	「第 8 回フード展示商談会 in 大田」 ・出展者（売り手側）32 社（区内 29 社、区外 3 社） ・来場者（買い手側）67 人 ・商談件数：93 件

（ウ）商品磨き上げ事業（輝け！次世代商人～あきない成長促進プログラム～）

現役で活躍しているバイヤー・専門家等が講師となり、個別講義を中心としたプログラムを実施することで、区内商店の経営力・商品力をより一層向上させ、今後の販路拡大や経営者としての成長を目指した。

参加店舗数	個別講義回数
6 店舗	25 回

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【当初予算額 33,424,000 円（うち区補助） 24,124,000 円】

【決 算 額 30,738,848 円（うち区補助） 10,054,853 円】



PiO PARK のイベント開催、コワーキング及び、ショーケーシングの運営を適時かつ適切に行った。また、独自のイベント開催等を通じて利用者や区内中小企業への産業支援、連携促進にも取り組み、イベントやショーケーシングをきっかけとした連携や成約事例が生まれた。



【PiO PARK】

(ア) PiO PARK 利用促進

昨年度に引き続き SNS(X、TikTok 等)を活用して、PiO PARK で開催されるイベント情報等を発信するほか、ホームページを充実させ施設利用促進のためのプロモーションを行った。また、ショーケーシングエリアを大幅にレイアウト変更するとともに展示品にもバラエティを持たせ、より多くの方々が楽しめるスペースとした。

(イ) 協会や区が主催するイベントの運営・支援

協会主催のイベントでは、大阪の産業支援機関と連携して相互の拠点で展示会を開催した。また将来新たなビジネスを担う高校生向けに、起業についての勉強会を委託事業として行い、より幅広い層を対象としたイベントを実施した。

(ウ) 利用者に対する産業支援

羽田共創プラットフォームをはじめとする協会主催事業への参加促進、利用者からの個別相談対応、利用者と区内中小企業との連携促進を行った。また、PiO PARK を活用して羽田イノベーションシティ入居者全体向けの交流会を適時開催し、交流機会を創出した。

(エ) 区外企業・機関との連携促進

区外（海外含む）からの視察の受け入れやイベント連携を積極的行い、区内中小企業の技術力の PR、PiO PARK の紹介、連携機会の創出、産業の活性化を図った。

(オ) PiO PARK 利用実績

(a) PiO PARK 利用実績数字

延べ利用者数 合計	29,613 人			
イベント	開催件数	227 件	来場者 総数	延べ 14,909 人 (オンライン参加 655 人を含む)
コワーキング	内容			利用者数
	月額プラン契約件数（3 月末時点）			30 件
	月額プラン利用者数			延べ 2,931 人
	1 日フリープラン利用者数			延べ 22 人
	時間利用者数			延べ 104 人
	無料体験者数			231 人
	特別会議室利用			69 件/延べ 1,001 人
ゲスト来訪者	視察者数（海外関係機関視察者(23 件 384 人)を含む）			1,753 人
	ショーケーシング見学者数			延べ 7,584 人

	その他（テナント企業利用等）	延べ 1,078 人
マッチング	ショーケース等をきっかけとした成約数	3 件

(b) イベント【協会主催イベント（抜粋）】

超専門技術ミニ展示会（テーマを絞ったニッチ分野の小規模展示会）

イベント名	内容			
「代替合体展」	テーマ：環境負荷低減や機能性向上に向けた「代替」材料や、異種材料の併用・接合（「合体」）などに関する技術			
	令和 6 年 7 月 19 日	出展者 18 社	来場者 322 人	商談件数 445 件
「熱展」	テーマ：遮熱、断熱、耐熱、冷却、放熱など「熱」に関するニッチな材料・技術			
	令和 6 年 12 月 11 日	出展者 20 社	来場者 380 人	商談件数 562 件
「そし展」	テーマ：腐食、錆、摩耗、劣化の防止など、様々な「阻止・そし」材料や技術			
	令和 7 年 3 月 13 日	出展者 24 社	来場者 172 人	商談件数 255 件
※「熱展」「そし展」は、ものづくりビジネスセンター大阪との連携イベント 「熱展」は PiO PARK、「そし展」は大阪で開催				

HANEDA 共創プラットフォーム（会員制の勉強会）

内容	開催回数	参加者数
グローバルビジネス勉強会	6 回	延べ 119 人
ベンチャーフレンドリー塾	6 回	延べ 199 人
自社商品のつくりかた勉強会	5 回	延べ 131 人
ビジネス英会話サロン	6 回	延べ 226 人

産業分野型イベント

イベント名	大田区始発！ 鉄道技術交流会		
内容	鉄道の安全性や快適性の向上、鉄道運行の存続、駅員の業務効率化等において、区内中小企業の持つ高い技術力が貢献できると考え、鉄道関連企業に区内中小企業の技術を紹介し、相互の交流促進を図るイベントを開催した。		
第 1 回	令和 6 年 7 月 23 日（火）14：00～18：00		
	区内中小企業参加者数	12 社 23 名	鉄道側参加者数 10 社 34 名

第2回	令和7年2月13日（木）13：00～17：00	
	区内中小企業参加者数 12社 20名	鉄道側参加者数 13社 28名

羽田イノベーション入居企業との連携イベント

イベント名	株式会社デンソー主催・公益財団法人大田区産業振興協会共催 アイデアソン・ハッカソン 「未来の都市課題をモビリティで解決してみよう」
内容	自動運転が普及した未来社会を構想し、大田区の都市課題をモビリティで解決するアイデアを作成し発表する。 ※大田区の課題は、区発表の大田区データブックを参照した。
アイデアソン	【スケジュール】 令和6年12月6日（金）・・・説明会、チーム編成 令和6年12月7日～21日・・・フィールドワーク、各チームでの作業等 令和6年12月21日（土）・・・発表会・審査・表彰 【参加者】区内外企業、高専の教授、大学生、高校生等26名 （うち区内企業10名、PiO PARK月額利用者2名） 【内 容】5チームに分かれ、グループごとに課題を選び、そのソリューションとなるアイデアを構想し発表した。
ハッカソン	【スケジュール】 令和7年1月17日（金）・・・アイデアピッチ、チーム編成 令和7年1月18日～3月8日・・・各チームでの作業、成果物作成等 令和7年3月8日（土）・・・発表会・審査・表彰 【参加者】区内外企業・個人31名（うち区内企業11名、PiO PARK月額利用者3名、アイデアソンからの継続参加者は7名） 【内 容】5チームが形成され、うち4チームがアイデアを可視化した模型などを作成し、発表した。

その他の主なイベント

●主催・共催イベント

- ・海外取引セミナー（4回開催）
- ・ベンチャーピッチ in 羽田 2024

●他機関との連携/委託イベント

- ・ResorTech Expo in Okinawa サテライト会場
(一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センターとの連携イベント)
- ・高校生向け経営者育成事業「探究サロン」（12回開催）
(NPO OSEKKAI への委託事業)
- ・ハードウェア起業家歓迎！大田区 工場アパート 1 DAY ツアー
(Headline Asia/IVS 事務局との連携イベント)

(c) ショーケーシング

レイアウトを変更し、より見やすい魅力的なスペースとした。常設展示（約 30 社のサンプルを展示）を随時増やしているほか、テーマ別の企画展示を行い、区内中小企業の技術力や連携事例等を発信した。

期 間	企画展示内容
令和 6 年 5 月～ 7 月	大田区始発！鉄道関連技術交流会とのコラボ展示
令和 6 年 10 月 7 日～ 令和 6 年 12 月 19 日	令和 5 年度新製品・新技術コンクールの受賞製品・技術を展示



【超専門技術ミニ展示会】



【イベントスペース】



4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業【定款第4条（4）関係】

〔重点取組事項〕

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若者と中小企業とのマッチング事業では、自社の魅力発信の方法、社内環境・受入れ体制の整備等、採用力の向上を図ることを主眼とし、採用力向上セミナー、個別指導、合同企業説明会等のマッチングイベント、フィードバックセミナー等を組み合わせた総合的な採用支援を行った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業では、求職者データベースのデジタル化に加え、求人企業データベースのデジタル化も進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、求人開拓の範囲を広げた結果、新たな募集案件を獲得することにつながった。

① おしごとナビ大田区

【当初予算額 1,918,000 円（うち区補助）77,000 円】

【決 算 額 1,707,066 円（うち区補助）45,780 円】



（ア）求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	133 社
新規登録企業数	23 社



【おしごとナビホームページ】

（イ）民間広告媒体を活用したPRの実施

「おしごとナビ大田区」ページへの流入促進を図り、令和6年11月18日から令和7年1月17日までWEB広告（DSP広告）を実施。



【WEB広告バナー】

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【当初予算額 1,000,000 円（うち区補助）900,000 円】

【決 算 額 700,523 円（うち区補助）700,523 円】

（ア）都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校（高専）の教授陣と連携し、同校において中小企業の若手技術者育成を目的として講座を実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。

講座科目別実績

	科 目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)
基 礎 講 座 (大田区・品川区)	機械設計のための基礎	15 回	令和6年9月2日 ～ 10月18日	10(9) 人

	工業材料の基礎	6 回	令和6年10月22日 ～11月13日	4(1) 人
	加工と測定の基礎	6 回	令和6年11月18日 ～12月2日	4(4) 人
	ICT の基礎	6 回	令和6年11月8日 ～12月13日	6(5) 人
	シーケンス制御の基礎	10 回	令和6年10月22日 ～11月20日	10(5) 人

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ

(事務局：NP0 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和6年4月～令和7年3月（毎月1～2回） 会場：大田区池上会館（科学室） ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」（LEDの話、電気回路の実験） ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20 日	会員数 28 人 延べ参加者 (385 人)
臨時活動	令和6年8月8日 「工場見学」 令和6年8月20日、22日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」説明会・指導会 令和6年8月22日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」大田地区大会 令和6年11月24日、25日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」全国大会 令和6年10月18日 「さわやか信用金庫物産展 展示発表」 令和7年1月18日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加 令和7年2月20日～22日 「こらぼ de アート作品展示」	11 日	

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【当初予算額 1,719,000 円（うち区補助）1,599,000 円】

【決 算 額 809,478 円（うち区補助）749,478 円】

区内企業の採用力向上を図ることを主眼とした総合的な採用支援を行った。

参加企業数	6 社
採用力向上セミナー	令和6年12月13日
参加企業への個別指導	令和7年1月17日、1月27日、2月13日
区内専門学校の区大田区近隣 業界セミナーへの参加	令和7年2月12日（参加企業4社）
オンラインマッチング イベント	令和7年2月17日（参加企業3社 参加求職者14人） 令和7年2月18日（参加企業3社 参加求職者9人）
フィードバックセミナー	令和7年2月25日

④ +WORK（内職あっせん・相談）事業

【当初予算額 5,846,000 円（うち区補助）5,846,000 円】

【決 算 額 5,858,149 円（うち区補助）5,858,149 円】

（ア）あっせん相談

（a）あっせん・相談状況

求職	求人		あっせん		採用	問合件数
新規登録人数	企業数	人数	企業数	人数	人数	
353 人	108 件	170 人	229 件	244 人	143 人	2,293 件

（b）出張相談会

ハローワーク大森	6 回開催
----------	-------

（イ）求人開拓

求人企業への企業訪問	46 件
------------	------

（ウ）普及啓発用印刷物の作成

項 目	内 容	枚数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	渋谷区・港区企業 750 社投函	1 回
	東京都立城南職業能力開発センター 大田校、各工場パート等にポスター掲示	約 10 枚
内職求職者用 印刷物の作成・配布	大田区子育て支援課（区内児童館 55 か所を含む）、保育サービス課、子ども家庭支援センター（キッズな 4 か所）にチラシ設置	約 2,800 枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約 100 枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいきしごとステーション・大田区生活再建就労サポートセンター JOBOTA にチラシ設置	約 300 枚
	区内図書館（16 か所）、特別出張所（18 か所）、大田文化の森等にチラシ設置及びポスター掲示	約 2,200 枚

〔重点取組事項〕

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、高度先進的な製品・技術だけではなく、社会的課題解決や SDGs といった観点からも優れたものが多く採択された。採択企業は、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールにおいても、社会的課題解決や SDGs といった観点からも優れたものの応募が増えており、その中から有望な製品 9 件を選出した。最優秀賞は株式会社カットランドジャパンの溶接ビード自動研削装置「SE・サンダー」となり、溶接ビード研削の自動化を実現した。過酷な作業を省力化し、人手不足解消にも貢献する革新的な装置である。また、優秀賞として、株式会社グーテンベルクの産業用 FFF 式 3D プリンター「G-ZERO L1」（高精度・高速な産業用 FFF 式 3D プリンターで、最終製品の製造や複雑な部品の製造を低コストで実現）及びトキ・コーポレーション株式会社の超小型システム照明「ORBIT（オービット）」（自由度が極めて高い超小型システム照明で、展示物に最適な光を提供し、BtoB と BtoC 両方で活用可能）が受賞した。
- ・次世代産業創造・産業クラスター形成事業においては、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（自動車メーカー）とのオープンイノベーション（出張展示会）の実施に向けた調整、個別マッチングなど行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。また、おおた研究・開発フェアでは、引き続きコングレスクエア羽田で開催し、国内から多くの来場を集めた。

① 新製品・新技術開発支援事業

【当初予算額 76,610,000 円（うち区補助）76,610,000 円】

【決 算 額 68,373,827 円（うち区補助）68,373,827 円】

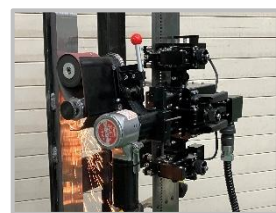
(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

トライアル助成	助成 10 社 （申込件数 10 社）
企業名	事業テーマ
新日本油脂工業株式会社	電力の消費量増加社会に備えた電気絶縁油の市場ニーズ調査
デザインアンドイノベーション株式会社	AI フィルム等の炭素繊維と合板等との複合材の新規用途展開に向けた市場調査
株式会社水龍堂	水中フォトグラメトリ市場調査
株式会社大橋製作所	板金加工技術を活かした新製品開発のための市場調査
株式会社ハッシュ	ムクロジを原料としたバイオエタノール洗剤の研究開発
株式会社テクノロジーリンク	標本デジタルアーカイブ用 支援システム 需要調査
株式会社イメージファースト	注射用樹脂シリンジ内面への高粘度オイル対応塗布装置の市場調査と重要機構の動作確認

ユー・エー株式会社	耳鼻咽喉科/頭頸部外科向け内視鏡トレーニングのための人体モデル開発
株式会社 initium	鳥獣被害対策市場に於けるオリジナル資材開発事業
株式会社トコシエ	国内初の多色同時吐出 3D プリンター開発
開発ステップアップ助成	助成 10 社 (申込件数 21 社)
企業名	事業テーマ
株式会社グーテンベルク	高機能化/品質安定化の基盤となる自社 3D プリンター用マザーボードの試作開発
アベテクノシステム株式会社	運動促進および歩容改善する小形軽量歩行補助装置の開発
株式会社ハッピーリス	皮膚力学特性に基づく異音検査センサー
有限会社エムティプレジジョン	トロリー線高さ変位&渡り線自動測定装置の開発
fabula 株式会社	100%食品廃棄物でつくる機能性サスティナブル建材
株式会社ウィズアクア	陸上養殖・畜養システムに組み込む水質浄化装置の開発
株式会社 ACTYPower	3D 積層技術を応用したギャッジアップ脊椎ケージの開発
株式会社ケミトックス	無機-有機複合型試作評価用全固体電池の開発
株式会社コムワース	10G ネットワーク監視トラブルシューティング装置(キャプチャ装置)
アットドウス株式会社	患者と医者に優しい穿刺吸引機器の開発
実用化製品化助成	助成 3 社 (申込件数 11 社)
企業名	事業テーマ
株式会社山小電機製作所	無線連動式「落下センサー」の実用化
株式会社ケツト科学研究所	世界のコメで利用できる外観検査装置の開発
株式会社水龍堂	赤外線カメラ搭載型水中ドローンの製品化

(イ) 新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 26 件)
賞 名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社カットランドジャパン 溶接ビード自動研削装置「SE・サンダー」	



優秀賞	株式会社グーテンベルク 産業用 FFF 式 3D プリンター 「G-ZERO L1」	
	トキ・コーポレーション株式会社 超小型システム照明 ORBIT（オービット）	
奨励賞	フィーサ株式会社 ホットランナー成形装置「SEPT」	
	株式会社三桂製作所 大電流コネクタ「RM コネクタ」	
OTA ライフサイエンス賞（奨励賞）	株式会社三和デンタル Conteeth（コンティース）	
OTA TECH 賞（奨励賞）	株式会社 OUTSENSE 立体形状の壁面製造技術「SORIORI TENJI」（ソリオリ テンジ）	
OTA スクラム賞（奨励賞）	株式会社塩原製作所 熱伝導ペースト改良版 SCP-3	
OTA アイデア賞（奨励賞）	ウイトコオブジュピター電通株式会社 ロールインコネクター	



【新製品・新技術コンクール
第 36 回パンフレット】

② 次世代産業創造・産業クラスター形成

【当初予算額 59,323,000 円（うち区補助）57,079,000 円】

【決 算 額 50,623,081 円（うち区補助）48,503,681 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・ 発行部数等
研究開発マッチングシステム 「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進 	149 社

大田区研究開発型企業ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企業ガイド】	2,500 部
大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	81 件
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	23 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	22 回

(イ) 産学交流相談

技術連携相談員による相談業務の実施

項目	相談件数
研究開発相談	196 件

(ウ) オープンイノベーションマッチング

大田区・川崎市・品川区企業との連携による大手自動車メーカーへのオープンイノベーション（出張展示会）実施に向けて、各種調整作業を実施した（令和7年7月に実施予定）。

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和6年 7月17日	『3D 金属積層造形活用法 ～実用化に取り組む群馬発、コンソーシアムの目指すモノづくり～』 講師：一般社団法人群馬積層造形プラットフォーム 事務局 小川 匡通 氏	18 人 (15 人)
令和6年 9月2日	『アルミニウムの世界～その種類と製品例～』 講師：株式会社 UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター 基盤研究部 部長 箕田 正 氏	101 人 (63 人)
令和6年 10月28日	『社会課題解決に資するナノテラスと東北大学サイエンスパーク構想』 講師：東北大学 共創戦略センター 企画調整役 特任教授 山田 健一 氏	22 人 (12 人)

令和7年 1月22日	医工連携セミナー 『～医療機器産業の動向について～』 講師：経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室長 渡辺 信彦 氏 東北大学ナレッジキャスト(株) 医療機器等開発支援グループ シニアコンサルタント 鈴木 友人 氏	16 人 (12 人)
---------------	--	----------------

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和7年 3月6日	デザインセミナー 『デザインで魅せる、会社の個性』 講師：UMENODESIGN 株式会社 梅野 聡 氏	33 人 (33 人)

(オ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA	令和6年5月22日～24日 パシフィコ横浜	相談件数 58 件

(カ) 知財マッチングの推進

大手企業・大学などの知的財産と区内中小企業のニーズを結び付け製品開発を支援するため、知財マッチングを推進。

知財マッチング 案件数	11 件
----------------	------

③ おおた研究・開発フェア

【当初予算額 19,499,000 円（うち区補助）16,199,000 円】

【決 算 額 19,175,634 円（うち区補助）15,941,634 円】

開催日	出展者数、商談件数等
第14回 おおた研究・開発フェア 令和6年 10月10日、11日	出展者数：92 社・機関 登録者数：1,475 人 商談件数：5,129 件 
特別講演① 令和6年10月10日	テーマ：『NTT グループにおける IOWN の取り組み』 講 師：東日本電信電話株式会社 経営企画部 IOWN 推進室 瀧野 祐太氏 会 場：PiO PARK 受講者数：103 人
特別講演② 令和6年10月11日	テーマ：『最新の金属積層造形法（AM 技術）と今後のモノづくり』 講 師：大阪大学 教授 中野 貴由氏 会 場：PiO PARK 受講者数：97 人

〔重点取組事項〕

- ・ 会員の一層の利便性の向上を図るため、令和6年6月から窓口を産業プラザ1階 PiO フロントに移設した。
- ・ 相次ぐ物価高騰により、チケット等の仕入価格が上昇している中、入浴券、映画券のバリュープライス企画や、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せ等を実施し、会員の余暇活動の充実を図った。
- ・ 区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知っていただくため、「おおたイチ押しマルシェ」とのコラボ企画としてマルシェ店舗で利用できるクーポン券の発行をはじめ、独自企画として「骨盤力向上ウォーキング講座」、貸し切り屋形船からの花火鑑賞等を実施した。

① 加入促進事業

【当初予算額 14,881,000 円（うち区補助）5,643,000 円】

【決 算 額 10,971,962 円（うち区補助）5,084,371 円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年 10 回	各号 4,200 部



【会報誌「ふれあい」】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用し、加入促進員による個別訪問を継続実施

共済会員入会推移	令和4年3月末 (令和3年度)	令和5年3月末 (令和4年度)	令和6年3月末 (令和5年度)	令和7年3月末 (令和6年度)
事業所(社) (前年度比)	1,379 (-72)	1,336 (-43)	1,290 (-46)	1,252 (-38)
会 員 (人) (前年度比)	4,054 (-201)	3,966 (-88)	3,847 (-119)	3,837 (-10)

※令和7年3月31日時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合がある。

② 福利厚生事業

【当初予算額（自主）43,668,000 円】

【決 算 額（自主）43,663,611 円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

（ア）健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	31 件
インフルエンザ予防接種	〃	183 件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,437 セット
区営プール利用券	〃	1,142 枚
区営スポーツセンター	〃	16 セット

（イ）レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	28 件
---------	------

（ウ）宿泊補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し 2,000 円×6 泊の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	280 件
----------------	-------

（エ）契約施設等の利用

大田区以外の 6 つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「おおたイチ推しマルシェ」で利用できる割引券やゴルフ、大田区文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。

レジャー施設等	1,163 枚	潮干狩り	18 枚
東京ディズニーリゾート	941 枚	大田区文化振興協会公演	44 枚
おおたイチ推しマルシェ コラボ企画	1,445 枚	銭湯補助企画	1,508 枚
釣り船	18 枚	ゴルフ場	37 枚
その他施設等	19 枚		

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット (デジタルチケット含む)	4,494 枚	大相撲観戦チケット	37 枚
スパ等チケット	479 枚	スポーツ観戦チケット	61 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	117 枚	美術展チケット	705 枚
プリペイドカード	1,944 枚	食事券 (施設利用購入分)	910 枚
おふろの王様チケット	457 枚	鑑賞券 (演劇・音楽等)	471 枚
恋活パーティー参加	15 人	物販 (次郎柿・おせち)	87 件
Giftee 補助券 (e ギフト)	197 枚	エアキャビン乗車券	306 枚
独自企画イベント	92 枚	その他テーマパーク等	589 枚

③ 給付事業

【当初予算額 (自主) 7,540,000 円】

【決 算 額 (自主) 4,909,700 円】

(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	107 件	計 244 件
見 舞 金	48 件	
弔 慰 金	89 件	

(イ) 入学祝・継続会員記念品の贈呈

入学祝	127 件	計 340 件
5 年継続	113 件	
10 年継続	57 件	
20 年継続	27 件	
30 年継続	16 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業
【定款第4条（7）関係】

【重点取組事項】

- ・令和7年度から実施される大規模改修工事を念頭に、産業プラザ利用者に対して丁寧な説明を行うと同時に、制限のある中で施設を最大限に活用してもらえよう需要の掘り起こしを行った。
- ・「Pi0 周辺マップ」は羽田まで掲載エリアを広げた他、「町中華マップ」を新たに作成し、施設利用後に区内の回遊性向上に繋げることで区内経済の活性化を図った。
- ・大規模改修工事が円滑に進むよう、大田区をはじめとする関係者との連絡調整・準備業務を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【当初予算額（利用料金） 219,699,000 円】

【決 算 額（利用料金） 201,850,431 円】

大田区産業プラザの指定管理者として、大手企業や、学会を中心に産業プラザの紹介及び利用を促進する営業活動を行うことで、区内産業振興につながる MICE 誘致を行った。また、近隣の貸館や全国展示場連絡協議会に属する貸館との情報交換に努め、貸館運営における様々な業務改善策を講じた。その他、施設の災害対策として、蒲田消防署と連携して大田区産業プラザ館内勤務者を対象とした消防訓練を行ったほか、さすまたを用いて不審者を制圧する防犯訓練を繰り返し実施し、防災センターをはじめとする館内勤務者の危機管理意識の向上を図った。



【イベントの様子
於：コンベンションホール】

令和6年度 産業プラザ施設利用状況 <別表A>

（ア）展示ホール

施 設 名	前 半 9:00～14:00		後 半 14:00～19:00		年間 利用率	年間 利用者数
	貸出可能数	利 用 数	貸出可能数	利 用 数		
	利 用 率		利 用 率			
大展示ホール	347	239	347	254	71.0%	264, 239 人
	68.9%		73.2%			
小展示ホール	347	238	347	250	70.3%	125, 512 人
	68.6%		72.0%			
			合 計 (1)			389, 751 人

(イ) コンベンションホール・会議室他

施 設 名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利 用 率		利 用 率		利 用 率			
コンベンションホール	347	255	347	294	347	252	76.9%	154,601 人
	73.5%		84.7%		72.6%			
A 会議室	347	297	347	320	347	226	81.0%	25,111 人
	85.6%		92.2%		65.1%			
B 会議室	347	285	347	310	347	210	77.3%	26,515 人
	82.1%		89.3%		60.5%			
C 会議室	347	267	347	288	347	164	69.1%	22,693 人
	76.9%		83.0%		47.3%			
D 会議室	347	264	347	292	347	191	71.8%	30,291 人
	76.1%		84.1%		55.0%			
E 会議室	347	268	347	299	347	177	71.5%	12,175 人
	77.2%		86.2%		51.0%			
F 会議室	347	267	347	287	347	235	75.8%	9,612 人
	76.9%		82.7%		67.7%			
G 会議室	347	258	347	292	347	176	69.7%	10,675 人
	74.4%		84.1%		50.7%			
特別会議室	347	209	347	244	347	166	59.5%	33,047 人
	60.2%		70.3%		47.8%			
和 室	347	249	347	254	347	171	64.7%	11,754 人
	71.8%		73.2%		49.3%			
					合 計 (2)			336,474 人
					総合計 (1) + (2)			726,225 人

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	248,197,733 円
内 訳	・施設利用料：165,994,059 円 ・前年度収納分：73,836,474 円 ・駐車場利用料：8,367,200 円

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【当初予算額（自主）4,817,000 円】

【補正後予算（自主）5,334,000 円】

【決 算 額（自主）5,295,845 円】

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」及び「PiO 周辺マップ」をそれぞれ刷新した。

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」の掲載企業を中心に協力関係を築き、MICE 誘致及び施設利用者の催事成功に向けてきめ細かなサポートを行った。

「PiO 周辺マップ」については、蒲田だけでなく、PiO PARK 等の HiCity 訪問者をターゲットに羽田周辺まで掲載エリアを広げた。さらに、製造業をはじめとする産業者とともに発展し地域で愛され続ける「町中華」に焦点を絞った「町中華マップ」を、区内全域を網羅して新たに作成し、区内産業の魅力発信に努めた。



【大田区産業プラザ
Web サイトなど広報媒体】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【当初予算額（受託）54,035,000 円】

【決 算 額（受託）48,791,709 円】

産業プラザは建築後 29 年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での小破修繕工事を適切に実施した。また、令和 7 年度からの大規模改修工事が円滑に進むよう、関係者との連絡調整・準備業務を行った。さらに、災害時に帰宅困難者一時滞在施設に指定されていることを踏まえ、地下の汚水槽に直結するマンホール型トイレを整備し、災害への備えを強化した。

実施した維持補修等の工事

工事名	
・大展示ホール漏水補修 ・小展示ホール前男子便所改修 ・旧レストラン厨房スプリンクラーヘッド交換 ・5 階アトリウム熱排気ファン更新	・汚水槽内水中ばっ気ブロアーポンプ取替 ・地下 1 階災害トイレ用マンホール設置 ・フラッグポール部品交換工事等 58 件

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
令和 7 年度から開始予定の大規模改修前年度のため、大きな工事なし	

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第1回	令和6年5月10日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 1人	- 令和5年度事業報告について - 令和5年度決算について - 令和6年度補正予算について - 定時評議員会の開催について - 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第2回 ※	決議のあった日 令和6年7月2日 同意した理事 6人 同意した監事 1人	臨時評議員会の開催について
第3回	令和6年7月23日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 1人	基本財産の運用について
第4回	令和6年11月12日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	- 令和6年度第2次補正予算について - 規程の改正について - 育児・介護に伴う休業等に関する規程 - 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第5回 ※	決議のあった日 令和6年12月9日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	- 公益財団法人大田区産業振興協会職員の給与等に関する規程の改正について - 臨時評議員会の開催について
第6回 ※	決議のあった日 令和7年3月21日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	臨時評議員会の開催について
第7回	令和7年3月27日 出席理事 7人 欠席理事 0人 同席監事 2人	- 令和6年度補正予算について - 令和7年度事業計画及び収支予算について - 規程の改正について - 事務局の組織及び処務に関する規程 - 職員の育児・介護に伴う休業等に関する規程 - 職員の給与等に関する規程 - 就業規則第19条第2項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程 - 評議員選定委員の選任について - 業務執行理事である専務理事の選定について - 事務局長の承認について - 役員賠償責任保険の契約更新について - 臨時評議員会の開催について - 羽田イノベーションシティにおける医工連携に関する連携協定について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 18 条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 6 年 4 月 22 日 同意した評議員 7 人	・役員（理事、監事）の選任について
定時 評議員会	令和 6 年 5 月 29 日 出席評議員 7 人 欠席評議員 0 人 同席監事 2 人	・役員の選任について ・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度決算の承認について
臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 6 年 7 月 10 日 同意した評議員 7 人	・役員（監事）の選任について
臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 6 年 12 月 19 日 同意した評議員 7 人	・定款の変更について
臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 7 年 3 月 25 日 同意した評議員 7 人	・理事の選任について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第 21 条に基づき、決議を行った評議員会である。

●評議員選定委員会

第 1 回	令和 6 年 4 月 23 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・評議員の選任について
第 2 回	令和 6 年 5 月 29 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について

◆協会組織強化

●協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
情報セキュリティ研修	4月2日 10月1日 (同内容開催)	新任職員等	協会のセキュリティについて学ぶ。	延べ17人
総務・ワークフロー研修	4月8日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程等について学ぶ。	延べ31人
産業プラザ施設勉強会	4月16日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	産業プラザや施設の整備について学ぶ。	延べ21人
官学連携人材育成講座（東邦大学）	9月24日 10月25日	協会職員 (産業振興課職員)	職場での熱中症対策や区のデータから熱中症の現状と課題について学ぶ。	延べ33人
HANEDA×PiO 研修	10月3日	新任職員等	HANEDA×PiO 施設を見学し、今後の事業展開について学ぶ。	9人
協会内実務研修	10月4日～ 11月28日	新任職員等	各係から協会事業の今後の展開について学ぶ。	延べ87人
経済安全保障セミナー	11月1日	協会職員 (産業振興課職員ほか)	技術搾取の手口やリスク管理を把握し、経済安全保障の重要性を学ぶ。	79人
受・発注相談事業報告会	11月5日	協会職員 (産業振興課職員)	協会の受・発注相談事業の年間実績と最新の動向について学ぶ。	72人
英会話研修	1月15日 2月25日 3月18日	協会職員	海外出張での挨拶や窓口対応で使える日常会話表現を学ぶ。	延べ37人
海外人材育成研修	1月15日 1月29日 3月7日 3月14日	協会職員	海外取引支援を強化するため、海外の経済動向やビジネススキルを学ぶ。	延べ59人
PiO 職員合同研修	2月5日	協会職員 (産業振興課職員ほか)	中小企業経営者の経営判断等を学ぶ。	13人

その他、職層研修等は大田区及び民間の開催する研修へ参加。

令和 6 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

決 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

目 次

1 財 務 諸 表

(1) 貸 借 対 照 表	1
(2) 正味財産増減計算書	2
(3) 正味財産増減計算書内訳書	7
(4) 財務諸表に対する注記	13
(5) 付 属 明 細 書	15
(6) 財 産 目 録	16
(7) 監 査 報 告 書	20

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・預金	266,732,352	365,856,862	△ 99,124,510
未収金	1,246,045	2,039,586	△ 793,541
前払金	1,732,542	2,072,509	△ 339,967
流動資産合計	269,710,939	369,968,957	△ 100,258,018
2 固 定 資 産			
① 基本財産			
投資有価証券	500,000,000	500,000,000	0
基本財産合計	500,000,000	500,000,000	0
② 特定資産			
退職給付引当資産	4,125,036	10,089,374	△ 5,964,338
運営資金等積立資産	92,541,555	97,313,545	△ 4,771,990
給付金等準備積立資産	46,416,990	57,681,872	△ 11,264,882
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	44,160,157	0
特定資産合計	187,243,738	209,244,948	△ 22,001,210
③ その他固定資産			
車輛運搬具	396,917	0	396,917
什器備品	3,300,008	3,300,010	△ 2
電話加入権	74,984	74,984	0
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	3,781,909	3,384,994	396,915
固定資産合計	691,025,647	712,629,942	△ 21,604,295
資 産 合 計	960,736,586	1,082,598,899	△ 121,862,313
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	170,841,974	238,261,447	△ 67,419,473
未払消費税	2,375,200	1,598,500	776,700
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	1,697,773	7,349,321	△ 5,651,548
前受金	36,888,601	74,027,914	△ 37,139,313
賞与引当金	19,324,000	13,898,000	5,426,000
流動負債合計	231,197,548	335,205,182	△ 104,007,634
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	4,125,036	10,089,374	△ 5,964,338
固定負債合計	4,125,036	10,089,374	△ 5,964,338
負 債 合 計	235,322,584	345,294,556	△ 109,971,972
III 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	225,414,002	237,304,343	△ 11,890,341
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(183,118,702)	(199,155,574)	(△ 16,036,872)
正 味 財 産 合 計	725,414,002	737,304,343	△ 11,890,341
負債及び正味財産合計	960,736,586	1,082,598,899	△ 121,862,313

正味財産増減計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
① 基本財産運用益	4,214,616	2,550,233	1,664,383
1 基本財産受取利息	4,214,616	2,550,233	1,664,383
② 特定資産運用益	365,007	344,377	20,630
1 特定資産受取利息	365,007	344,377	20,630
③ 事業収益	347,074,836	336,267,839	10,806,997
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業収益	535,000	640,000	△ 105,000
(1) 産業情報受発信事業に関する事業収益	535,000	640,000	△ 105,000
2 区内中小企業の経営支援に関する事業収益	1,909,600	2,407,400	△ 497,800
(1) 中小企業情報化支援事業に関する収益	1,909,600	2,325,400	△ 415,800
(2) 創業者支援事業に関する収益	0	82,000	△ 82,000
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業収益	30,917,970	26,099,257	4,818,713
(1) 受・発注相談に関する収益	492,000	490,000	2,000
(2) 海外取引相談事業に関する収益	88,150	0	88,150
(3) 大田区加工技術展示商談会に関する収益	2,222,000	2,002,000	220,000
(4) 国内見本市への出展支援に関する収益	3,111,000	3,151,556	△ 40,556
(5) 海外見本市への支店支援に関する収益	1,306,000	1,074,500	231,500
(6) 自主企画展示会に関する収益	2,205,500	2,211,000	△ 5,500
(7) 商い・サービス産業取引相談に関する収益	809,325	63,000	746,325
(8) 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業に関する収益	20,683,995	17,107,201	3,576,794
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業収益	1,721,286	1,860,356	△ 139,070
(1) おしごとナビ大田区に関する収益	1,661,286	1,830,356	△ 169,070
(2) 中小企業次世代ものづくり人材育成事業に関する収益	0	30,000	△ 30,000
(3) 若者と中小企業とのマッチング事業に関する収益	60,000	0	60,000
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業収益	5,223,900	5,326,200	△ 102,300
(1) 次世代産業創造事業に関する収益	1,989,900	5,326,200	△ 3,336,300
(2) おおた研究・開発フェアに関する収益	3,234,000	0	3,234,000
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業に関する収益	53,126,744	54,409,024	△ 1,282,280
(1) 共済掛金等の収益	23,841,200	24,201,300	△ 360,100
(2) 余暇活動等の収益	29,285,544	30,207,724	△ 922,180
7 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益	253,640,336	245,525,602	8,114,734
(1) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (利用料金制度対象)	248,197,733	240,488,137	7,709,596
(2) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (施設貸与に伴う付加サービス対象)	5,442,603	5,037,465	405,138

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
④ 補助金等収益	752,072,000	709,569,000	42,503,000
1 区補助金収益	698,037,000	656,302,000	41,735,000
(1) 事業費補助分	381,439,000	353,951,000	27,488,000
(2) 運営費補助分	316,598,000	302,351,000	14,247,000
2 区受託事業収益	54,035,000	53,267,000	768,000
(1) 産業プラザ施設維持の管理運営業務受託料収益	54,035,000	53,267,000	768,000
⑤ 受取寄附金収益	1,350,000	4,370,307	△ 3,020,307
1 受取寄附金収益	1,350,000	4,370,307	△ 3,020,307
⑥ 雑収益	457,714	157,393	300,321
1 受取利息	195,760	3,410	192,350
2 受取配当金	4,217	4,406	△ 189
3 雑収益	257,737	149,577	108,160
経常収益計	1,105,534,173	1,053,259,149	52,275,024

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	977,134,122	938,060,334	39,073,788
報酬	82,114,562	80,793,191	1,321,371
委員報酬	200,000	210,000	△ 10,000
給料手当	264,706,564	229,223,423	35,483,141
福利厚生費	60,427,098	54,941,748	5,485,350
会議費	223,111	120,340	102,771
旅費交通費	8,168,287	6,691,968	1,476,319
通信運搬費	3,993,490	3,435,140	558,350
消耗什器備品費	3,864,383	3,026,224	838,159
消耗品費	11,951,381	11,253,208	698,173
修繕費	22,240,147	29,686,992	△ 7,446,845
印刷製本費	10,440,776	7,023,610	3,417,166
燃料費	109,333	109,436	△ 103
賃借料	26,880,705	23,520,022	3,360,683
情報使用料	13,132,010	12,400,506	731,504
保険料	1,225,686	1,072,845	152,841
諸謝金	14,305,803	18,166,302	△ 3,860,499
租税公課	4,400,950	3,807,689	593,261
負担金	110,300,555	104,731,571	5,568,984
助成金	78,356,177	71,141,050	7,215,127
委託費	201,212,740	221,571,546	△ 20,358,806
宣伝広告費	9,054,965	2,774,900	6,280,065
利用補助費	5,121,190	5,465,170	△ 343,980
施設利用券購入費	36,920,611	38,256,909	△ 1,336,298
給付金	4,909,700	5,953,450	△ 1,043,750
渉外費	218,433	185,987	32,446
雑費	2,502,382	2,497,107	5,275
減価償却費	153,083	0	153,083
② 管理費	5,560,938	9,760,619	△ 4,199,681
委員報酬	20,000	60,000	△ 40,000
役員報酬	560,000	560,000	0
給料手当	3,371,337	6,321,719	△ 2,950,382
福利厚生費	786,899	1,544,451	△ 757,552
会議費	4,224	9,096	△ 4,872
旅費交通費	960	2,652	△ 1,692
通信運搬費	6,347	12,887	△ 6,540
費用弁償	75,000	81,000	△ 6,000

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	36,484	23,446	13,038
消耗品費	33,629	53,250	△ 19,621
修繕費	88,446	3,818	84,628
印刷製本費	1,023	3,465	△ 2,442
燃料費	862	1,441	△ 579
賃借料	72,416	146,387	△ 73,971
情報使用料	116,191	233,509	△ 117,318
保険料	9,664	24,350	△ 14,686
諸謝金	26,469	59,400	△ 32,931
租税公課	3,050	7,761	△ 4,711
負担金	196,498	366,644	△ 170,146
委託費	132,885	206,923	△ 74,038
宣伝広告費	3,094	6,600	△ 3,506
渉外費	3,467	6,413	△ 2,946
雑費	11,991	25,407	△ 13,416
減価償却費	2	0	2
③ 大田区返納金	127,549,137	106,410,061	21,139,076
1 区補助金分	75,958,544	86,558,277	△ 10,599,733
(1) 事業費補助分	65,125,030	55,448,646	9,676,384
(2) 運営費補助分	10,833,514	31,109,631	△ 20,276,117
2 区からの受託事業費	5,243,291	1,510,634	3,732,657
(1) 産業プラザ施設維持の管理運営費	5,243,291	1,510,634	3,732,657
3 産業プラザ利用料金分	46,347,302	18,341,150	28,006,152
(1) 産業プラザ利用料金分	46,347,302	18,341,150	28,006,152
経常費用計	1,110,244,197	1,054,231,014	56,013,183
特定資産評価損益等	△ 7,859,040	△ 3,455,640	△ 4,403,400
当期経常増減額	△ 12,569,064	△ 4,427,505	△ 8,141,559

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	678,723	0	678,723
(2)経常外費用	0	0	0
過年度損益修正額	0	0	0
当期経常外増減額	678,723	0	678,723
当期一般正味財産増減額	△ 11,890,341	△ 4,427,505	△ 7,462,836
一般正味財産期首残高	237,304,343	241,731,848	△ 4,427,505
一般正味財産期末残高	225,414,002	237,304,343	△ 11,890,341
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	725,414,002	737,304,343	△ 11,890,341

正味財産増減計算書内訳書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計			
	公 1 区内中小企業の振興 を図る事業	小 計	収 1 産業プラザの指定管 理に伴う付加サービ ス事業	他 1 区内中小企業勤労 者の福祉向上を図 る事業
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	2,811,149	2,811,149	0	0
基本財産運用収入	2,811,149	2,811,149	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	107,556
特定資産運用収入	0	0	0	107,556
③ 事業収益	275,351,009	275,351,009	5,442,603	53,126,744
支援事業収入等	275,351,009	275,351,009	5,442,603	53,126,744
④ 受取補助金等収益	656,689,000	656,689,000	0	36,523,000
受取大田区補助金	656,689,000	656,689,000	0	36,523,000
受取大田区受託料	0	0	0	0
⑤ 受取寄附金	1,350,000	1,350,000	0	0
寄附金収入	1,350,000	1,350,000	0	0
⑥ 雑収益	457,714	457,714	0	0
雑収入	257,737	257,737	0	0
受取利息収入	195,760	195,760	0	0
受取配当金収入	4,217	4,217	0	0
経常収益計	936,658,872	936,658,872	5,442,603	89,757,300
(2) 経常費用				
事業費	821,210,999	821,210,999	5,311,474	90,659,743
報酬	82,114,562	82,114,562	0	0
委員報酬	0	0	0	200,000
給料手当	221,216,310	221,216,310	674,268	21,576,560
福利厚生費	50,276,100	50,276,100	157,380	5,036,154
会議費	221,225	221,225	0	1,886
旅費交通費	8,054,630	8,054,630	21,855	73,385
通信運搬費	3,115,699	3,115,699	52,653	808,815
消耗什器備品費	3,233,405	3,233,405	336,600	233,497
消耗品費	8,023,613	8,023,613	226,410	424,677
修繕費	4,089,880	4,089,880	0	309,563

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他 2	他 3	小計			
産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	1,403,467		4,214,616
0	0	0	1,403,467		4,214,616
0	0	107,556	257,451		365,007
0	0	107,556	257,451		365,007
13,154,480	0	71,723,827	0		347,074,836
13,154,480	0	71,723,827	0		347,074,836
0	54,035,000	90,558,000	4,825,000		752,072,000
0	0	36,523,000	4,825,000		698,037,000
0	54,035,000	54,035,000	0		54,035,000
0	0	0	0		1,350,000
0	0	0	0		1,350,000
0	0	0	0		457,714
0	0	0	0		257,737
0	0	0	0		195,760
0	0	0	0		4,217
13,154,480	54,035,000	162,389,383	6,485,918		1,105,534,173
10,691,325	49,260,581	155,923,123			977,134,122
0	0	0			82,114,562
0	0	200,000			200,000
1,011,401	20,228,025	43,490,254			264,706,564
236,070	4,721,394	10,150,998			60,427,098
0	0	1,886			223,111
16,850	1,567	113,657			8,168,287
16,323	0	877,791			3,993,490
60,881	0	630,978			3,864,383
190,840	3,085,841	3,927,768			11,951,381
86,325	17,754,379	18,150,267			22,240,147

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
印刷製本費	7,423,014	7,423,014	1,723,700	1,294,062
燃料費	48,813	48,813	0	5,520
賃借料	23,670,336	23,670,336	81,660	2,398,587
情報使用料	12,007,951	12,007,951	0	1,007,621
保険料	1,146,656	1,146,656	311	61,851
諸謝金	14,074,513	14,074,513	61,890	169,400
租税公課	2,162,437	2,162,437	0	19,520
負担金	103,604,998	103,604,998	0	1,790,405
助成金	78,356,177	78,356,177	0	0
委託費	187,674,197	187,674,197	1,662,387	7,392,700
宣伝広告費	8,721,192	8,721,192	307,560	19,800
利用補助費	0	0	0	5,121,190
施設利用券購入費	0	0	0	36,920,611
給付金	0	0	0	4,909,700
渉外費	196,243	196,243	0	22,190
雑費	1,625,965	1,625,965	4,800	862,049
減価償却費	153,083	153,083		
管理費				
委員報酬				
役員報酬				
給料手当				
会議費				
福利厚生費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
0	0	3,017,762			10,440,776
0	55,000	60,520			109,333
59,012	671,110	3,210,369			26,880,705
116,438	0	1,124,059			13,132,010
7,526	9,342	79,030			1,225,686
0	0	231,290			14,305,803
111,362	2,107,631	2,238,513			4,400,950
4,905,152	0	6,695,557			110,300,555
0	0	0			78,356,177
3,857,164	626,292	13,538,543			201,212,740
6,413	0	333,773			9,054,965
0	0	5,121,190			5,121,190
0	0	36,920,611			36,920,611
0	0	4,909,700			4,909,700
0	0	22,190			218,433
9,568	0	876,417			2,502,382
					153,083
			5,560,938		5,560,938
			20,000		20,000
			560,000		560,000
			3,371,337		3,371,337
			4,224		4,224
			786,899		786,899
			960		960
			6,347		6,347
			75,000		75,000
			36,484		36,484
			33,629		33,629
			88,446		88,446
			1,023		1,023
			862		862
			72,416		72,416
			116,191		116,191
			9,664		9,664
			26,469		26,469

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
減価償却費				
大田区返納金	118,691,778	118,691,778	0	1,476,278
経常費用計	939,902,777	939,902,777	5,311,474	92,136,021
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,243,905	△ 3,243,905	131,129	△ 2,378,721
特定資産評価損益等	0	0	0	△ 3,087,050
当期経常増減額	△ 3,243,905	△ 3,243,905	131,129	△ 5,465,771
2. 経常外増減の部				
経常外収益				
退職給付引当金取崩額				
経常外費用				
過年度損益修正額				
法人税、住民税及び事業税				
当期経常外増減額				
他会計振替額	51,849	51,849		
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
			3,050		3,050
			196,498		196,498
			132,885		132,885
			3,094		3,094
			3,467		3,467
			11,991		11,991
			2		2
2,463,155	4,774,419	8,713,852	143,507		127,549,137
13,154,480	54,035,000	164,636,975	5,704,445		1,110,244,197
0	0	△ 2,247,592	781,473		△ 4,710,024
0	0	△ 3,087,050	△ 4,771,990		△ 7,859,040
0	0	△ 5,334,642	△ 3,990,517		△ 12,569,064
					678,723
					678,723
					0
					0
					0
					678,723
		△ 51,849			0
					△ 11,890,341
					237,304,343
					225,414,002
0	0	0	0		0
					0
					500,000,000
					500,000,000
					725,414,002

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

・時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・ 職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・ 職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	0	0	500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,089,374	0	5,964,338	4,125,036
運営資金等積立資産	97,313,545	0	4,771,990	92,541,555
給付金等準備積立資産	57,681,872	404,168	11,669,050	46,416,990
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	0	44,160,157
小 計	209,244,948	404,168	22,405,378	187,243,738
合 計	709,244,948	404,168	22,405,378	687,243,738

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	500,000,000	0	0
小 計	500,000,000	500,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	4,125,036	0	0	4,125,036
運営資金等積立資産	92,541,555	0	92,541,555	0
給付金等準備積立資産	46,416,990	0	46,416,990	0
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	44,160,157	0
小 計	187,243,738	0	183,118,702	4,125,036
合 計	687,243,738	500,000,000	183,118,702	4,125,036

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車 輛 運 搬 具	550,000	153,083	396,917
什 器 備 品	4,909,480	1,609,472	3,300,008
合 計	5,459,480	1,762,555	3,696,925

6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
基本財産			
東海東京証券 第5回群馬県公募公債(20年)	100,000,000	99,780,000	△ 220,000
野村証券 第185回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	94,832,900	△ 5,167,100
SMBC日興証券 大阪府公募公債 第430回	100,000,000	97,580,000	△ 2,420,000
SMBC日興証券 第69回東京電力パワーグリッド	100,000,000	97,000,000	△ 3,000,000
SMBC日興証券 第165回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券	100,000,000	99,760,000	△ 240,000
合 計	500,000,000	488,952,900	△ 11,047,100

※すべて満期時における元本が保証されている円建ての債券である。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金(事業費, 運営費)	東京都大田区	0	698,037,000	698,037,000	0	-
合 計		0	698,037,000	698,037,000	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	該当なし

付 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載

- 2 引当金の明細 (単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	13,898,000	19,324,000	13,898,000	0	19,324,000
退職給付引当金	10,089,374		5,964,338	0	4,125,036

財 産 目 録
(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動資産】			
現 金	手許保管	運転資金として	606,179
〃 (共済口)	勤労共済手許保管		135,100
〃 (施設口)	予約センター手許保管		1,133,265
普通預金	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金として	46,998,801
	〃 共済		23,921,693
	〃 施設使用料		172,983,684
	〃 給料		846,033
	〃 給油・ETC		110,398
	〃 産業施設		0
	〃 国補助		0
	〃 退職金口		5,964,338
	三菱UFJ銀行 蒲田支店		760,077
	さわやか信用金庫 東糀谷支店		3,068,820
	中央労金 蒲田支店		3,542,291
	共立信用組合 蒲田支店		5,662,224
	城南信用金庫 蒲田支店		999,449
未収金	勤労者共済事業	収納代行料	472,400
	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業収入	PiO PARK利用料	595,100
	中小企業情報化支援事業	ホームページ作成支援	46,200
	産業プラザ管理運営経費	施設利用料	106,700
	その他		25,645
前払金	年会費(スーパーマーケット協会)	令和7年度分	180,000
	郵券等購入費	〃	701,818
	勤労者共済事業施設利用券購入等	〃	678,284
	その他		172,440
流動資産合計			269,710,939

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【固定資産】			
(基本財産)	第5回群馬県公募公債(20年)		100,000,000
	第185回地方公共団体金融機構債券	公益目的保有財産であり、運用益を各中小企業支援に係る事業等の財源として使用	100,000,000
	大阪府公募公債 第430回		100,000,000
	第69回東京電力パワーグリッド		100,000,000
	第165回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券		100,000,000
(特定資産)			
退職給付引当資産	みずほ銀行 蒲田支店 普通預金	退職金の支払に備えた引当資産	4,125,036
	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	退職金の支払に備えた引当資産	0
運営資金等積立資産	共立信用組合 蒲田支店 定期預金	運営資金として保有し運用益を各中小企業支援に係る事業等の財源として使用	24,185,285
	第157回利付国債20年		42,732,050
	第179回利付国債20年		15,624,220
	大和ネクスト銀行 定期預金		10,000,000
給付金等準備積立資産	第157回利付国債20年	勤労者共済事業の給付金等の支出に備え保有し運用益を勤労共済事業の財源として使用	42,732,050
	さわやか信金 東糀谷支店 普通預金		3,684,940
産業プラザ修繕等準備積立資産	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	大田区産業プラザの修繕等に備え保有し、運用益を各中小企業支援に係る事業の財源として使用	14,160,157
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		30,000,000
車輛運搬具	たためる電動バイク		396,917
什 器 備 品	美術品・書「山の湖」	寄付により受け入れた大田区産業プラザ利用者サービスに供する書	2,500,000
	美術品・書「養浩」		800,000
	その他備品		8
電話加入権	1回線分		74,984
出資金	中央労働金庫		10,000
固定資産合計			691,025,647
資産合計			960,736,586

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動負債】			
未払金	明細は別紙「未払金内訳書」による		170,841,974
未払消費税			2,375,200
未払法人税等			70,000
預り金	源泉徴収所得税	令和7年3月分	780,373
	特別徴収住民税	〃	817,100
	その他		100,300
前受金	大田区産業プラザ施設等利用料金等	令和7年度分	36,323,101
	勤労者共済事業収入	〃	445,500
	その他	〃	120,000
賞与引当金		賞与の支払いに備えた引当金	19,324,000
流動負債合計			231,197,548
【固定負債】			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	4,125,036
固定負債合計			4,125,036
負債合計			235,322,584
正味財産			725,414,002

令和6年度未払金内訳書

内 容		金 額
1	大田区返納金	127,549,137
2	大田区産業プラザ 建物管理経費3月分	8,211,858
3	職員退職金(2名分)	5,285,615
4	大田区産業プラザ 運営補助委託3月分	3,701,070
5	次世代産業創造事業 相談員報酬3月分	2,772,909
6	勤労者共済事業施設利用券購入費等	2,721,110
7	職員社会保険料	2,427,458
8	ものづくり取引促進事業 相談員報酬3月分	1,984,720
9	PiO PARK サポート業務委託料3月分	1,616,780
10	大田区産業プラザ 会場設営委託料3月分	1,595,000
11	大田区産業プラザ 地下駐車場ごみ置場門扉設置工事	1,240,800
12	海外取引相談事業 海外ビジネス相談員報酬3月分	883,213
13	職員人件費等3月分	866,989
14	創業者支援事業 創業相談員報酬3月分	827,065
15	「大田区産業振興協会ガイドブック」作成	529,101
16	大田区産業プラザ サポート事業者ガイド「PiO倶楽部」作成	471,900
17	大田区産業プラザ 予約システム保守料3月分	463,100
18	「町中華マップ」作成	429,000
19	勤労者福祉事業 給付金3月分	400,000
20	「探究サロンプログジェクト」実施業務委託	363,000
21	「PiO周辺マップ」の作成	327,800
22	「PiOフロアガイド」の作成	306,900
23	大田区産業振興協会事務所内電話配線工事	284,350
24	共済会会報「ふれあい」発送業務委託	264,096
25	PiO PARK電気料金負担額3月分	253,189
26	商い活性化コーディネータ報酬3月分	241,050
27	ビジネスサポート支援協力者支援謝礼3月分	225,361
28	タイにおける大田区産業の紹介等に関する業務委託	209,000
29	大田区産業プラザ 地下駐車場ごみ置場ネット取り付け工事	198,000
30	その他116件	4,192,403
合 計		170,841,974

監 査 報 告 書

令和7年5月8日

公益財団法人大田区産業振興協会

理事長 川 野 正 博 様

監事

安岡 大作

監事

小泉 貴一

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告書について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 組織の運営及び事業は、経営理念に則り、各種規程を遵守し適切に執行されているものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) その他

大田区の所管部局とより十分な連携を図り、さらに事業の効率化に努めてください。

以上

令和 7 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業計画書 及び 収支予算書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日



公益財団法人大田区産業振興協会

目 次

- 1 基本方針 P. 1
- 2 事業計画 P. 2～17
- 3 収支予算書 P. 18
- 4 資金調達及び設備投資の見込みについて・・ P. 25

----- 記載上の注意事項 -----

●公益認定事業区分

(1) 公益目的事業

区内中小企業の振興を図る事業

(2) 収益事業等

〔1〕収益事業

施設貸与に伴う付加サービス事業

〔2〕その他の事業（相互扶助等事業）

区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業

大田区産業プラザの公益目的外貸与事業

大田区産業プラザ施設の維持・管理

●予算額の記入例

無印 … 事業予算額

(補) … 事業予算額のうち区補助金充当額

(利) … 利用料金収入で対応する事業の予算額

(委) … 区等からの委託料で対応する事業の予算額

※予算額は、人件費及び事業管理費を除いた事業費分のみを記載。

基本方針

令和 7 年度に設立 30 年を迎える(公財)大田区産業振興協会は、これまで築いた産業者との絆、豊富な経験、確かな実績に基づき、「将来を担う世代の創業促進」と「チャレンジする産業者の応援」に引き続き注力します。

総務部は、知的財産・経済安全保障担当を設け、区内産業の財産を守る取組を進めるとともに、ブランド価値の創造や技術力の向上を目指し、スタートアップ企業との連携を模索します。

産業者支援部は、産業者自身が採用力を高める「人財への道」事業を積極展開します。また製造現場への訪問回数を大幅に増加することにより、各種助成金・展示会などの協会の支援メニューを遍くご利用いただくとともに、産業者の生の声を今後の事業構築に反映させてまいります。

商いサービス部は、店主の経営力を高める取組や区外販路の開拓と合わせ、商店データベース登録目標店舗数を 5,000 へと上積みするとともに、このデータを分析することで大田区オリジナルの商業施策展開に繋げてまいります。また、大田区産業プラザ 1 階のPiOフロントは、デジタル化元年の掛け声の下、自宅や会社にながらサービスが受けられる取組を進めてまいります。

MICE・施設部は、施設・観光係を設置。大田区産業に観光振興の要素を加えることで、国内旅行者及びインバウンドへの訴求を図ります。また、令和 7 年度から 9 年度に至る大田区産業プラザの大規模改修を円滑に実施し、産業者と利用者のご期待に応える施設提供を進めてまいります。

そして、羽田PiO推進部は、PiO PARKにおける企業活動促進を図るため、国内外の企業・団体との交流や海外取引の支援をはじめ、オリジナル展示会である「超専門技術ミニ展示会」の全国展開も視野に入れ、より多くのものづくり企業者との連携を力強く進めてまいります。

私たち大田区産業振興協会は、今後も「現場」から「世界一」の産業都市を目指し、地域経済の発展と産業界の成長に向けて果敢に挑戦を続け、人類社会の進歩に貢献してまいります。

事業計画

(令和7年4月1日～令和8年3月 31 日)

第1号事業 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業

区内産業者の高度な技術力や特徴等をPRし、大田区産業の持つ魅力を幅広く情報収集・発信するほか、協会が実施する各種事業やサービスの紹介、産業プラザをはじめ産業振興の拠点となる産業支援施設について、協会 Web サイトや公式 LINE「デジタル×PiO」など、様々な情報手段を用いて区内外へ PR する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 大田区産業振興普及事業 (ア) 事業案内・支援メニューブックの作成・配布 協会事業・取組を紹介する案内を作成し、大田区産業のPR、協会事業の周知を図る。 また、視察対応を通じて区内産業者の技術力・商品力や、区内産業の特徴を広く発信する。 (イ) 産業情報の発信 大田区工業ガイド(日本語版・英語版)を協会HPに掲載し、区内産業への理解を促進する。 (ウ) 30 周年記念事業 大田区産業振興協会創立 30 周年を記念した記念式典を開催する。	事業案内の作成及び大田区工業ガイドを刷新。 (ア) 事業案内の刷新 (イ) 大田区工業ガイドの刷新 (ウ) 産業者や関係機関に感謝の意を伝える記念式典を開催し、関係を深める交流会を実施する。	7, 167 (補) 538
2 産業情報コンテンツの発信(テクノプラザ) 製造業を中心とした取組事例等を協会Webサイト上で公開し、幅広い層に速報性の高い情報提供を図り、アクセス数を増加させる。	取引拡大、人材確保等における先進的な取組事例等を紹介する他、有益な情報をタイムリーに発信する。	70 (補) 70 区内産業者
3 産業情報受発信事業 区内外の産業情報を収集するとともに、より分かりやすくかつ適切な媒体を用いて広く発信する。 リニューアルした協会Webサイトや公式X、公式LINE「デジピオ×PiO」等を活用し、産業施策、協会、区等の施策の案内だけでなく企業成長やシティプロモーションにつながる最新の情報をタイムリーに発信する。	Webサイト・SNS やプレスリリース配信サービスを活用し、区内産業者向けだけでなく全国の企業や一般消費者にも区内外の有益な産業情報を発信する。	4, 822 (補) 4, 522 区内産業者及び勤労者、一般消費者等
計		12, 059 (補) 5, 130

第2号事業 区内中小企業の経営支援に関する事業

区内産業者の経営基盤の強化や創業促進等に向けて、経営状況の段階に応じて情報提供や相談、助成を行い、幅広くサポートする。また、優れた工場に対する表彰を行うことによって、経営革新の促進やチャレンジ精神の醸成を図り、区内産業の維持発展を図る。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 中小企業情報化支援 区内産業者のWebサイトをはじめとした各種PRツールの作成を支援する「PiOデザイン工房」により、自社製品やサービスのPRを促進する。	創業者支援事業の利用者にデザイン工房の利用を促すなど、特に小規模事業者が情報発信力を高められるサービス案内を積極的に行う。	5,631 (補) 3,090 区内産業者
2 ビジネスサポートサービス (ア) ビジネスサポート相談 経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知的財産の活用、事業承継などに取組む区内産業者に対し、各分野の専門家を派遣する。 (イ) PiOフロント 大田区産業プラザの総合相談窓口として、区内産業者に有益な情報を提供するほか、産業プラザに所在する各支援機関の専門的な相談窓口への橋渡しなど、必要な支援を受けるためのコーディネートを行う。	(ア) 幅広い区内産業者の利用促進を目指し、関係支援機関等へ広報周知を行う。 (イ) 産業プラザの各団体をはじめとした支援メニューの把握により、利用者や相談者へ適切な案内を行う。	8,127 (補) 8,127 区内産業者
3 銘店への道事業 (ア) 銘店への道事業 新たな挑戦や価値の創出に取り組む店舗への支援を行い、経営が安定し長く愛される店づくりを推進する。 (イ) デジタルを活用した情報発信 LINE 公式アカウント「商いPiO」を活用、協会からの情報提供・案内を行い、事業メニューの利用を促す。	(ア) 資材、物価高騰を考慮し、助成金の上限金額を50万円から55万円に増額する。 (イ) 区内事業者にタイムリーな情報を発信するとともに、利用者登録数を増加させる。	10,547 (補) 10,547 (ア) 区内商店(個店) (イ) 区内商業・サービス業事業者及び区内で創業しようとする者
4 創業者支援事業 区内で創業を希望する方や創業後間もない方に対して、専門相談員がさまざまな課題の解決に向けた助言等を行うことで、創業期の負担軽減を図る。また、地域産業の活性化に資する創業者の発掘や誘致を行い、区内での活動を支援する。 (ア) 創業相談窓口の設置 区内で創業を考えている方及び創業間もない方へ専門相談員による相談対応を行い、創業時のさまざまな課題解決に対応する。	(ア) 初回相談後、従来の対面型の相談方法に加え、動画講座(ウェブ配信)を開設し、PiOに来館せずに好きな時間に支援が受けられるコースを用意する。	22,651 (補) 22,651 区内で創業しようとする者

(イ) ユナイット助成 区内へのスタートアップ企業の立地促進を行うとともに、スタートアップ企業が大田区内の企業に対し試作等を依頼・発注する際に係る経費の3分の1もしくは2分の1(上限 100 万円)を助成する。 (ウ) ベンチャーピッチ 創業者や新規事業部門の方などに対し、ピッチイベントの場を提供し、VC・CVCなどとのマッチングを促進する。 (エ) スタートアップ誘致 東京に拠点づくりを目指すスタートアップ企業に、大田区の利便性や支援制度の充実、さらにはものづくりフレンドリーといった強みをアピールすることで、区内への誘致を図り、区内産業のイノベーションを促す。	(イ) HANEDA×PiOを利用するスタートアップ企業や大学発ベンチャーの窓口等に加えて、ベンチャーフレンドリーな区内企業や六郷BASE入居企業に対して、積極的に周知することで申請者数の増加を図る。 (ウ) アイデアを形にしていだけでなく経営者に求められるスキル向上への支援を行う。また、ピッチ参加者から選抜で「Meet New Solution in OTA」への出展などの機会を設ける。 (エ) 沖縄県や台湾などの関係機関との連携を通じて、東京進出を目指す有望なスタートアップ企業の誘致活動を行う。	(イ)スタートアップ企業または創業予定者で、大田区内の企業に試作を依頼・発注する者。
5 工場表彰制度 人に優しい、まちに優しい、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰する。この認定・表彰を通じて、区内ものづくり産業に従事する人のやりがい、ものづくりの喜びの一助とするとともに、区内町工場の優秀性を内外にPRし、大田区工業の振興に寄与する。	優工場の新規申請を掘り起こすため、既存認定者の要望・課題を踏まえて効果的かつ新たな取組や周知方法について検討し、認定企業数の増加促進を図る。	4, 586 (補) 4, 486 区内の工場
計		51, 542 (補) 48, 901

第3号事業 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

大田区産業の柱である「ものづくり」をはじめ、商い・サービス業に対して、専門相談員等による支援を行う。また、おおたイチ推しマルシェや Meet New Solution in OTA 等の自主企画展示会、各種商談会を実施するほか、国内外の見本市への出展等を支援することで、ビジネスチャンス拡大へのサポートを行い、地域産業の活性化を図る。

[事業区分: 全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 受・発注相談 区内中小企業の取引を促進するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応可能な専門の相談員を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供する。 (ア) 相談業務 技術連携相談員による受・発注のあっせん相談、区内中小企業への巡回訪問を行う。 (イ) 発注開拓 職員、技術連携相談員が大手・中堅企業の企画・開発部門等へ積極的にアプローチし、発注案件の開拓を行う。 (ウ) 受・発注商談会 新規顧客開拓・情報交換の場として、大田区の製造業者を中心に全国の発注企業と受注企業が一堂に会する商談会を開催する。(年1回)	(ア) 高付加価値案件に対応可能な区内企業の発掘など区内中小企業への巡回訪問に注力し、ニーズの聞き取りを行うとともに最新の状況を把握する。令和7年度は、データベースをより充実させるために区内中小企業が区外に有する工場のデータを収集することで受発注あっせんの精度を高める。 (イ) 企業訪問・出張相談会に加え、テクノフロンティア共同出展の来場者リストを最大限に有効活用しながら発注開拓を進め、区内中小企業の取引機会を創出する。 (ウ) 協会に蓄積した企業データベースの活用や、金融機関との連携により、発注企業の参加を増やす。また、東京商工会議所主催の受・発注商談会において受注相談も行い、相乗効果を狙う。	29,577 (補) 29,049 区内外の中小企業
2 海外取引相談事業 区内中小企業の海外取引拡大のワンストップ窓口として個別課題に対応する。 (ア) 窓口・訪問相談 貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行う。職員及び専門相談員が助言するほか、国内外の公的機関とのネットワークを駆使して区内中小企業の課題やニーズに対応する。 (イ) 国際連携の推進 海外市場の開拓を行うとともに、国内においても各国の出先機関との連携強化を図る。 また、グローバルビジネス勉強会及び海外セミナーを通じて各国の市場性、投資環境などの情報や発注案件を区内中小企業に提供する。同時に国際化に向けた区内中小企業間の連携関係を構築する。 (ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査 区内中小企業の企業カタログ、マニュアル、契約書	(ア) 区内中小企業の国際化推進に向けた窓口・訪問相談や、勉強会などを通じた海外取引に必要な情報提供等を強化する。 (イ) 各国関係機関等との連携を通じ、特に欧米台湾及びASEAN、南アジアとの取引拡大に注力する。 (ウ) 新規利用企業増加に向けて、各種サービスのPRを強化する。	23,526 (補) 23,407 区内中小企業

等の翻訳サービスを行う。また、取引開始時に貴重な判断材料となる外国企業の信用調査をサポートする。 (エ) 英文企業ガイドの活用 区内中小企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを作成し、Web上で展開してプロモーションを行う。 (オ) 国際ビジネス商談会の実施 海外ビジネスパーソンの来日時にタイムリーに開催する。 (カ) 海外企業・機関誘致 東京に拠点づくりを目指す海外企業・機関に、大田区の利便性や支援制度の充実、製造業の集積などの強みをアピールすることで、区内への立地を促す。 (キ) 海外向けPR強化支援 区内中小企業の海外向けPR支援を行い、区内中小企業の海外取引拡大を加速させる。	(エ) 新規掲載企業の募集を強化する。 (オ) 主に欧米台湾及びASEAN、南アジアの企業・機関の来訪時に区内中小企業との商談機会を創出する。 (カ) ハードウェア系の海外企業の立地による区内中小企業との成約を目指す。 (キ) 海外市場へのPRを目的とした動画制作を支援する。	
3 大田区加工技術展示商談会 区内中小製造業の約8割を占める10人以下の企業のうち、加工を専門とする企業の技術力を全国の手・中堅企業にPRし、具体的な取引成立を目指す展示商談会を開催する。(年1回)	設計・開発の相談件数が増えている傾向をとらえ、設計・開発などの特設ブースを新たに設け、受注機会を増やし、仲間回しの拡大を図る。また、工場のSDGsや付加価値を高め、設備投資を進めるための特別展示「小さな機械展」を実施する。	19,360 (補) 16,610 区内中小企業
4 国内見本市への出展支援 区内中小企業が開発・製造した優秀な製品や優れた技術力のPR及び取引促進機会の拡大を目的に、全国規模の展示会に共同出展するための支援を行う。 (ア) ものづくり産業PR展示会 全国各地で開催される展示会で、大田区のものをPRするとともに、区内中小企業への発注案件・開発案件の獲得等、取引促進機会の拡大につなげる。 (イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 新製品・新技術コンクールに受賞した企業に向け、各種展示会への出展支援を行うことにより受賞企業の販路拡大や取引促進機会の拡大につなげる。	(ア) 令和7年度は大田区パビリオン内において大規模展示会に出展した経験がない企業を対象に「チャレンジ枠」を設け、様々な展示会への出展を支援する。 (イ) 受賞企業(9社)が希望する展示会への出展サポートなどの後方支援とともに、各種相談等の伴走支援も行い企業の取引拡大を目指す。	17,405 (補) 13,521 区内中小企業
5 海外見本市への出展支援 区内中小企業が有する技術・製品のニーズが見込まれる海外見本市に区内中小企業と共同で出展する。海外からの取引機会を促進するほか、見本市会場にて区内産業全体をPRする。	欧州地域の見本市に出展する。海外市場開拓を目指す企業を増やすため、海外見本市に新規出展する企業を積極的に支援する。	12,009 (補) 10,951 区内中小企業

6 自主企画展示会(産業フェア) (ア) おおたイチ推しマルシェ 大田区内の商店を集め、多くの人が集まる場所でマルシェを開催し、各商店の販路拡大とともに、区内回遊を促す。 (イ) Meet New Solution in OTA 区内外のスタートアップ・ベンチャー企業等による、社会的課題解決に資する新製品・新サービス等を展示する。展示をきっかけに、製造業をはじめ VC・金融機関など幅広い分野から人が集まり、様々な「出会い」が生まれることで、さらなるイノベーションの創出を目指す。	(ア) 地域の商店街やイベントとのコラボによる集客の強化や、ワークショップを取り入れたマルシェ企画などマルシェごとの魅力を高めていく。 (イ) 来場者として、VC・金融機関をはじめ、商社・流通・建設など、様々な分野に PR を行うとともに、出展者プレゼンや協会職員による事前マッチングなど「出会い」を増やす取組みを進める。令和7年度は東京イノベーションベース(有楽町)に会場を変更し、より多くの来場者を見込む。	19, 450 (補) 16, 689 区内外の企業及び一般区民
7 商い・サービス産業取引相談 区内商業・サービス事業者の取引促進のため、事業者の訪問調査・相談を行うための専門相談員を配置して、各種サポートや商談機会を提供する。 (ア) 相談業務 商業事業者の経営課題、経営環境の改善等に対して専門相談員による相談や情報提供を行い、商業活動の活性化を図る。 (イ) フード展示商談会 主に区内食品事業者に対し、百貨店・バイヤーへ自社商品を売り込む商談会を開催する。 (ウ) 輝け！次世代商人～あきない成長促進プログラム～ 現役の経営者等を講師に迎え、受講者である区内商業者に対して全体講義・個別講義を実施し、経営者としての成長を促す。加えて、展示会などのイベントへの参加を支援することで実践的な知見・経験の獲得も後押しする。 (エ) 商業の魅力発信 大田区の商業・商店の魅力をより広く伝え、大田区のイメージ向上、店舗への集客向上を図る。 (オ) 商いデータベースの構築とその活用 区内の商店・飲食店等を個別に訪問し得られた情報をデータベース化する。あわせて切れ目ないフォローを実施することで各店舗との関係を強化するとともに、協会の各種支援メニューを案内し事業の利用促進を図る。	(ア) 取引促進等のための相談のほか、協会事業と親和性のある商店に対しては事業への参加を積極的に促し、新たな販路開拓等に取り組む事業者の増加を図る。 (イ) 一般的なバイヤーに加え新たに取引可能性のある区内飲食店や小売店にも参加を呼びかける。また、一般客にも開放することで出展者の売上向上、テストマーケティングの場としても機能させる。 (ウ) 若手の後継ぎや次世代の経営者候補を中心に受講者の増加を図る。 (エ) 大田区出身の著名人によるコラムのウェブ上での展開や、個性的な店舗を集めたマップを作成し、広い層に対して大田区商業をアピールする。 (オ) データベースの店舗数5,000軒を目指して蓄積し、登録店舗等に対して令和7年度支援メニューの案内を行い、上記(ア)から(ウ)事業の利用を促す。また、既訪問店舗へのフォローアップを実施	23, 972 (補) 23, 172 (ア)、(ウ)、(エ)、(オ)区内の商業・サービス事業者 (イ)区内の食品事業者

	することで情報の鮮度と密度を高め、今後の商業振興施策へ最大限活用する。	
8 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業 PiO PARK (ピオパーク) のPR活動や管理・運営を通じて、区内外の企業・機関の利用促進や連携強化等を行い、イノベーションを推進する。 (ア) PiO PARK の利用促進 コワーキング、イベント及びショーケーシングの管理・運営、HP等、様々な広報手段を活用し、施設利用を促進するためのプロモーションを行う。 (イ) 協会や区が主催するイベントの運営・支援 HANEDA共創プラットフォームや各種セミナーPiO PARK でイベントを積極的に開催し、利用者やテナント企業との連携を促進する。 (ウ) 利用者に対する支援 羽田の立地および大田区の産業特性を活かした日本全体のものづくりニーズへ対応する場所の提供、職員や専門相談員による助言や関係先の紹介及びビジネスマッチングを通じ、利用者の経営的成長と満足度向上につなげる。 (エ) 区外企業・機関との連携促進 PiO PARK を接点に、区内企業(当施設利用者含む)と区外企業、イベント開催によって培った大学や各種機関等との連携を活性化させ、大田区の産業集積との相乗効果を生むため、産業の高度化につなげる。	(ア) 従前の取組に加えて利用者同士が交流できる機会を設けるなど利用促進を強化する。 また、イベント利用の予約管理や顧客管理を一元化するため PiO PARK 専用の管理システムを構築し、顧客満足度を向上させ、利用者の定着及び新規利用者の増加を促進していく。 (イ) 好評を博している超専門技術ミニ展示会など協会や区が主催するイベントに加えて、連携先や、委託事業者によるイベントなどを行うことで、将来新たなビジネスを担う若手人材等、幅広い利用者層にアプローチしていく。 (ウ) 協会が常駐しているメリットを活かし、協会のネットワーク(区内企業や区外支援機関、大学、海外機関等)の紹介や区、都、国レベルのサービスを紹介するなど、利用者への支援を行い、PiO PARK から新ビジネスが創出されることを目指す。また、月額利用者の事業進捗等を定期的にヒアリングし、支援を行う。 (エ) PiO PARK のショーケーシングエリアの活用拡大を進める。協会各部署によるマッチング成果の発表の場として活用するほか、区内企業の新事業創生に向けて大学との連携及びコラボ展示を進めていく。	37, 814 (補) 23, 930 区内外の企業及び一般区民

9 知的財産・シンクタンク事業 グローバル競争激化やイノベーションの重要性が高まる中、知的財産の戦略的活用による区内中小企業活性化、国際競争力強化、リスク低減や新事業創生などを目指す。 (ア) 知的財産の戦略的活用・保護 区内中小企業の競争力強化やリスク低減、自社技術・ノウハウ保護などの目的で知財関連団体との各種連携や知財 AI システムの活用を推進する。 (イ) 客員社会連携 CD 制度による新事業創出 区内中小企業の新事業創出と大学の研究活性化目的とした客員社会連携コーディネーター認定事業を運営する。 (ウ) 各種イベントによる区内企業の知財活用促進 区内中小企業と大手企業・大学及び知財関連機関が連携するイベントを開催することで、地域社会への知財活用を支援する。	(ア) 知財関連団体(例: 日本特許情報機構、独立行政法人工業所有権情報・研修館、東京都知的財産総合センターなど)との連携や、知財 AI システム活用、大手企業の開放特許活用などにより、区内中小企業の新事業創出・収益機会拡大を支援する。 (イ) 産業振興や知財に造詣の深い大学と連携し地域密着型の金融機関の職員をコーディネーターとして養成する講義等を実施する。認定後は、協会事業への参画を見据える。 (ウ) 大手企業等の開放特許を活用した学生・中小企業連携ワークショップや知財関連セミナーを実施する。	980 (補) 830
計		184, 093 (補) 158, 159

第4号事業 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業

区内中小企業の持続・発展の鍵となる後継者や若手人材の育成・確保を行う。若手人材育成では、高専と連携した教育を展開し、技術の底上げを目指す。人材確保では Web サイトやイベントを通じて採用への支援を行うほか、多様な働き方の広がりや踏まえ、内職希望者のあつせんにも注力する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 おしごとナビ大田区 インターネット上に、区内中小企業の求人情報と企業PRを発信する場を提供し、登録掲載企業の求人活動を支援する。 (ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営 (イ) web 広告を活用した PR の実施	(ア) インスタグラム等のコンテンツを活用し、多様な検索機会を設けるなど、機能の充実を図る。 (イ) DSP広告等を活用し、「おしごとナビ大田区」の閲覧率や検索分析も行う。求職者ニーズに合致する情報発信を進め、アクセス数増加を図るとともに、利用率ならびに採用率の向上を目指す。	2, 406 (補) 482 区内の企業及び一般の求職者
2 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業 区内中小企業の中核となるものづくり人材の育成と、小学生のものづくりへの関心を高める取組を行っている団体への支援を行う。 (ア) 都立産業技術高等専門学校との連携 都立産業技術高等専門学校の教授陣による講座の開催により、区内中小企業の人材育成を行う。学校施設を使った講座の他に、講師を企業に派遣する出張型の出前講座を実施する。 (イ) おおた少年少女発明クラブの支援 小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を支援する。 (ウ) 産業人材育成事業 区内にある高等学校の生徒に職業観の醸成を促し、併せて区内への就職につながるような取組を行う。	(ア) メルマガや工業団体などへのチラシの配布等により、区内中小製造業に広く事業を周知し、研修制度等未整備の企業の参加を促すことにより、区内中小製造業の人材育成体制強化を推進する。 (イ) 活動費の支援とともに、事務をサポートすることで、クラブの活動充実を促進する。 (ウ) 各産業界の経営者の講話や見学・体験によって、産業課題について考察することにより、高等学校生徒の区内企業や産業への理解を深める。	6, 614 (補) 6, 514 (ア) 区内中小企業の従業員 (イ) 小学4～6年生 (ウ) 区内高等学校生徒
3 若者と中小企業とのマッチング事業 企業の後継者・若手人材の確保に向け、若手人材の動向把握、人材受け入れ環境の整備、自社の強み・弱み分析、自社の魅力発信等による区内企業の採用ビジョンの明確化を推進する。	ワークショップ、合同企業説明会等のマッチングイベント、振り返りセミナー等を組み合わせ合わせた総合的な採用支援(人財への道)を行う。	1, 757 (補) 1, 657 区内中小企業及び一般求職者・職業訓練校生を中心とした若者

4 +WORK(旧内職あっせん・相談)事業 区内の求職者及び求人企業を対象として、内職の相談・あっせんを行う。 (ア) あっせん相談 協会事務所での常設窓口の設置の他、ハローワーク大森での出張相談(偶数月に1回)を実施 (イ) 求人開拓 内職作業を発注する求人企業の新規開拓を行うとともに既存発注企業に対し、さらなる発注を促し、案件の増を図る。 (ウ) 普及啓発用印刷物の作成 求職者に向けた募集パンフレットを作成し、求職者の登録を促す。	(ア) 求人企業及び求職者のオンライン化、データベース化を進め、マッチング率を高める。 (イ) 付加価値があり、単価の高い内職作業を発注する企業の開拓に重点を置いて訪問等を行う。 (ウ) 子育て世代の求職者に事業の認知と具体的な活用につなげるため、区立の児童館を中心に配布する。	407 (補) 407 区内中小企業及び区民一般
計		11, 184 (補) 9, 060

第5号事業 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

区内中小企業が時代に即した技術開発を行えるように、産学、医工及び企業間連携などを推進する。

区内産業の競争力が向上するよう、情報提供、助成、セミナーや展示会の開催など相互交流による支援を行う。各種事業を通じて、産業クラスター（新事業・新産業が創出される状態）の形成や、技術の高度化、開発力の向上に資する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 新製品・新技術開発支援事業 (ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成 区内中小企業が新たな付加価値を産み出す取組を後押しするため、市場調査及び試作開発費用の一部を助成する。 (イ) 新製品・新技術コンクール 区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰するとともに、受賞製品技術の販路拡大等支援を行う。	(ア)(イ) 共通 協会Webサイトや産業情報誌への掲載、工場アパートや区内金融機関窓口等でのチラシ配布により事業PRを行う。また、技術連携相談員と連携し、試作品開発案件に対する本事業活用の促進や巡回訪問時等における事業PR等に積極的に取り組む。 (ア) 各種媒体等を積極的に活用し助成金の周知に努め、多くの区内企業の応募につながるよう活動する。また、トライアル助成においては、採択予定件数を増やし、新製品・新技術に挑戦する機会の拡充を図る。 (イ) 六郷BASEやKOCA、innoba大田等、区内の各種インキュベーション施設への周知を強化する。また、昨年度より2週間程度申請期間を長く確保することで、申請件数の増加を図る。	77,763 (補) 77,763 区内中小企業
2 次世代産業創造・産業クラスター形成事業 区内中小企業に親和性が見込める産業分野を中心に次世代産業への参入と新事業・新産業が創出される状態の実現に資する事業を実施する。 (ア) 区内の研究開発型企业及び協会サービスに関する情報の発信。 大学等研究開発機関の開発ニーズと区内中小企業の技術とのマッチングを促進するため、区内の研究開発型企业を紹介する「大田区研究開発型企业ガイド」のWebサイトの運営及び冊子の発行を行う。 (イ) 産学公相談 区内中小企業の新製品・新技術開発における課題を、産学連携相談や大学・研究機関等との連携により	(ア) 登録企業に対して、Webサイトの更新を積極的に促すことで、アクセス件数の増加を目指す。 (イ) 特に大田区研究開発型企业ガイドに掲載する区内中小企業(150社)及び設計・開発企業への巡回訪問を実施することで、親和性の高い大学・研究開発機関等とのマッ	52,808 (補) 50,124 区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関

事業化できるようマッチングを行う。 (ウ) オープン・イノベーションマッチング 大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行う。 (エ) 各種セミナー・ワークショップの開催 区内企業の先端産業分野に対する知識向上、対応力醸成するために、各種テーマを設定したセミナー・ワークショップを行う。 想定テーマは、ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、レアアース泥開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等。 (オ) 新産業分野の展示会への出展 次世代産業分野を中心に出展し、区内中小企業の技術力をPRするとともに、将来的に産業クラスターの形成につながる研究開発型案件を獲得する。また、来場者や出展企業と交流を図り、オープンイノベーションの実施に繋げる。	チングを行う。 (ウ) 隣接する川崎市・品川区の企業とともに、大手自動車メーカーとのオープンイノベーションを実施し、区内中小企業約 20 社が参加できる出展枠を設け、新産業、次世代産業への参入機会の提供を行う。 (エ) 令和7年度は AM 技術(アディティブマニファクチャリング)や意匠・デザインをテーマとしたセミナー・ワークショップを実施し、先端産業分野に対する知識・対応力の向上を図る。 (オ) AM 技術(アディティブマニファクチャリング)をテーマとしたオープンイノベーションの実施に向けて、親和性の高い「未来モノづくり国際 EXPO」に出展し、研究開発型案件の獲得を図りつつ、来場者や出展企業と交流を深め、オープンイノベーションの実施に繋げる。	
3 おおた研究・開発フェア 開発した技術の使い途や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供する。これにより「産学」「産産」連携や、「技術移転」等への展開を通して新たなイノベーション創出に繋げる。	各出展者へ職員・技術連携相談員を配置し、特に羽田イノベーションシティに入居する区内企業とのマッチングを促進することで、イノベーション創出に繋げる。併せて、同時開催する研究開発特別講演について、最先端技術として注目を集めるペロブスカイト太陽電池やヒューマノイドロボット等を講演テーマとすることで、来場者増及びイノベーション創出のきっかけに繋げる。	20, 752 (補) 17, 122 区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関
計		151, 323 (補) 145, 009

第6号事業 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

区内中小企業が個別に取り組むことが難しい福利厚生を協会が事務局となって実施する。勤労者共済制度を核に、事業主や勤労者が健康を維持し余暇を有意義に活用するための事業や、慶弔見舞金などの給付金制度等、各種福利厚生事業を行う。

[事業区分:全細事業ともその他事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 加入促進事業 (ア) 勤労者共済事業の周知 ・勤労者共済事業紹介パンフレット類の配布 ・会報誌の発行やHP等による情報発信 ・加入促進及び会員の満足度向上につながる企画の実施 (イ) 会費管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進 ・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知 ・会員募集パンフレット類の配布や促進員及び職員の訪問勧奨による加入促進	(ア)・(イ) 共通 勤労者共済事業のHPリニューアルにより、会員専用のページを構築しHP上でチケットや入退会・給付などの申込みを可能とするなど利用促進を強化する。LINE友達登録の推進、HPの逐次更新など、会員に対して情報発信を行う。窓口ではキャッシュレスに対応可能なレジを導入し、会員の利便性向上を図る。 また、商いデータベースの構築に向けた店舗訪問調査時に勧誘活動を行い、飲食店・小売業・サービス業等の加入者増を目指す。 さらに、令和7年度で勤労者共済事業を開始してから40年を迎えるため、更なる会員の満足度向上に資する40周年記念企画を実施する。	25, 050 (補) 15, 416 区内中小企業 事業主及び勤 労者・共済会員
2 福利厚生事業 (ア) 健康の維持増進に関する事業 ・人間ドック、インフルエンザ予防接種の受診補助 ・公衆浴場、スポーツセンター・区営プールの利用補助 (イ) レクリエーション事業 バスツアーの利用補助 (ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助 ・指定宿泊施設の利用補助 ・指定通信教育の利用補助 (エ) 契約施設等の利用 ・レジャー施設の利用補助 ・区内指定店、デパートの割引あっせん (オ) 区内店舗等の利用補助 「おおたイチ推しマルシェ」の参加店舗等の利用補助 (カ) 各種チケットの割引あっ旋 映画・スポーツ観戦・観劇・コンサート類チケット、プリペイドカード、食事券等の割引あっせん	(ア)～(カ)共通 店舗訪問調査を行った3,000店舗をはじめ区内個店・商店と連携して、割引や特別サービスなど、会員のみに適応される特典の増加を図るとともに、個店・商店の振興にもつなげる。 また、利便性の高いデジタル商品・サービスを導入していくとともに、高齢会員向けの福祉メニューを導入する。	45, 961 (補) 0 共済会員

3 給付事業 (ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付 ・祝 金 — 結婚・銀婚・金婚、20 歳、出生等 ・見舞金 — 入院、障害、住宅火災等 ・弔慰金 — 会員・家族死亡等 (イ) 共済会員への「祝品」(5年継続、10年毎継続、小・中学校入学)の贈呈	(ア)・(イ) 共通 デジタル商品券の導入やキャッシュレス(口座振替)による給付を進める等会員の利便性向上を図る。	8, 040 (補) 0 共済会員
計		79, 051 (補) 15, 416

第7号事業 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業

大田区産業プラザの指定管理者として顧客満足度を高め、MICE 誘致の推進により区内産業振興の拠点として地域に貢献する。計画修繕により施設の更新とグレードアップを図り、利用者の利便性及び満足度の高い施設を提供する。

[事業区分:公益目的事業、収益事業及びその他事業]

細事業名及び事業概要	令和7年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
1 産業プラザ展示ホール等の管理運営 [公益目的事業及びその他事業] 大田区産業プラザ条例に定める施設管理について指定管理者(利用料金制度による)として、区内の産業振興に繋がる利用を促進するとともに、産業プラザの認知と集客力を高め、幅広い交流や情報交換の場を提供する。 【指定管理期間】 令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※令和7年4月～令和9年10月まで大規模改修予定	大規模改修に伴い貸出可能な日程で催事等の誘致活動を行う一方、使用できない期間については、区内民間施設を紹介する等、オール大田でのMICE誘致を切れ目なく実践し地域経済の活性化に繋げる。	(利)145,786 区内外の企業及び一般区民 ※利用者の使用目的により公益目的事業とその他事業に区分
2 施設貸与に伴う付加サービス事業 [収益事業] 大田区産業プラザの管理代行業務の実施に際し、区条例等に定めのないサービスを付加することで施設の利用者の利便性向上と利用促進を図る。 (ア) 周辺マップ 来館者に、食事や宿泊、ショッピングなどの情報を紙面及びデジタルで提供することで、近隣の事業者・店舗への誘客を促し、地域産業の活性化につなげていく。 (イ) PiO倶楽部 MICE誘致を推進するため、各種会議・イベントをサポートする事業者の紹介冊子である「PiO倶楽部(ケータリング・弁当・ホテル等の事業者を掲載)」を積極的にPRし、利用者の多種多様な要望にオールインクルーシブで対応する。	(ア) 前年度、羽田エリアと店舗数を拡大した周辺マップに加え、新たに作成した町中華マップを近隣の宿泊施設等を中心に設置を依頼することで、国内外のインバウンド需要を取り込み、地域経済の活性化につなげる。また、利用状況を分析し、次期更新時に向けて紙面刷新を行う。 (イ) MICE誘致に必要な掲載事業者との協力関係を築くと共に、新たな掲載事業者を募ることで、利用者の多種多様な要望にきめ細かく対応可能な内容に充実させる。また、ケータリング等の紹介を強化することで、自主財源の確保に努める。	(自)4,882

3 産業プラザ施設維持の管理運営 [その他事業] 大田区産業プラザ等の施設維持管理業務受託者(区契約)に対し、協会は管理監督業務を受託する。貸館部分の管理代行と合わせてより効率的な業務運営に努める。また、施設・設備の劣化状況を把握し、小破修繕等を適切に実施する。	小破修繕工事を適切に実施するとともに、大規模改修が円滑に進むよう、東京都をはじめ関係者との連絡調整等を行い、区を全面的にサポートする。また、自然災害に対応すべく、計画的に備蓄品の購入・設備の充実を進めていく。	(委) 59, 990
計		210, 658 うち (利) 145, 786 (自) 4, 882 (委) 59, 990

公益財団法人大田区産業振興協会

令和7年度収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,865,000	3,865,000	0
② 特定資産運用益	400,000	400,000	0
③ 事業収益	209,183,000	359,358,000	△ 150,175,000
④ 受取補助金等収益	860,069,000	752,072,000	107,997,000
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0
⑥ 雑収益	400,000	100,000	300,000
経常収益計	1,073,927,000	1,115,805,000	△ 41,878,000
(2) 経常費用			
事業費	1,081,556,000	1,066,449,000	15,107,000
管理費	5,675,000	5,681,000	△ 6,000
大田区返納金	0	51,762,000	△ 51,762,000
経常費用計	1,087,231,000	1,123,892,000	△ 36,661,000
当期経常増減額	△ 13,304,000	△ 8,087,000	△ 5,217,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,304,000	△ 8,087,000	△ 5,217,000
一般正味財産期首残高	231,329,000	239,416,000	△ 8,087,000
一般正味財産期末残高	218,025,000	231,329,000	△ 13,304,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	718,025,000	731,329,000	△ 13,304,000

令和7年度 収支予算書内訳書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
	区内中小企業の振興を図る事業		産業プラザの指定管理に伴う付加サービス事業	区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	2,578,000	2,578,000	0	0
基本財産運用収益	2,578,000	2,578,000	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	100,000
特定資産運用収益	0	0	0	100,000
③ 事業収益	138,993,000	138,993,000	5,405,000	53,821,000
支援事業収入等	138,993,000	138,993,000	5,405,000	53,821,000
④ 受取補助金等収益	735,653,000	735,653,000	0	55,982,000
受取大田区補助金	703,125,000	703,125,000	0	55,982,000
受取大田区受託料	32,528,000	32,528,000	0	0
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0	0
寄附金収益	10,000	10,000	0	0
⑥ 雑収益	400,000	400,000	0	0
雑収益	140,000	140,000	0	0
受取利息収益	250,000	250,000	0	0
受取配当金収益	10,000	10,000	0	0
経常収益計	877,634,000	877,634,000	5,405,000	109,903,000
(2) 経常費用				
事業費	882,078,000	882,078,000	4,882,000	120,028,000
報酬	95,497,000	95,497,000	0	0
委員報酬	0	0	0	220,000
給料手当	243,680,000	243,680,000	654,000	27,730,000
退職給付	7,666,000	7,666,000	21,000	872,000
福利厚生費	58,107,000	58,107,000	156,000	6,612,000
会議費	1,291,000	1,291,000	0	3,000
旅費交通費	10,625,000	10,625,000	0	91,000
通信運搬費	3,835,000	3,835,000	61,000	1,151,000
消耗什器備品費	1,933,000	1,933,000	368,000	
消耗品費	12,716,000	12,716,000	585,000	595,000
修繕費	3,122,000	3,122,000	110,000	56,000
印刷製本費	6,144,000	6,144,000	993,000	2,726,000
燃料費	109,000	109,000	0	13,000

〔正味財産増減計算ベース〕

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他 2	他 3	小計			
産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	1,287,000		3,865,000
0	0	0	1,287,000		3,865,000
0	0	100,000	300,000		400,000
0	0	100,000	300,000		400,000
10,964,000	0	70,190,000	0		209,183,000
10,964,000		70,190,000	0		209,183,000
3,614,000	59,990,000	119,586,000	4,830,000		860,069,000
0	0	55,982,000	4,830,000		763,937,000
3,614,000	59,990,000	63,604,000	0		96,132,000
0	0	0	0		10,000
0	0	0			10,000
0	0	0	0		400,000
0	0	0	0		140,000
0	0	0	0		250,000
0	0	0	0		10,000
14,578,000	59,990,000	189,876,000	6,417,000		1,073,927,000
14,578,000	59,990,000	199,478,000			1,081,556,000
0	0	0			95,497,000
0	0	220,000			220,000
1,913,000	19,816,000	50,113,000			293,793,000
60,000	624,000	1,577,000			9,243,000
456,000	4,726,000	11,950,000			70,057,000
0	0	3,000			1,294,000
121,000	17,000	229,000			10,854,000
38,000	0	1,250,000			5,085,000
178,000	1,611,000	2,157,000			4,090,000
633,000	3,271,000	5,084,000			17,800,000
260,000	24,025,000	24,451,000			27,573,000
11,000	0	3,730,000			9,874,000
0	66,000	79,000			188,000

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
賃借料	29,052,000	29,052,000	37,000	3,246,000
情報使用料	20,427,000	20,427,000	0	2,394,000
保険料	1,167,000	1,167,000	1,000	64,000
諸謝金	22,986,000	22,986,000	0	278,000
租税公課	3,121,000	3,121,000	0	99,000
負担金	19,362,000	19,362,000	0	2,171,000
助成金	88,900,000	88,900,000	0	0
委託費	244,251,000	244,251,000	1,893,000	18,234,000
宣伝広告費	5,596,000	5,596,000	0	36,000
利用補助費	0	0	0	7,615,000
施設利用券購入費	0	0	0	36,062,000
給付金	0	0	0	8,040,000
渉外費	352,000	352,000	0	43,000
雑費	1,955,000	1,955,000	3,000	1,677,000
減価償却費	184,000	184,000		
管理費				
役員報酬				
給料手当				
退職給付費				
福利厚生費				
会議費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
大田区返納金		0		
経常費用計	882,078,000	882,078,000	4,882,000	120,028,000

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他 2	他 3	小計			
121,000	1,002,000	4,406,000			33,458,000
607,000	0	3,001,000			23,428,000
15,000	7,000	87,000			1,254,000
	0	278,000			23,264,000
257,000	2,598,000	2,954,000			6,075,000
16,000	0	2,187,000			21,549,000
0	0	0			88,900,000
9,813,000	2,219,000	32,159,000			276,410,000
38,000	0	74,000			5,670,000
0	0	7,615,000			7,615,000
0	0	36,062,000			36,062,000
0	0	8,040,000			8,040,000
0	0	43,000			395,000
41,000	8,000	1,729,000			3,684,000
					184,000
			5,675,000		5,675,000
			680,000		680,000
			3,301,000		3,301,000
			104,000		104,000
			787,000		787,000
			16,000		16,000
			2,000		2,000
			6,000		6,000
			102,000		102,000
			25,000		25,000
			4,000		4,000
			3,000		3,000
			2,000		2,000
			76,000		76,000
			173,000		173,000
			7,000		7,000
			33,000		33,000
			12,000		12,000
			176,000		176,000
			146,000		146,000
			4,000		4,000
			5,000		5,000
			11,000		11,000
		0			0
14,578,000	59,990,000	199,478,000	5,675,000		1,087,231,000

科 目	公益目的事業会計		J	
	公 1	小 計	収 1	他 1
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,444,000	△ 4,444,000	523,000	△ 10,125,000
当期経常増減額	△ 4,444,000	△ 4,444,000	523,000	△ 10,125,000
2.経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額				
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他 2	他 3	小計			
0	0	△ 9,602,000	742,000		△ 13,304,000
0	0	△ 9,602,000	742,000		△ 13,304,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					△ 13,304,000
					231,329,000
					218,025,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					0
					500,000,000
					500,000,000
					718,025,000

公益財団法人大田区産業振興協会

令和 7 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合はその借入先等を記載する。

借入れの予定		☐	あり	☒	なし
事業 番号	借入先	金額	使途		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

設備投資の予定		☐	あり	☒	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途		

報告第 31 号

株式会社大田まちづくり公社の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、株式会社大田まちづくり公社の下記の書類を提出する。

令和 7 年 6 月 18 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

株式会社大田まちづくり公社の経営状況に関する書類

- 1 第 39 期（令和 6 年度）事業の概況と今後の見通し
- 2 決算報告書（第 39 期）

第 39 期

事業の概況と今後の見通し

令和 6 年度事業収支報告及び次期収支予測

令和 7 年 5 月

株式会社 大田まちづくり公社

事業の概況と今後の見通し

< 事業報告 >

第 39 期事業年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

1. 当期の概況について

（1）はじめに

平成 26 年 5 月の定款及び社名変更以来、当社は変化する社会と需要に合わせて、社内体制の充実を図りながら事業拡大を進めてきました。株式会社として採算を十分考慮しながらも、柔軟な組織運営に努め、「公共と民間の連携・協働によるまちづくりの中間支援」という定款に掲げる使命に基づき、幅広く公共・公益的事業に取り組んで参りました。

その結果、大田区の組織で見ると、企画経営部・産業経済部・福祉部・まちづくり推進部・都市基盤整備部の 5 部から業務を受託するという、他の大田区の外郭団体では見られない多角的な事業展開を実現いたしました。

（2）第 39 期の事業の特徴

① 大田区高齢者住宅の指定管理者業務

当社は、平成 26 年度から開始した大田区高齢者住宅の指定管理者業務を、これまで 2 期 10 年間行ってまいりました。

令和 6 年度は、当社が大田区高齢者住宅指定管理者業務 3 期目 5 年間の初年度にあたり、引き続き施設の維持管理や居住者へのきめ細かな対応・情報収集に努めると共に、地域包括支援センター等の地域の関係団体との連携による居住者への支援を進めました。

また、シルバーピア糀谷の大規模改修工事实施に際して、入居者を一時的に他の施設に移転させるという区としても初めての課題に取り組みました。転居にあたり、入居者の不安を軽減するための手厚いサポートを行い、全員の転居が無事完了し、転居後は定期的に電話、対面による安否確認、相談対応、地域包括支援センター等の関連機関とも継続して連携し、日々の生活を支援しています。

② 空家対策事業

空家対策事業につきましては、「空家対策事業」と「空家等地域貢献活用事業」の二つの事業に取り組んでいます。今日的な課題である「空家問題」に対して、放置空家対策、相隣調整、相続対策、空家の活用・建替え・リノベーション等の各種相談に対して、区とともに建築・法律・不動産・福祉等の専門機関・団体と協力してワンストップサービスの窓口対応を行っています。令和6年度の相談件数は962件、相談者数820人となっております。

また、空家等地域貢献活用事業は、平成26年度に開始された当初より当社が受託している事業であり、区とともに制度設計・改良を行いながら取り組んで参りました。この事業は、空家オーナーと空家活用希望者を登録し、利用条件として公益性のある活用が可能な空家について、双方の条件を調整しマッチングを進めています。当期末現在で、登録累計総数は288件で、マッチング成立件数は28件となっています。

③ 住宅リフォーム助成・居住支援事業

令和元年度から受託した住宅リフォーム助成事業と住宅確保要配慮者への居住支援事業は、空家対策事業と併せた住宅相談窓口として事業を進めています。

住宅リフォーム助成事業では、令和3年度から「コロナ禍における新しい生活様式への対応工事」という新たな助成対象区分が加わり、新たな生活スタイルに応じた多様なニーズにも対応できる制度に拡張されました。助成件数・金額ともに微減となりました。予算執行率は当初予算の85.1%と見込まれております。

居住支援事業では、大田区の各福祉部署などと連携を取りながら当社スタッフが相談窓口を担っており、様々な困難を抱える方々への支援を行っています。令和6年度の相談件数は1,084件（前年度比微増）で、そのうち高齢者が約77%を占めております。

また、「住宅セーフティネット法」に基づく協働組織「大田区居住支援協議会」に当社も委員として参画し、各種団体・地域団体と協力して居住支援に取り組んでおります。

④ 分譲マンション維持管理支援事業

令和5年度から受託した「分譲マンション維持管理支援業務」は、「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」の改正に伴い、大田区では、「大田区住宅マスタープラン（マンション管理適正化推進計画）」を改訂し、「マンション管理計画認定制度」を実施しています。

当社では、この「マンション管理計画認定制度」の事前相談の受付及び訪問調査等を行いました。区では令和6年度に12件の認定を行いました。（累計16件）

⑤ 自転車対策事業

自転車対策事業として、蒲田駅、京急蒲田駅周辺の6箇所(収容台数5,909台)の自転車駐車場管理業務を行っています。利用率は令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行後、一時利用を中心にかなり回復してきています。

また京急蒲田駅周辺については、羽田空港の玄関口としての立地特性と駅周辺のエリアマネジメントの視点から、周辺の自転車駐車場案内周知、放置自転車調査及び放置自転車への注意喚起と清掃活動等の「環境改善活動」に取り組んでいます。なお、令和6年度の放置自転車台数は、令和5年度(34台/日)と比較して横ばいの約33台/日となっております。

これらの調査データ等は、今後の駐輪場の需給判断や、まちづくりにおける自転車対策の方向性の検討に活かしていくこととなります。

⑥ 建築基準法第12条第2項第4項点検業務

令和2年度から受託した、「大田区公共施設建築基準法第12条第2項第4項点検業務」は、大田区所有の公共施設についての法定点検業務で、特定建築物の「敷地・構造」と「建築設備」の劣化状況を点検し、改善を促す報告資料を作成する業務です。建物の良好な維持保全を実現し、建物の長寿命化にも資することを目的としております。令和6年度も、建築専門団体の協力を得て、区内92施設について点検調査を実施いたしました。

⑦ 施設維持修繕支援デスク業務

令和5年度からの新規業務として企画経営部施設保全課から受託した本事業は、区各施設所管課が発注する工事の適切な実施と品質向上を図るための、所管課相談対応窓口です。区建築技術職員などOBの経験とスキルを持つ当社にふさわしい業務です。

⑧ 区施策活用スペース「HANEDA×PiO」

令和2年6月からスタートした、羽田みらい開発株式会社と大田区が公民連携で進める羽田イノベーションシティ内の区施策活用スペース「HANEDA×PiO」は、大田区が区内企業と国内外の企業・研究機関をつなぐハブと位置付ける産業交流発信拠点であり、テナント用17室と交流空間ゾーン「ピオパーク」からなる約4,000㎡のエリアです。

当社は、テナントリーシングから退去までの入居者対応、施設維持、企業間交流・連携の創出・広報活動で大田区産業経済部・大田区産業振興協会と協力しながら行っています。

令和4年度に発生した空室1室は、令和6年9月に入居となり、10企業17室

の全室入居となりました。しかし昨年 12 月に 2 企業が退去したため、この間計 3 室のテナント募集に取り組んでいます。

交流機会の創出では、令和 6 年度は HANEDA×PiO の枠を超えた交流に力を入れてきました。具体的にはゾーン K 全体の入居者交流会、ゾーン B に新たに開設されたソーシャルイノベーション共創拠点 KAWARUBA 見学会、区内工場アパート・創業支援施設入居企業との拠点間交流会等です。さらに川崎キングスカイフロントと入居企業の交流にも取り組みました。

広報活動では、SNS（X 及びインスタグラム）の発信回数を増やすとともに、新規入居企業の動画作成、HP の増設等を行い、HANEDA×PiO の魅力発信に取り組みました。ピオパークの入居企業ショーケーシングコーナーでは、強化段ボール製展示台と大型掲示物を入居企業に発注・設置し、情報発信効果を高めるとともに、SDGs への取り組みも含め、入居企業の情報発信を行って参りました。

また 11 月の HICity 全体イベントでは、「PiO PARK X 2024」を入居テナント等 12 企業の出展で開催し、2 日間で 3,000 名の来場者が訪れました。

⑨「大規模公園の整備・管理運営に関する勉強会」

令和 3 年度から、大田区の建設・造園関係者（大田建設業協同組合）と取り組み始めた「大規模公園の整備・管理運営に関する勉強会」は、令和 4・5 年度には大田区と包括連携協定を締結している区内鉄道事業者 2 社（東急株式会社及び京浜急行電鉄株式会社）を加え、羽田空港跡地第 1 ゾーンに計画されている都市計画公園の整備・管理運営事業者公募参加に向けた準備を進めてきました。

令和 6 年度は、公園の整備や管理運営の実績が豊富な株式会社日比谷アメニス代表とするグループと協力して、「羽田空港跡地第 1 ゾーン都市計画公園整備・維持管理・運営事業者公募」へ参加いたしました。

昨年 12 月 13 日に区へ提案書を提出し、本年 2 月 5 日にプレゼンテーションを実施いたしました。

結果は、残念ながら次点となりましたが、新規事業への取り組みとして貴重な経験となるとともに、今後に向けた新たな課題が見えてきました。

<総括>

当期令和 6 年度は、業務充実のための増員等、人件費を含む販管費が 3.9%増加しました。一方売上高は、約 1.6%の微増となりました。

これらの結果、当期売上高は 3 億 5,112 万円となり、純益 1,731 万円の黒字計上となりました。

（参考値：前期・第 38 期 売上高 3 億 4,561 万円 ・ 純益 2,263 万円）

(3) 第39期(令和6年度)の売上高

事業種別	売上高(千円)	割合
売上高 1	115,030	32.8%
売上高 2	7,921	2.2%
売上高 3	42,778	12.2%
売上高 4	41,383	11.8%
売上高 5	144,007	41.0%
売上高合計	351,120	100.0%

※損益計算書の数値に基づく売上高。端数処理のため合計は一致しない。

<各売上高の説明>

(※受託業務の発注者について、記載のないものは大田区である。)

1) 売上高1

①「プラム蒲田」の維持管理業務

プラム蒲田 23 戸の維持修繕及び管理業務を受託しています。当施設は昼夜に亘る区内の火災等による区民の緊急時一時避難の仮住居や、道路拡幅、都市整備等に伴う一時移転仮住居等として利用されています。年間を通じて管理人を短時間派遣し、居住施設の管理と施設内の地域利用型集会室の受付・管理等を行っています。建物の保全・修繕工事についても当社で行っています。

② 自転車駐車場管理業務等

アロマ地下自転車駐車場他 5 箇所の管理を受託し、当社で利用料金の収納及び施設の管理・運営を行っています。

また、京急蒲田駅高架下自転車駐車場管理と併せて、羽田空港の玄関口である京急蒲田駅周辺のエリアマネジメントの視点から、放置自転車調査、周辺の自転車駐車場の案内や、駅周辺の清掃活動等の環境改善活動にも取り組んでいます。

③「シルバーピア南蒲田」建物管理業務

区営の借上げ型シルバーピア、「シルバーピア南蒲田」の共用部について、設備管理・保守点検を施設オーナーからの指定により行っています。

④ 建築基準法第 12 条第 2 項第 4 項点検業務

大田区の公共施設 (92 か所) の法定点検業務を行っています。調査点検は、3 年に 1 度の【建築物点検】(第 2 項) と、毎年行う【設備点検】(第 4 項) からなっており、令和 6 年度は設備点検を行いました。

⑤ 施設維持修繕支援デスク業務

大田区の各課が所管する建築物の維持修繕等の工事を適切に実施し、品質向上を図るため、各所管課からの相談や工事内容の確認などを令和 6 年度は 1,011 件行っています。

2) 売上高 2

① 大田幸陽会会館の建物管理業務

社会福祉法人大田幸陽会からの受託で、施設設備の保全管理及び修繕を令和 6 年度は 6 件を行っています。

② シルバーピア南蒲田のオーナー負担工事の受注

当社が工事計画を立ててオーナーへ報告、提案等を行い、直接オーナーから受注し、現場監理、工事を行っています。

③ 高齢者住宅工事の内、当社が直接施工したもの、及び居住者負担の小破修繕や小作業の請負分を計上しています。

3) 売上高 3 区施策活用スペース「HANEDA×PiO」に関する業務

「HANEDA×PiO」の施設維持及び入居者対応業務等を計上しています。業務内容は、テナントリーシングから退去までの入居者対応、施設維持及び企業間交流・連携の創出と広報宣伝業務です。

4) 売上高 4 空家・居住支援等住宅相談業務

「住宅相談事務等に係る業務委託」を計上しています。

業務内容は、空家総合相談窓口、空家等地域貢献活用、住宅リフォーム助成、分譲マンション維持管理支援事業、居住支援事業及び同協議会の各事業を一括で受託しています。

5) 売上高 5 大田区高齢者住宅指定管理者業務

シルバーピア 20 棟 402 戸、高齢者アパート 10 棟 161 戸の指定管理者業務を行っています。区の主管課は福祉部高齢福祉課で、居住者対応にあたっては、

地域包括支援センター、地域福祉課、生活福祉課、介護事業所、民生委員、自治会・町会、警察・消防等の関係部署・機関と連絡、情報共有を行いながら、具体的には以下の3つの管理業務を行っています。

①「施設維持管理業務」

建物や設備の維持管理や環境保全を行っています。

②「入居者関係業務」

入居者選定、入居手続き、家賃徴収、施設入所や死亡による退居手続き等を行っています。

③「危機管理業務」

シルバーピアでは24時間緊急通報システムによる危機管理を行い、ガードマンの緊急時出動等の態勢を整えています。また平日の日中には生活協力員を配置し、相談及び入居者の日常把握を行っています。

高齢者アパートでは、巡回訪問による相談と状況把握等を行っています。更に希望する方には24時間緊急通報システムを設置しています。

当社が平成26年度から受託を開始した大田区高齢者住宅指定管理者業務は、令和6年4月から3期目5年間の受託の初年度がスタートしました。

先に記載した通常の実務業務のほか令和6年度は、区立シルバーピア糀谷の大規模改修工事にあたり、入居者の不安を軽減するための手厚いサポートを行い、一時的に他の施設に移転させるという区としても初めての課題に対し、当社が全力で取り組みました。その結果、無事に入居者全員を他の施設に転居させることができ、目標を達成することができました。

区立シルバーピアの大規模改修工事は、令和7年度以降も次の施設が予定されており、今回の経験、成果を踏まえ、引き続き課題の解決を図り、事業の推進を図ってまいります。

(4) 決算報告書の内容について

1) 貸借対照表

「有形固定資産」のうち、「建物」「構築物」は、今後相殺していく京急蒲田駅総合改善事業で形成された駅舎3階部分の資産です。また「差入保証金」

「預り保証金」は、羽田事業の賃貸借契約に伴う区への保証金と入居企業からの保証金となります。純資産合計は、2億2,938万円余となっております。

2) 損益計算書

当期売上高は3億 5,112 万円で、前期売上高の3億 4,561 万円に比べて551 万円、約 1.6%の増となりました。

売上原価及び販管費と営業外収支を差引いた経常利益（経常）は2,226 万円で、前期比 853 万円の減となりました。税引き後の純利益は1,731 万円となっております。

対 前 期 比 較 (単位千円)		
項 目	第 38 期	第 39 期
売上高	345,618	351,120
売上原価及び販管費	314,821	329,038
営業利益	30,797	22,082
営業外収益・費用他	2	184
経常利益	30,799	22,266

<特別計上について：【損益計算書】特別利益・特別損失>

当社は「京急蒲田駅総合改善事業」の負債「駅総預り金」を「京急蒲田駅駅舎賃貸収入」で相殺返済しています。この数値が当社の経常売上高に比べて大きいため、損益計算書の中で「駅舎賃貸収入」と「駅舎事務費収入」を【特別利益】に計上し、駅舎減価償却費（相殺返却分）と償却資産税を【特別損失】として計上し、当社の経常事業の損益金額と分離しております。

また、羽田事業における入居企業からの賃料・光熱水費を【特別利益】・【特別損失】に計上しております。本事業は将来に渡って、大田区からの賃借料と入居企業への賃貸料を常に同額とする「パススルー方式」のスキームのため、当社の損益が発生いたしません。この金額も年間で1億円を超える相当な額になるため、経常業務の損益金額と分離しております。

3) 販売費及び一般管理費

当期の販売費及び一般管理費は1億 5,766 万円となり、対前年度比 584 万円の増となりました。これは、主なものとして業務増と執行体制強化のための人件費増によるものとなっています。

4) 株主資本等変動計算書

当期純益1,731 万円を加え、株主資本合計は2億 2,938 万円余となりました。

2. 今後の見通しについて

第 40 期事業年度以降の取り組み（令和 7 年 4 月～）

（1）第 40 期の売上の見通し

第 40 期においては、第 39 期と比べ売上高 1・売上高 2・売上高 4 は増額に、売上高 3 と売上高 5 は減額となる見込みです。

売上高 1・売上高 2・売上高 4 では、人件費や物価等の上昇により各契約金額が増額となっています。

売上高 3「HANEDA×PiO」関係業務では、委託金額の見直しにより減となっております。

売上高 5 にて、第 39 期（令和 6 年度）は、高齢者住宅の設備等の老朽化に伴う修繕工事件数の増加と工事費が上昇したこと、及び原状回復工事の件数増加などの要因により売上高が増えましたが、第 40 期は前年度同様の額までにならないと予測しています。

その結果次期の売上は、3 億 5,350 万円余、前期比 238 万円余の増額を予測しています。

次期売上予測（対当期比較）			（単位千円）
	第 39 期決算額	第 40 期予測額	増 減
売上高 1	115,030	118,905	3,875
売上高 2	7,921	8,354	433
売上高 3	42,778	41,746	▲1,032
売上高 4	41,383	42,549	1,166
売上高 5	144,007	141,954	▲2,053
合 計	351,120	353,508	2,388

※第 39 期損益計算書の数値に基づく売上高。端数処理のため合計は一致しない。

(2) 経常利益の見通し

前頁の通り次期売上高は0.7%増の予定ですが、給与等の人件費も増加いたします。その結果次期の経常利益は、以下のように予想されます。

次期経常利益予測 (単位千円)		
項 目	第 39 期 決算 (令和 6 年度)	第 40 期 予測 (令和 7 年度)
売上高	351, 120	353, 508
売上原価及び販管費	329, 038	331, 936
営業利益	22, 082	21, 572
営業外利益・費用他	184	184
経常利益	22, 266	21, 756

(3) 第 40 期の目標

1) 組織整備と人材育成

① マネジメント強化と業務効率の向上

当社には本社以外に、高齢者住宅（指定管理）所管の事業第2課【区役所7階】、住宅・空家相談を所管する事業第3課【区役所7階】及び羽田事務所の3部署があります。各部署ともこの間業務量・事業範囲が拡大しており、部課長（所長）のマネジメントの強化が求められています。

部課長会を中心に情報共有をより密にするとともに、導入したクラウドも活用して業務効率の向上を図ります。

② 退職社員の的確な補充と人材発掘

当社は今後数年以内に退職する予定の社員を多く雇用しているので、計画的な採用が必要です。また新規事業の可能性も考慮した人材発掘を行います。とりわけ、まちづくりと福祉に精通したスタッフの採用に注力します。

③ 中長期的な人事・給与制度の検討

当社は若手固有社員、区再任用終了社員、生活協力員等、様々な年齢・経歴・業態の社員を雇用しており、複数の給与制度が適用されています。

また昇格基準や勤務評価等未整備な分野もあり、早急な制度設計が求められています。これらの課題に対して、他外郭団体の情報・動向も踏まえながら、中長期的な視点を持って人事・給与制度の検討に取り組みます。

2) 主な事業の目標

① 施設維持修繕支援デスク業務（事業第1課）

第38期（令和5年度）より企画経営部施設保全課から受託した本事業は、区各施設所管課が発注する工事の適切な実施と品質向上を図るための、所管課相談対応窓口です。区建築技術職員などのOBの経験とスキルを持つ当社にふさわしい業務であり、今後もきめ細かなサポートにより成果を上げられるよう取り組みます。

② 高齢者住宅指定管理者事業（事業第2課）

令和7年度より区の組織改正に伴い、所管が福祉部高齢福祉課からまちづくり推進部建築調整課へ変更になりました。

今年度予定されている区立シルバーピア蒲田の大規模改修工事にあたり、令和6年度に実施した区立シルバーピア糀谷入居者の転居の経験を踏まえ、入居者に寄り添ったきめ細かな支援を行います。

入居者に緊急事態が発生した時に、迅速な対応が取れるように緊急連絡先を最新の情報に更新するための調査を行い、管理情報を逐次更新することで万全の体制を整えます。

また、シルバーピア（高齢者住宅）の募集においては、募集方法も含めて昨今のニーズに応え、申込者の掘り起こしを検討していきます。

③ 住宅・空家相談窓口（事業第3課）

第38期（令和5年度）から5事業を一括して受託しています。

業務が多岐にわたるため、窓口スタッフへの研修や勉強会の開催など、業務内容の習得と円滑な業務対応を進めていきます。

④ 区施策活用スペース「HANEDA×PiO」

今期は、まず空き室3室の早期入居を実現します。そのためにHPテナント募集ページの充実と、多様なチャンネルを通じた募集活動を展開します。交流機会の創出では、昨年度に引続き入居企業とHANEDA×PiO以外との交流・連携に取り組むとともに、HICity秋イベントでは協力企業の拡大を視野に早期の体制づくりを行い、一層の充実を目指します。広報宣伝では、HP・SNSによる情報発信の強化、入居企業ショーケースと動画活用の促進に取り組めます。

引続き大田区・大田区産業振興協会との連携・協力を深めながら、先端産業創造委員会・エリアマネジメント委員会等を通じて、HICity全体の取組みにも積極的に関わって参ります。

⑤ 大規模公園の整備・管理運営に関する勉強会

今期は、今後大田区が平和島駅周辺地区などで展開していくと思われる大規模公園の整備・維持管理運営に関する公民連携の取り組みに向けた情報収集を行うとともに、大田区の建設・造園関係者や区内鉄道事業者等とも情報を共有しながら、継続的な関係構築に努めて参ります。

3) 新規事業の検討

蒲田駅周辺のまちづくりの動きとしては、令和4年4月に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」が改定され、新たなまちの将来像実現に向けた様々な取り組みがスタートしています。

その一つとして、令和6年10月には「大田区駐車場整備計画(蒲田地区)」が改定され、今後の蒲田駅周辺での駐車場配置の適正化に向けた「駐車場地域ルール」の導入が予定されています。当社としてもその運用面で地域の一員として取り組んでいくことを検討しています。

(4) 中長期の目標

様々な社会的課題を行政・地域と共有し、法令や手続き上行政が困難なことも、株式会社の立場を最大限に活かして公共・公益的事業を推進します。

公共・公益を担う理念とコンプライアンスを自覚し、行政と民間を繋ぎ、柔軟な姿勢で事業を進めます。

当社の設立目的(定款)である「公民の中間支援」「まちづくり事業」の業務拡充のため、人材育成を強化するとともに執行体制の見直しなど、中長期の目標を実現するための組織改革に取り組み、社内体制を整備していきます。

地域ニーズの開拓、連携協働の体制づくり、公園・広場・駐車場等都市施設の新たな管理・活用等、まちづくりに必要な手法の研究・検討を行って参ります。

当社が保有する固定資産(京急蒲田3階駅舎及び鉄道施設)には、国・東京都・大田区・神奈川県・横浜市・川崎市からの多額な補助金が投入されています。この社会的資産を安定的に保持し続けるためにも、持続的な安定経営は当社の社会的使命です。

当社は大田区の外郭団体として事業展開を行い、この間様々な経験を蓄積し

て参りましたが、この財産は大田区と区民のものである点で他の私企業とは異なった特性を持っています。当社はこのことも含めて公共・公益事業を進める理念と誇りを持って、今後も事業を推進して参ります。

決算報告書

(第 39 期)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

株 式 会 社 大 田 ま ち づ く り 公 社

東京都大田区南蒲田一丁目20番20号

貸借対照表

株式会社大田まちづくり公社

令和 7年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	【 234,015,157 】	【 流 動 負 債 】	【 60,029,020 】
現 金	1,524,914	未 払 金	11,496,675
預 金	202,101,860	未 払 法 人 税 等	1,412,500
貯 蔵 品	70,668	前 受 金	14,612,975
前 払 費 用	1,349,333	預 り 金	13,920,591
未 収 入 金	28,968,382	未 払 消 費 税 等	10,647,600
【 固 定 資 産 】	【 4,903,520,788 】	賞 与 引 当 金	7,938,679
(有 形 固 定 資 産)	(4,793,213,133)	【 固 定 負 債 】	【 4,848,120,899 】
建 物	619,710,431	駅 総 預 り 金	4,792,384,330
建 物 附 属 設 備	1	退 職 給 付 引 当 金	4,822,000
構 築 物	4,172,673,895	預 り 保 証 金	50,914,569
工 具 器 具 備 品	828,806	負 債 合 計	4,908,149,919
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(110,307,655)		
投 資 有 価 証 券	9,978,136		
差 入 保 証 金	49,414,950		
預 り 保 証 金 受 入 口 座	50,914,569		
		純 資 産 の 部	
		【 株 主 資 本 】	【 229,386,026 】
		資 本 金	15,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(214,886,026)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	214,886,026
		繰 越 利 益 剰 余 金	214,886,026
		自 己 株 式	-500,000
		純 資 産 合 計	229,386,026
資 産 合 計	5,137,535,945	負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,137,535,945

損益計算書

株式会社大田まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
売 上 高 1		115,030,311	
売 上 高 2		7,921,050	
売 上 高 3		42,778,782	
売 上 高 4		41,383,016	
売 上 高 5		144,007,640	351,120,799
【 売 上 原 価 】			
当 期 製 品 製 造 原 価		171,370,877	171,370,877
	売 上 総 利 益 金 額		179,749,922
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】			157,667,326
	営 業 利 益 金 額		22,082,596
【 営 業 外 収 益 】			
受 取 利 息		116,963	
有 価 証 券 利 息		23,501	
雑 収 入		43,815	184,279
	経 常 利 益 金 額		22,266,875
【 特 別 利 益 】			
駅 舎 賃 貸 収 入		263,461,479	
駅 舎 事 務 費 収 入		1,200,000	
羽 田 賃 貸 等 収 入		189,839,785	454,501,264
【 特 別 損 失 】			
償 却 資 産 税		74,254,500	
駅 舎 減 価 償 却 費		189,206,977	
羽 田 賃 貸 料 等		190,035,138	453,496,615
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		23,271,524
	法人税、住民税及び事業税		5,958,500
	当 期 純 利 益 金 額		17,313,024

販売費及び一般管理費

株式会社大田まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
給 与 手 当		119,711,153	
賞 与 引 当 金 繰 入 額		1,293,816	
退職 給 付 引 当 金 繰 入 額		388,000	
法 定 福 利 費		19,440,729	
福 利 厚 生 費		3,644,155	
旅 費 交 通 費		2,749,874	
通 信 費		975,733	
交 際 費		294,330	
減 価 償 却 費		481,995	
賃 借 料		1,238,500	
保 険 料		49,741	
修 繕 費		43,000	
水 道 光 熱 費		170,355	
燃 料 費		34,641	
消 耗 品 費		167,441	
租 税 公 課		207,114	
清 掃 費		414,000	
事 務 用 品 費		1,453,275	
広 告 宣 伝 費		1,397,518	
支 払 手 数 料		1,046,625	
諸 会 費		75,000	
顧 問 料		1,056,700	
リ ー ス 費		1,224,700	
研 修 費		70,910	
会 議 費		38,021	
	合 計		157,667,326

売上原価報告書

株式会社大田まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【 労 務 費 】			
賃 金 給 料			15,422,800
【 外 注 加 工 費 】			
外 注 費		84,794,940	
外 注 費 5		69,546,515	154,341,455
【 経 費 】			
消 耗 品 費		1,470,420	
消 耗 品 費 5		136,202	1,606,622
	当 期 製 品 製 造 原 価		171,370,877

株主資本等変動計算書



株式会社大田まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	15,000,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	197,573,002
	当期変動額 当期純利益	17,313,024
	当期末残高	214,886,026
利益剰余金合計	当期首残高	197,573,002
	当期変動額	17,313,024
	当期末残高	214,886,026
自己株式	当期首残高及び当期末残高	-500,000
株主資本合計	当期首残高	212,073,002
	当期変動額	17,313,024
	当期末残高	229,386,026
純資産合計	当期首残高	212,073,002
	当期変動額	17,313,024
	当期末残高	229,386,026

個別注記表

株式会社大田まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 定額法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

収益及び費用の計上基準
収益については実現主義、費用については発生主義にて計上しています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	
建物	511,723,437円
建物付属設備	1,357,999円
構築物	1,849,918,652円
工具器具備品	5,236,112円
当期純利益の金額	
当期純利益金額	17,313,024円

株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の種類及び株式数に関する事項	
前期末株式数	10株
当期増加株式数	0株
当期減少株式数	0株
当期末株式数	10株
発行済株式の種類及び総数に関する事項	
前期末株式数（発行済普通株式）	300株
当期増加株式数（発行済普通株式）	0株
当期減少株式数（発行済普通株式）	0株
当期末株式数（発行済普通株式）	300株
前期末株式数（発行済優先株式）	0株
当期増加株式数（発行済優先株式）	0株
当期減少株式数（発行済優先株式）	0株
当期末株式数（発行済優先株式）	0株

上記の通りご報告申し上げます。

株式会社大田まちづくり公社	代表取締役	川野正博
	取締役	田中彰一
	取締役	浅野 健
	取締役	北見公秀
	取締役	四宮 浩
	取締役	森 智雄

監 査 報 告 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第39期営業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書、個別注記表及び附属明細書等を監査した結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和7年4月28日

株式会社 大田まちづくり公社

監査役 小林 光一 